

米先物取引に関する シーズンレポート（Vol. 5）

（令和 7 年 9 月～令和 7 年 11 月）



堂島米市の図（浪花名所図会）歌川広重（寛政 9 年（1797）～安政 5 年（1858））画
大阪府立中之島図書館所蔵

令和 7 年 12 月

農林水産省

【本資料の目的】

「米先物取引に関するシーズンレポート」は、米先物取引について、その価格や取引量の動向、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引に関する各種情報の提供を行うことを目的としております。

今期のレポートは、令和7年9月から令和7年11月までを主な対象としております。

なお、本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。

※表紙：堂島米市の図（浪花名所図会）歌川広重（寛政9年（1797）～安政5年（1858））画
大阪府立中之島図書館所蔵
正規の取引時間を超えて取引を続けようとする者に水を撒いている場面

利用上の注意

1 取引データの作成

「米先物取引に関するシーズンレポート」は、特に記載がない限り、堂島取引所・大阪取引所における日々の取引データから得られた情報をもとに農林水産省において作成したものです。

本レポートは将来の市場環境の変動、運用成果等を約束又は予想するものではなく、本レポートに記載された情報の使用又は使用不能により生じた結果については、当省は一切の責任を負いかねます。

2 本レポートの引用について

本レポートの引用等を行う場合は、出所を明記してください。

3 米先物取引の商品設計（堂島取引所）

取引の種類	指数先物取引
取引の対象	将来における主食用米の平均価格（※） （※） 農林水産省が毎月公表する「米の相対取引価格・数量」における全銘柄についての価格を前年産検査数量で加重平均した値を基に、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構が毎月公表する「DI 調査」から推計して算出した数値（1 円の位を四捨五入）
取引単位 （倍率）	3 トン／枚（約定数値に 50 を乗じた値）
立会日・ 立会時間	毎営業日・午前 8 時 45 分～午後 3 時 45 分
取引開始日	奇数月の第 1 営業日
取引期限	取引開始日の属する月から起算した 12 か月以内の各偶数月 （2 月限、4 月限、6 月限、8 月限、10 月限、12 月限）
取引最終日	当月限の最終営業日の前営業日
最終決済日	当月限の最終営業日
最終決済数値	当月限の最終決済日に公表する主食用米の平均価格

4 建玉制限

堂島取引所において、以下のとおり一般投資家一人当たりの取引数量（建玉数）を制限。

【米穀指数】

- 1 番限（取引最終月） 200 枚
- 1 番限（取引最終前月） 350 枚
- 2 番限 500 枚
- 3 番限 1,000 枚
- 4 番限～6 番限 2,000 枚

注：1 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

- 2 1 番限とは各限月のうち最も決済期限に近いもの。それ以降の限月を 2 番限、3 番限という。例えば令和 7 年 9 月 1 日時点の米穀指数を例にとると、1 番限は令和 7 年 10 月限、2 番限は 12 月限、3 番限は令和 8 年 2 月限、4 番限は 4 月限、5 番限は 6 月限、6 番限は 8 月限。

5 用語の解説

先物取引（さきものとりひき）	将来の一定の時期において、商品及びその対価の授受を約する売買取引であって、当該商品の現物の受渡し若しくは建玉の転売又は買い戻しによる差金の授受によって終了することのできる取引のこと。
限月（げんげつ）	先物取引において売買約定（やくじょう）を最終的に決済しなければならない月のこと。
月限※（がつぎり）	最終決済月が○月であれば、○月限と呼ぶ。例：2 月限（にがつぎり）
期先※（きさき）	先物取引において、現時点で決済期限を最も後に迎える限月のことをいう。
期近※（きちか）	先物取引において、現時点で決済期限を最も早くに迎える限月のことをいう。
始値※（はじまりね）	一日の最初の約定値段のこと。
高値※（たかね）	相場が高いこと。またはある期間内の一番高い価格のこと。
安値※（やすね）	相場が安いこと。またはある期間内の一番安い価格のこと。
終値※（おわりね）	一日の最終約定値段のこと。
約定（やくじょう）	市場で成立した売買契約のこと。
枚（まい）	取引所における取引の基本となる取引数量または受渡数量を表す最小取引単位の呼称のこと。
出来高（できだか）	市場において成立した売買約定数量のこと。
建玉（たてぎょく）	取引所において売買取引された売買約定によるもので、決済未了のもの。
取組（とりくみ）	売りと買いとが取り組むということから、成立した建玉を取組といい、この売買契約の数量を「取組高」という。
帳入数値※（ちょういれすうち）	各取引日において損益計算をする際の基準となる価格のこと。
数値幅制限※（すうち はばせいげん）	値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。米穀指数市場では通常、前営業日の帳入数値の±2%（帳入数値が制限数値幅に達した限月が2以上ある場合は、±0.5%ずつ拡大し、最大で±3%以内。）。
当業者（とうぎょうしゃ）	上場商品の売買、売買の媒介、取り次ぎ、生産加工等を業としている関連業者の総称をいう。
商品先物取引法※（しょうひんさきものとりひきほう）	商品先物取引に関する法律。同法に基づき、商品取引所、商品取引清算機関、商品先物取引業者、商品先物取引協会（商品先物取引業者の自主規制組織）等に関する許認可・監督等を行っている。

出典：全国商品取引所連合会（2006）『商品先物取引用語集』（※については、農林水産省が作成。）

目 次

1 直近3ヶ月の米穀指数先物取引の動向

【概況】	1
(1) 取引価格の動向	
ア 限月別取引価格（期間中の値動き）	2
イ 限月別取引価格（取引開始日からの値動き）	3
ウ 期先限月取引価格（期間中の高値・安値の動き）	4
エ 限月別取引開始日の始値、 取引最終日の終値及び数値幅制限の発動状況	5
(2) 出来高の動向	
ア 期間中の出来高	6
イ 平均・最高・最低・合計出来高	6
ウ 限月別の出来高の平均・最高・最低	7
(3) 取組高の動向	
ア 期間中の取組高	8
イ 最高・最低取組高等	8
ウ 限月別取組高	9
(4) 取引参加者の構成	
ア 受託取引参加者別出来高（各月の出来高）	10
イ 受託取引参加者別建玉割合（各月末の建玉割合）	11
ウ 当業者・非当業者別建玉割合	12
エ 自己取引・委託取引の割合	13
オ 建玉報告対象者の割合	13
(5) 直近3ヶ月のデータ	
ア 期間中の価格（終値）	14
イ 期間中の出来高	16

2 関連情報

(1) 米の関連情報	
ア 米の取引価格及び数量	18
イ 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和7年11月分）	21
ウ 事前契約（播種前契約）の取組状況	26
エ 米の販売・消費動向	28
オ 米の民間在庫情報	35
カ 主食用米等の需給見通し（米の基本指針（令和7年10月31日））	39
キ 令和7年産水陸稲の収穫量	45
(2) 金の関連情報（大阪取引所）	
ア 取引価格	55
イ 出来高	55
ウ 取組高	56

3 参考資料

- (1) 現物市場と先物市場（堂島取引所）との連携について 57
- (2) 米先物取引に係るこれまでの主な経過 58

1 直近3ヶ月の米穀指数 先物取引の動向

【R7. 9. 1～R7. 11. 30】

概 況

(令和7年9月～令和7年 11 月)

【価格】

- ・ 令和7年 10 月限は、取引最終日まで上昇傾向で推移。一方で、その他の限月は、10 月下旬の 36,000 円台まで上昇したのち、概ね横ばいで推移後に下落傾向に転じ、11 月下旬からは概ね上昇傾向で推移。
- ・ 令和7年 10 月限の最終決済数値は、40,570 円。

令和7年 10 月限は 10 月 31 日に最終決済日を迎え、最終決済数値は 40,570 円。

その他の各限月の期間中最後の取引日（11 月 28 日）における終値は、
令和7年 12 月限：36,350 円、令和8年 2 月限：33,550 円、
4 月限：32,250 円、6 月限：32,270 円、8 月限：31,500 円、
10 月限：30,500 円

【出来高】

- ・ 期間中合計は、19,837 枚（前四半期（令和7年 6 月～8 月）は 36,176 枚）。
期間中の一日当たり平均出来高は、331 枚（前四半期は 574 枚）。

9 月は 5,857 枚、10 月は 6,882 枚と出来高が増加。11 月も同 12 日に
期間中の一日当たりの最高出来高 633 枚を記録するなど増加し、合計で 7,098 枚成約。

期間中の限月ごとの内訳は、令和7年 10 月限：1,689 枚、
12 月限：2,185 枚、令和8年 2 月限：3,002 枚、4 月限：2,898 枚、
6 月限：3,637 枚、8 月限：4,548 枚、10 月限：1,878 枚

(1) 取引価格の動向

ア 限月別取引価格（期間中の値動き）

図 期間中の値動き（米穀指数）

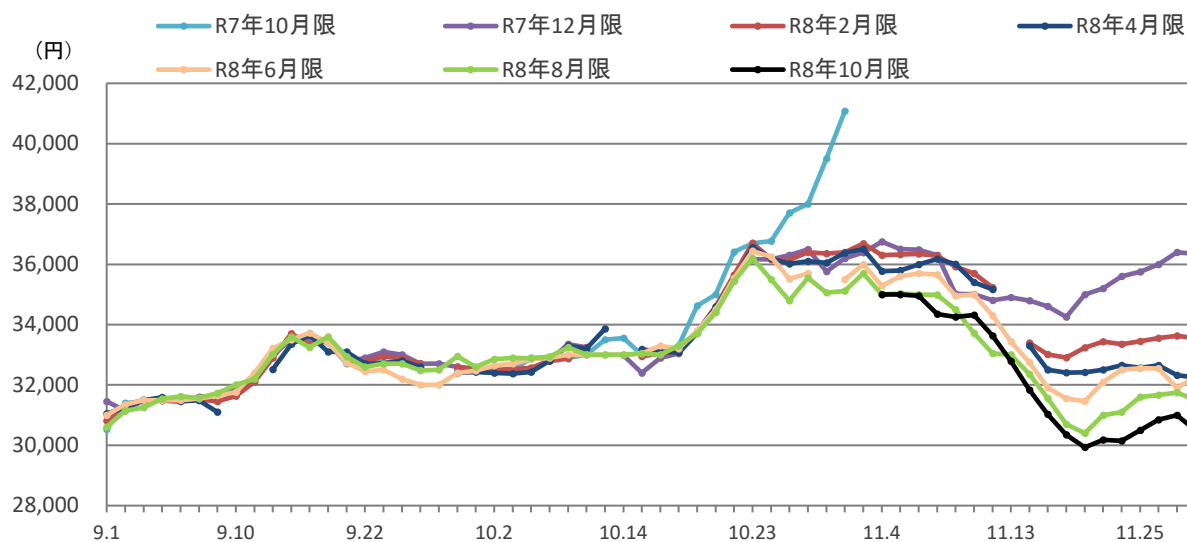


表 3ヵ月間の平均・最高・最低価格（米穀指数）

	平 均	最 高		最 低	
		年 月 日	価 格	年 月 日	価 格
	(円)		(円)		(円)
R7年 9 月～R7年11月	33,321	R7年10月30日	41,080	R7年11月19日	29,920
9 月	32,175	R7年9月16日	33,950	R7年9月1日	30,530
10月	34,167	R7年10月30日	41,080	R7年10月1日	32,350
11月	33,447	R7年11月5日	37,400	R7年11月19日	29,920

注：1 図は令和7年9月1日から令和7年11月28日の間に取引が行われた各限月（げんげつ）の毎日の価格の終値の推移を表している。

2 表は上記期間における全ての限月の平均・最高・最低の価格を表している。なお、同一価格が複数あった場合は最初の日付を掲載。（終値とは限らないため、図とは一致しない。）

3 価格は玄米60kg当たり。

イ 限月別取引価格（取引開始日からの値動き）

図 取引開始日からの値動き（米穀指数）

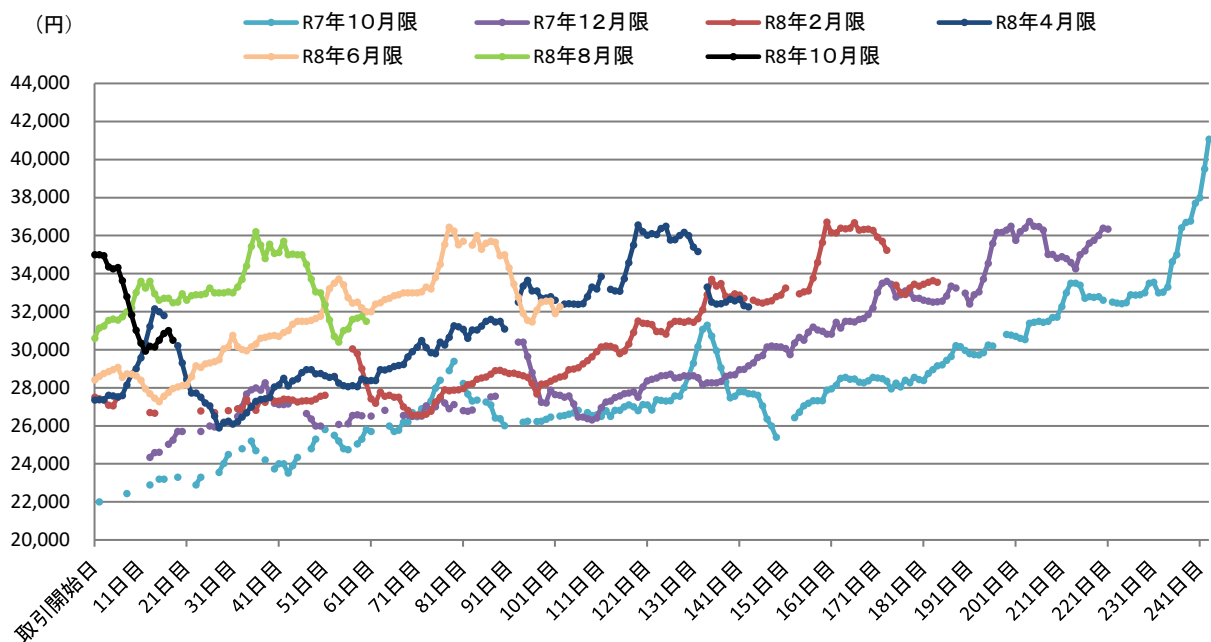


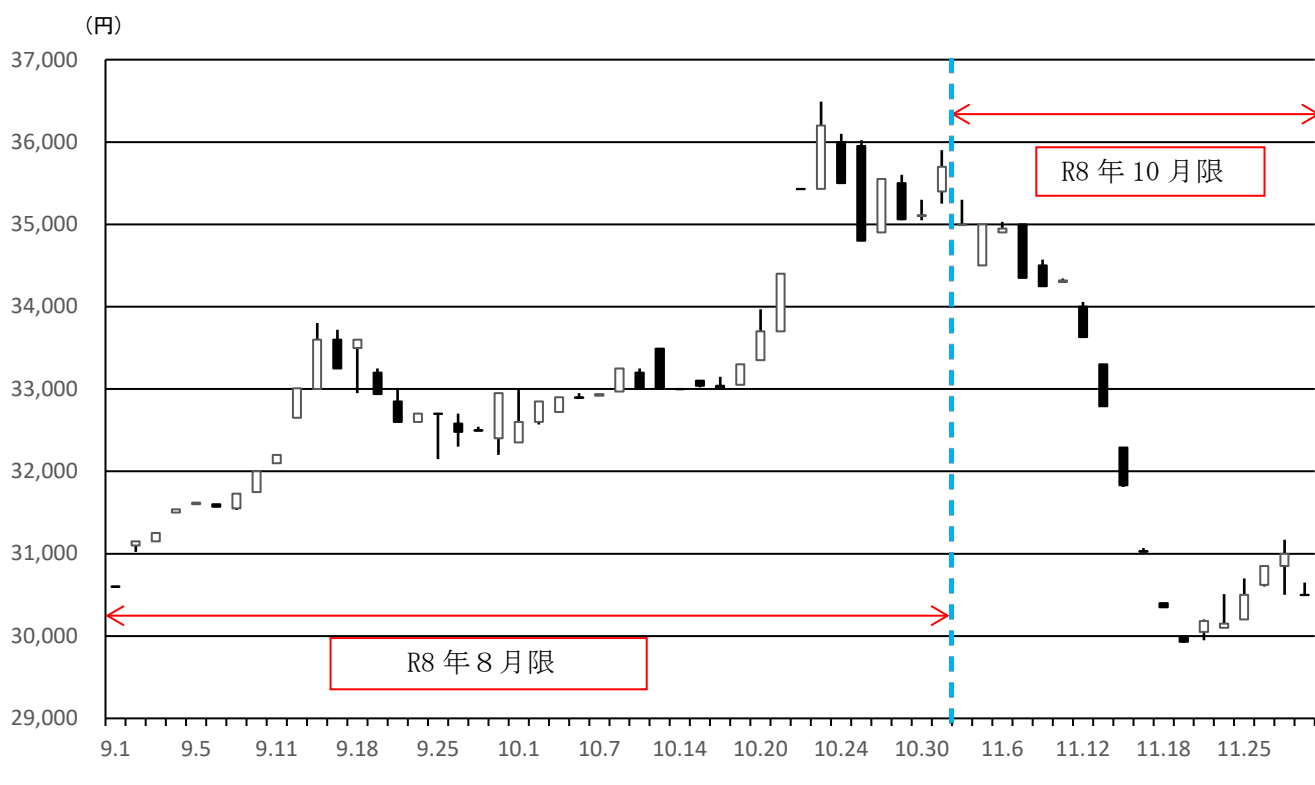
表 取引開始日からの平均・最高・最低（米穀指数）

限 月	営業 日数	平 均	最 高		最 低		11月末現在
			価 格	年 月 日	価 格	年 月 日	
	(日)	(円)	(円)		(円)		
R7年10月限	243	28,567	41,080	R7年10月30日	22,000	R6年11月5日	取引終了
R7年12月限	221	28,970	37,400	R7年11月5日	24,300	R7年1月23日	取引中
R8年2月限	184	29,646	36,710	R7年10月23日	26,020	R7年6月12日	取引中
R8年4月限	143	30,075	36,570	R7年10月23日	25,850	R7年6月11日	取引中
R8年6月限	102	30,979	36,550	R7年10月23日	27,280	R7年7月22日	取引中
R8年8月限	60	33,284	36,490	R7年10月23日	30,400	R7年11月19日	取引中
R8年10月限	18	32,540	35,300	R7年11月4日	29,920	R7年11月19日	取引中

注：1 図は令和7年9月1日から令和7年11月28日の間に取引が行われた各限月（げんげつ）の取引開始日からの価格の終値を表している。
2 表は上記期間における各限月の平均・最高・最低の価格を表している。なお、同一価格が複数あった場合は最初の日付を記載。（終値とは限らないため、図とは一致しない。）
3 価格は玄米60kg当たり。

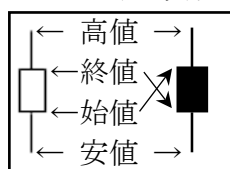
ウ 期先限月取引価格（期間中の高値・安値の動き）

図 期間中の高値・安値の動き（米穀指数）



注：最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月（期先限月）の1日の始値、高値、安値、終値の推移を表している（新たな期先限月の取引開始後は当該限月の価格に切替え。）。

ローソク足の見方



※ 終値が始値より高い場合、白抜き。
終値が始値より低い場合、黒塗り。

エ 限月別取引開始日の始値、取引最終日の終値及び数値幅制限の発動状況

表 1 取引開始日の始値、取引最終日の終値（米穀指数）

限 月	産年	取 引 開 始 日		取 引 最 終 日		11 月 末 現 在	
		年	月 日	年	月 日	年	月 日
	(年)	(円)		(円)		(円)	
R7年10月限	7	22,000	R6年11月5日	41,080	R7年10月30日	取引終了	
R7年12月限	7	24,300	R7年1月23日	取引中		36,350	R7年11月28日
R8年2月限	7	27,500	R7年3月3日	取引中		33,550	R7年11月28日
R8年4月限	7	27,350	R7年5月1日	取引中		32,250	R7年11月28日
R8年6月限	7	28,300	R7年7月1日	取引中		32,270	R7年11月28日
R8年8月限	7	30,600	R7年9月1日	取引中		31,500	R7年11月28日
R8年10月限	8	34,990	R7年11月4日	取引中		30,500	R7年11月28日

- 注：1 取引開始日に取引が成立しなかった場合は、最初取引が成立した日の始値を取引開始日の始値とする。
 2 取引最終日に取引が成立しなかった場合は、最後に取引が成立した日の終値を取引最終日の終値とする。
 3 11月末現在は当該月の最終営業日の終値（当該月の最終営業日に取引が成立しなかった場合は最後に取引が成立した日の終値。）。

表 2 数値幅制限の発動状況（米穀指数）

限 月	9 月 ～ 11 月			9 月			10 月			11 月		
	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安
	(日)	(回)	(回)	(日)	(回)	(回)	(日)	(回)	(回)	(日)	(回)	(回)
R7年10月限	41	2	－	20	－	－	21	2	－	－	－	－
R7年12月限	60	5	2	20	2	1	22	3	1	18	－	－
R8年2月限	60	5	1	20	1	1	22	4	－	18	－	－
R8年4月限	60	4	2	20	1	－	22	3	1	18	－	1
R8年6月限	60	4	8	20	2	1	22	1	1	18	1	6
R8年8月限	60	2	3	20	1	－	22	1	－	18	－	3
R8年10月限	18	－	2	－	－	－	－	－	－	18	－	2

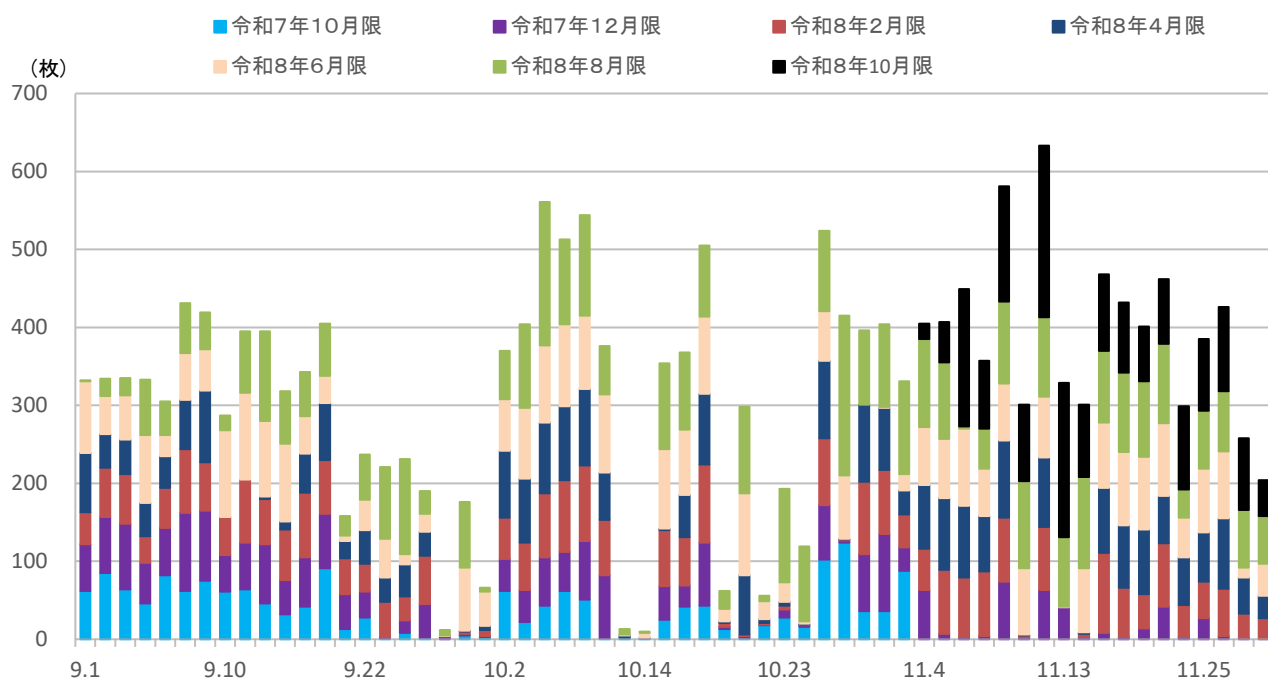
表 3 取引開始日からの数値幅制限の発動状況（米穀指数）

限 月	取 引 開 始 日 か ら		
	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安
	(日)	(回)	(回)
R7年10月限	243	17	13
R7年12月限	221	12	7
R8年2月限	184	9	4
R8年4月限	143	13	7
R8年6月限	102	6	8
R8年8月限	60	2	3
R8年10月限	18	－	2

(2) 出来高の動向

ア 期間中の出来高

図 期間中の出来高の動き



イ 平均・最高・最低・合計出来高

表 1-1 3ヵ月間の平均・最高・最低・合計出来高（米穀指数）

単位：枚

	9月～11月			
	平均	最高	最低	合計
米穀指数	331	633	10	19,837

表 1-2 各月の平均・最高・最低・合計出来高（米穀指数）

単位：枚

	9月				10月				11月			
	平均	最高	最低	合計	平均	最高	最低	合計	平均	最高	最低	合計
米穀指数	293	431	12	5,857	313	561	10	6,882	394	633	204	7,098

表 1-3 取引開始日からの平均・最高・最低・合計出来高（米穀指数）

単位：枚

	取引開始日から			
	平均	最高	最低	合計
米穀指数	313	1,100	0	99,290

- 注：1 出来高とは市場において成立した売買契約の数（売りと買いセットで1枚とカウント）。
 2 図は令和7年9月1日から令和7年11月28日までの毎日の出来高の合計。
 3 表はそれぞれの期間ごとに1日の出来高の平均、最高及び最低を表している。

ウ 限月別の出来高の平均・最高・最低

表 1－1 取引開始日からの出来高の平均・最高・最低（米穀指数）

限 月	営業 日数	平 均	最 高		最 低		11 月 末 現 在
				年 月 日		年 月 日	
	(日)	(枚)	(枚)		(枚)		
R7年10月 限	243	47	202	R7年6月3日	0	R6年11月1日	取引終了
R7年12月 限	221	55	297	R7年4月25日	0	R7年1月6日	取引中
R8年2月 限	184	62	293	R7年4月24日	0	R7年3月11日	取引中
R8年4月 限	143	65	296	R7年5月15日	0	R7年5月27日	取引中
R8年6月 限	102	76	224	R7年8月25日	0	R7年10月29日	取引中
R8年8月 限	60	76	205	R7年10月28日	1	R7年9月1日	取引中
R8年10月 限	18	104	220	R7年11月12日	20	R7年11月4日	取引中

注：表は令和 7 年 9 月 1 日から令和 7 年 11 月 28 日までに取引が行われた全ての限月について、それぞれの限月の取引開始日から令和 7 年 11 月 28 日までの平均・最高・最低の 1 日当たりの出来高を表している。なお、同一枚数が複数日あった場合は最初の日付を掲載。

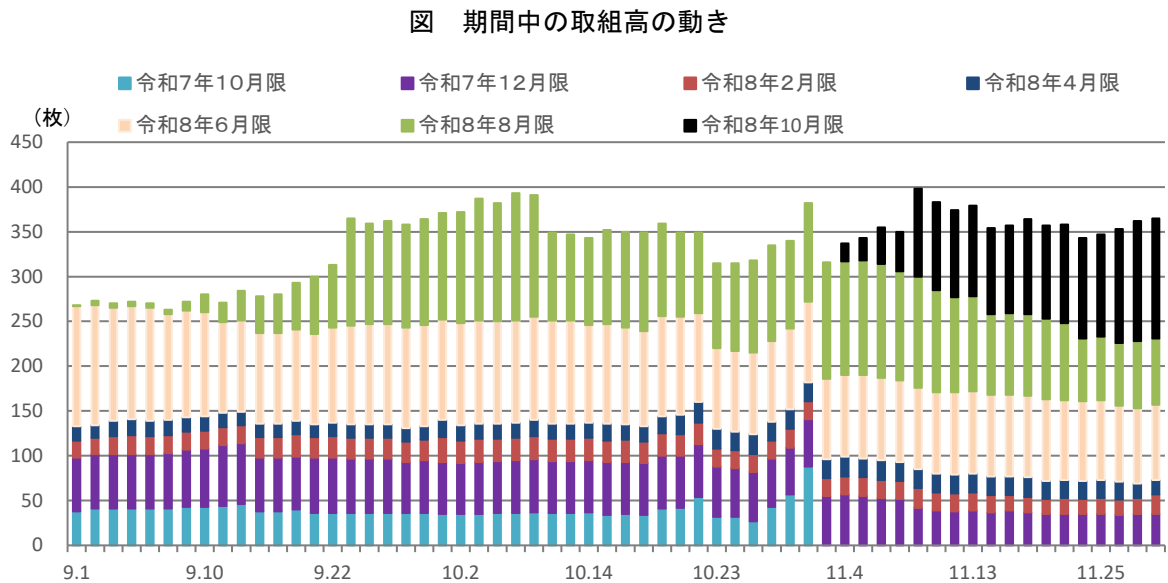
表 1－2 期間中の出来高の平均・最高・最低（米穀指数）

限 月	営業 日数	平 均	最 高		最 低		11 月 末 現 在
				年 月 日		年 月 日	
	(日)	(枚)	(枚)		(枚)		
R7年10月 限	41	41	124	R7年10月28日	0	R7年9月29日	取引終了
R7年12月 限	60	36	100	R7年9月8日	0	R7年10月10日	取引中
R8年2月 限	60	50	103	R7年11月17日	0	R7年9月29日	取引中
R8年4月 限	60	48	99	R7年10月27日	0	R7年9月10日	取引中
R8年6月 限	60	61	111	R7年9月10日	0	R7年10月29日	取引中
R8年8月 限	60	76	205	R7年10月28日	1	R7年9月1日	取引中
R8年10月 限	18	104	220	R7年11月12日	20	R7年11月4日	取引中

注：表は令和 7 年 9 月 1 日から令和 7 年 11 月 28 日までに取引が行われた全ての限月について、それぞれの限月の令和 7 年 9 月 1 日から令和 7 年 11 月 28 日までの平均・最高・最低の 1 日当たりの出来高を表している。なお、同一枚数が複数日あった場合は最初の日付を掲載。

(3) 取組高の動向

ア 期間中の取組高



イ 最高・最低取組高等

表 1－1 3ヵ月間の月末・最高・最低取組高（米穀指数）

単位：枚

	9 月 ～ 11 月		9 月			10 月			11 月		
	最 高	最 低	末 値	最 高	最 低	末 値	最 高	最 低	末 値	最 高	最 低
米穀指数	398	263	364	365	263	316	393	315	365	398	337

表 1－2 取引開始日からの最高・最低取組高（米穀指数）

単位：枚

	取引開始日から	
	最 高	最 低
米穀指数	398	0

- 注：1 取組高とは市場において成立した未決済売買契約の数（売りと買いセットで1枚とカウント）。
- 2 図は令和7年9月1日から令和7年11月28日までの毎日の取組高の合計。
- 3 表1－1はそれぞれの期間ごとに1日の取組高の月末の値、最高及び最低を表している。

ウ 限月別取組高

表 米穀指数

単位：枚

	R 7 年 2 月限	4 月限	6 月限	8 月限	10 月限	12 月限	R 8 年 2 月限	4 月限	6 月限	8 月限	10 月限	合計
R6年												
8 月末	45	24	15	-	-	-	-	-	-	-	-	84
9 月末	46	23	6	8	-	-	-	-	-	-	-	83
10 月末	43	25	7	12	-	-	-	-	-	-	-	87
11 月末	45	25	7	11	12	-	-	-	-	-	-	100
12 月末	79	26	14	16	16	-	-	-	-	-	-	151
R7年												
1 月末	53	28	13	21	19	2	-	-	-	-	-	136
2 月末	-	32	14	21	20	10	-	-	-	-	-	97
3 月末	-	35	83	27	19	9	3	-	-	-	-	176
4 月末	-	-	102	33	26	10	16	-	-	-	-	187
5 月末	-	-	32	32	27	16	20	61	-	-	-	188
6 月末	-	-	-	28	23	18	19	12	-	-	-	100
7 月末	-	-	-	22	25	18	18	14	6	-	-	103
8 月末	-	-	-	-	38	53	18	15	139	-	-	263
9 月末	-	-	-	-	36	59	23	15	113	118	-	364
10 月末	-	-	-	-	-	55	20	21	90	130	-	316
11 月末	-	-	-	-	-	35	22	16	84	74	134	365

注： 各限月の月末時点の取組高を掲載。

(4) 取引参加者の構成

ア 受託取引参加者別出来高（令和7年9月～令和7年11月の各月の出来高）

図1 出来高（売）

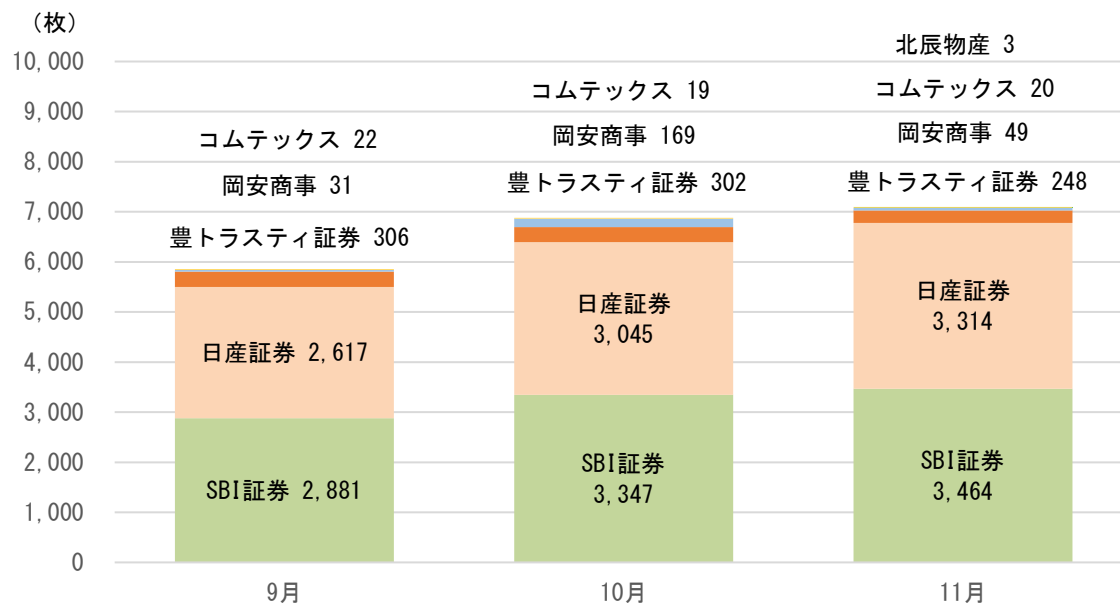
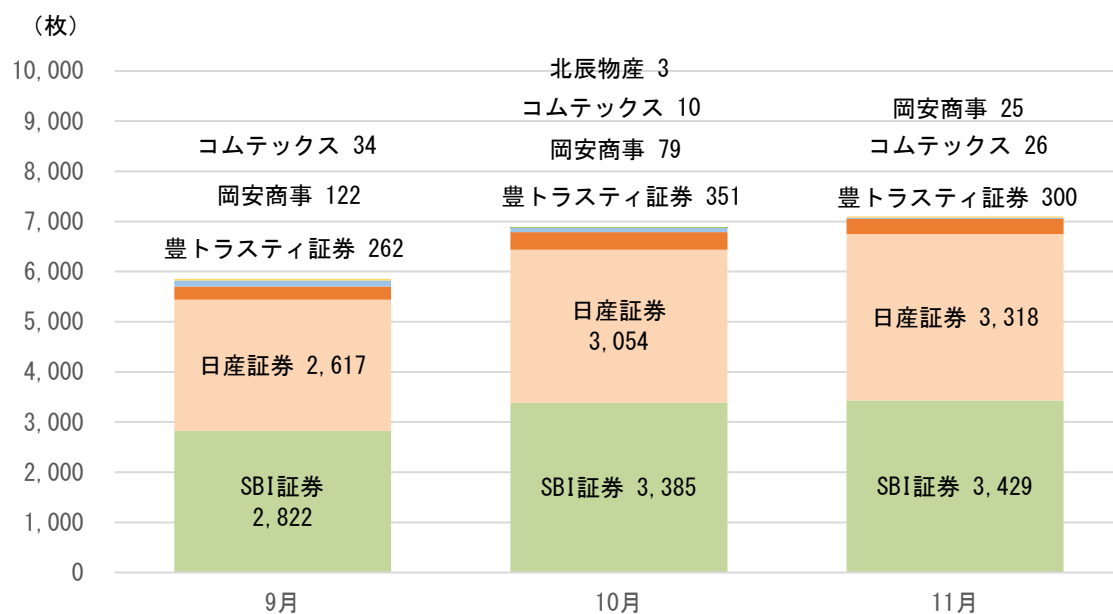


図2 出来高（買）



注： 令和7年9月1日から令和7年11月28日の各月の取引における各受託取引参加者の出来高。

イ 受託取引参加者別建玉割合（令和7年9月～令和7年11月の各月末の建玉割合）

図1 9月末売建玉

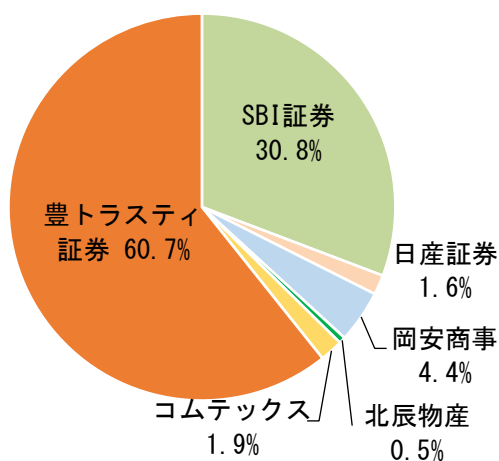


図2 9月末買建玉

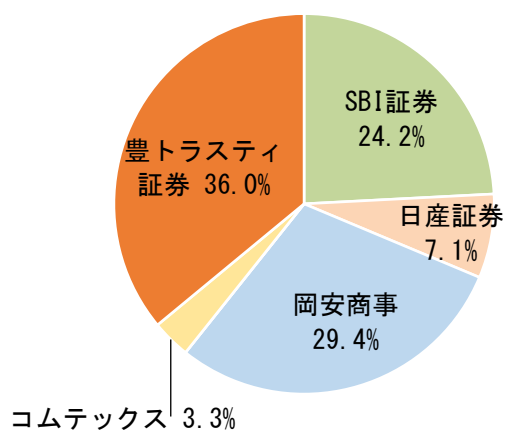


図3 10月末売建玉

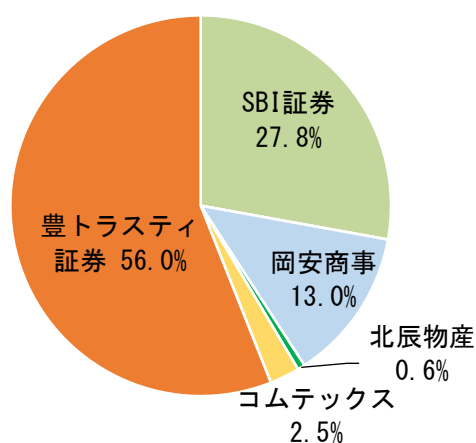


図4 10月末買建玉

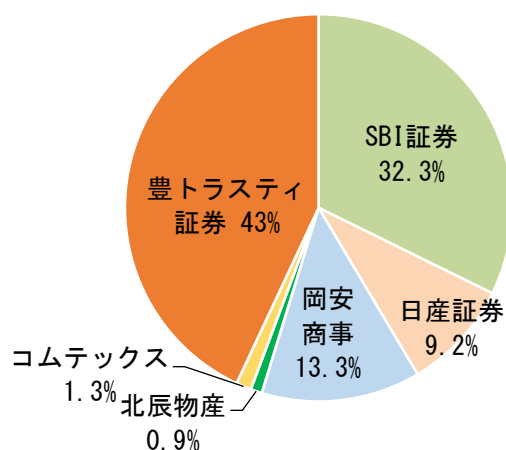


図5 11月末売建玉

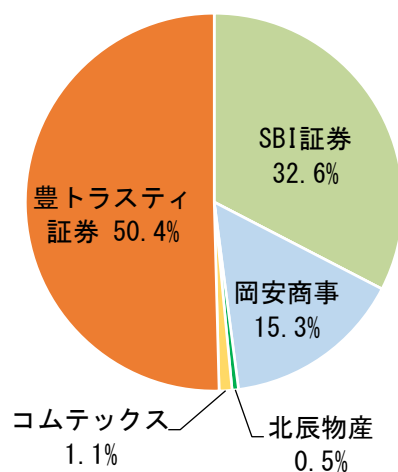
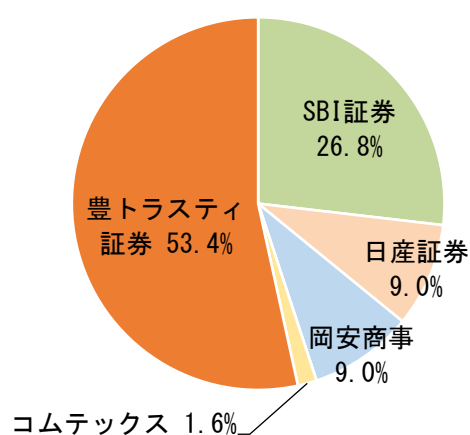


図6 11月末買建玉



注：1 令和7年9月から令和7年11月の各月末時点の建玉における受託取引参加者の割合。
2 ラウンドの関係で計が100%とならない場合がある。

ウ 当業者・非当業者別建玉割合（令和7年9月～令和7年11月の各月末の建玉割合）

図1 9月末売建玉

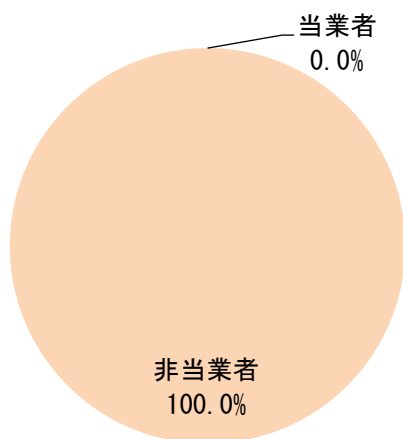


図2 9月末買建玉

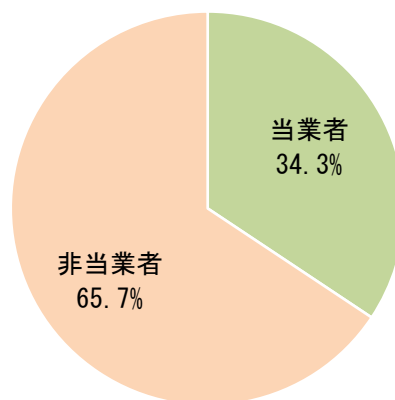


図3 10月末売建玉

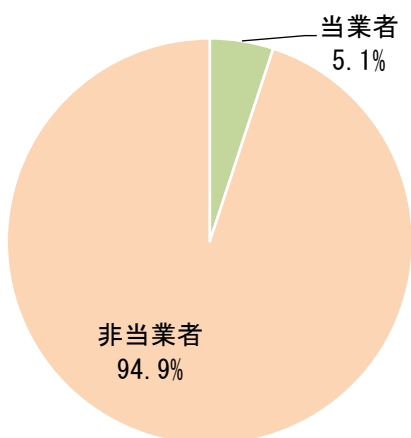


図4 10月末買建玉

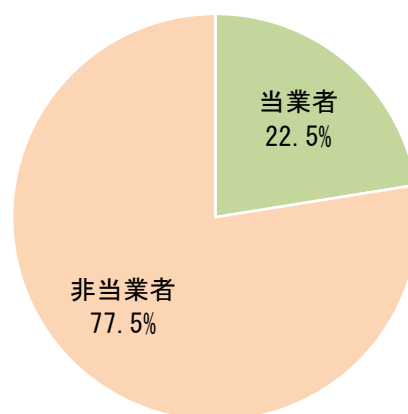


図5 11月末売建玉

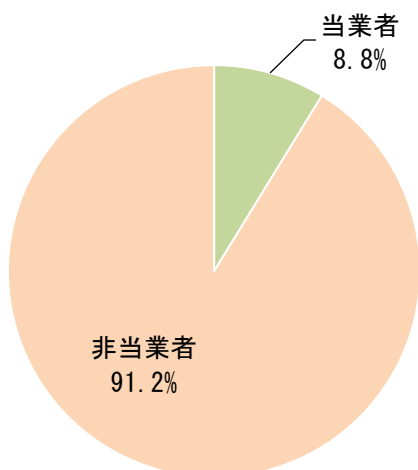
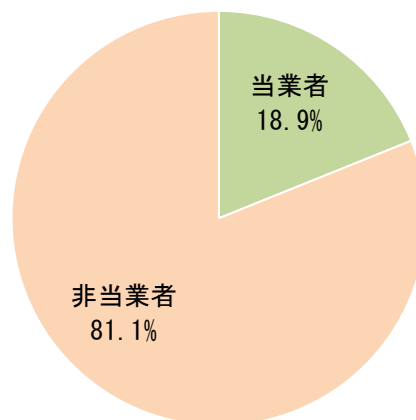


図6 11月末買建玉



注：1 取引所において把握している、令和7年9月から令和7年11月の各月末時点の建玉における当業者・非当業者の割合。

2 建玉とは、市場において成立した売買契約（将来売買する約束）のうち、まだ転売・買戻しが行われず、市場に残っている売買契約の総数（売りと買いそれぞれ1枚とカウント）。

3 当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工、又は使用を業として行っている者（生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等）。

エ 自己取引・委託取引の割合

表 各月末時点（米穀指数）

	建 玉								
	売				買				
	自 己		委 託		自 己		委 託		
	(枚)	(枚)	(%)	(枚)	(%)	(枚)	(%)	(枚)	(%)
9 月 末	364	-	-	364	100	-	-	364	100
10月 末	316	-	-	316	100	-	-	316	100
11月 末	365	-	-	365	100	-	-	365	100

注：自己取引とは、取引参加資格を持つ者が自己資金で行う売買であり、委託取引とは、商品先物取引業者が顧客から委託を受けて、当該顧客の資金で行う売買をいう。

オ 建玉報告対象者の割合

表 各月末時点（米穀指数）

	建 玉				
	売			買	
	(枚)	(枚)	(%)	(枚)	(%)
9 月末	364	170	46.7	194	53.3
10 月末	316	109	34.5	69	21.8
11 月末	365	200	54.8	146	40.0

注：建玉報告対象者とは、それぞれの商品先物市場において、一定の建玉（堂島取引所の米穀指数については 21 枚以上）を有する者。商品先物取引法第 112 条第 2 号に基づき、商品取引所は当該建玉の状況等を、毎日主務大臣に報告することとされている。

(5) 直近3ヶ月のデータ

ア 期間中の価格（終値）

表 1-1 米穀指数（9・10月）

単位：円

	R7年10月限	R7年12月限	R8年2月限	R8年4月限	R8年6月限	R8年8月限	R8年10月限
R7年9月1日	30,530	31,450	30,820	31,050	31,000	30,600	
9月2日	31,400	31,150	31,350	31,250	31,350	31,150	
9月3日	31,450	31,500	31,500	31,500	31,500	31,250	
9月4日	31,490	31,500	31,490	31,590	31,500	31,540	
9月5日	31,450	31,460	31,450	31,470	31,500	31,620	
9月8日	31,500	31,600	31,520	31,490	31,550	31,570	
9月9日	31,700	31,650	31,450	31,100	31,650	31,730	
9月10日	31,720	31,850	31,630		31,760	32,000	
9月11日	32,270	32,200	32,100		32,400	32,200	
9月12日	33,000	33,010	32,900	32,510	33,210	33,010	
9月16日	33,500	33,500	33,700	33,350	33,500	33,600	
9月17日	33,500	33,600	33,350	33,650	33,720	33,250	
9月18日	33,400	33,440	33,480	33,100	33,410	33,600	
9月19日	32,700	32,770	32,810	33,100	32,740	32,940	
9月22日	32,800	32,900	32,770	32,700	32,450	32,600	
9月24日	32,750	33,100	32,950	32,720	32,500	32,700	
9月25日	32,790	33,000	32,870	32,800	32,200	32,700	
9月26日	32,600	32,700	32,700	32,600	32,000	32,480	
9月29日		32,700			32,000	32,500	
9月30日	32,500	32,600	32,600	32,400	32,400	32,950	
R7年10月1日	32,460	32,550	32,500	32,430	32,470	32,600	
10月2日	32,430	32,500	32,460	32,400	32,640	32,850	
10月3日	32,470	32,530	32,520	32,380	32,700	32,900	
10月6日	32,900	32,550	32,570	32,430	32,850	32,890	
10月7日	32,880	32,820	32,790	32,800	32,900	32,940	
10月8日	32,900	33,350	32,880	33,300	33,000	33,250	
10月9日	33,000	33,250	33,250	33,200	33,000	33,000	
10月10日	33,500			33,860	33,000	33,000	
10月14日	33,550	32,980			33,000	33,000	
10月15日	33,000	32,400	32,950	33,180	33,050	33,040	
10月16日	33,030	32,900	33,050	33,100	33,300	33,000	
10月17日	33,300	33,050	33,100	33,080	33,200	33,300	
10月20日	34,630	33,710	33,760	33,740	33,800	33,700	
10月21日	35,000	34,550	34,600	34,580	34,500	34,400	
10月22日	36,410	35,590	35,640	35,500	35,540	35,430	
10月23日	36,700	36,170	36,710	36,560	36,440	36,200	
10月24日	36,770	36,170	36,160	36,200	36,250	35,500	
10月27日	37,700	36,300	36,140	36,020	35,520	34,800	
10月28日	38,000	36,490	36,400	36,100	35,700	35,550	
10月29日	39,510	35,760	36,360	36,050		35,060	
10月30日	41,080	36,200	36,400	36,380	35,500	35,110	
10月31日		36,390	36,680	36,500	36,000	35,700	

表 1-2 米穀指数 (11 月)

単位：円

	R7年10月限	R7年12月限	R8年2月限	R8年4月限	R8年6月限	R8年8月限	R8年10月限
R7年11月4日		36,750	36,300	35,770	35,280	35,000	35,000
11月5日		36,500	36,320	35,790	35,600	35,030	35,000
11月6日		36,480	36,350	36,000	35,700	35,000	34,950
11月7日		36,300	36,280	36,180	35,660	34,990	34,350
11月10日		35,020	35,920	36,010	34,950	34,500	34,250
11月11日		35,010	35,700	35,400	35,000	33,710	34,320
11月12日		34,810	35,230	35,170	34,300	33,040	33,630
11月13日		34,900			33,440	33,000	32,790
11月14日		34,800	33,400	33,300	32,750	32,350	31,830
11月17日		34,600	33,010	32,500	31,910	31,560	31,030
11月18日		34,250	32,910	32,410	31,550	30,700	30,350
11月19日		35,000	33,240	32,420	31,460	30,400	29,930
11月20日		35,200	33,440	32,500	32,090	31,000	30,180
11月21日		35,600	33,350	32,650	32,500	31,100	30,150
11月25日		35,750	33,450	32,570	32,560	31,600	30,500
11月26日		36,000	33,550	32,650	32,550	31,670	30,850
11月27日		36,400	33,630	32,320	31,900	31,750	31,000
11月28日		36,350	33,550	32,250	32,270	31,500	30,500

イ 期間中の出来高

表 1-1 米穀指数（9・10月）

単位：枚

	R7年10月限	R7年12月限	R8年2月限	R8年4月限	R8年6月限	R8年8月限	R8年10月限	合 計
R7年9月1日	62	60	41	76	92	1		332
9月2日	85	72	63	43	49	22		334
9月3日	64	84	64	44	57	22		335
9月4日	46	52	34	43	87	71		333
9月5日	82	61	51	41	27	43		305
9月8日	62	100	82	63	60	64		431
9月9日	75	90	62	92	53	47		419
9月10日	61	47	49		111	19		287
9月11日	64	60	81		111	79		395
9月12日	46	76	58	3	97	115		395
9月16日	32	44	65	10	100	67		318
9月17日	42	63	83	50	48	57		343
9月18日	91	70	69	73	35	67		405
9月19日	13	45	46	22	7	25		158
9月22日	28	33	36	43	39	58		237
9月24日	1	2	45	31	50	92		221
9月25日	8	16	31	41	13	122		231
9月26日	2	43	62	31	23	29		190
9月29日		4			1	7		12
9月30日	5	2	3	1	81	84		176
9月計	869	1,024	1,025	707	1,141	1,091		5,857
R7年10月1日	3	1	8	5	44	5		66
10月2日	62	41	53	86	66	62		370
10月3日	22	41	61	82	91	107		404
10月6日	43	62	82	91	99	184		561
10月7日	62	50	92	95	105	109		513
10月8日	51	75	97	98	94	129		544
10月9日	1	81	71	61	100	62		376
10月10日	2			3	1	7		13
10月14日	1	1			6	2		10
10月15日	25	43	72	2	102	110		354
10月16日	42	27	62	54	84	99		368
10月17日	43	81	100	91	99	91		505
10月20日	13	3	5	2	16	23		62
10月21日	2	2	2	76	105	111		298
10月22日	18	1	2	5	23	7		56
10月23日	28	10	5	5	25	120		193
10月24日	16	2	1	1	3	96		119
10月27日	102	70	86	99	64	103		524
10月28日	124	3	1	1	81	205		415
10月29日	36	73	93	99		95		396
10月30日	36	99	82	80	1	106		404
10月31日	88	30	42	31	21	119		331
10月計	820	796	1,017	1,067	1,230	1,952		6,882

表 1-2 米穀指数 (11 月)

単位：枚

	R7年10月限	R7年12月限	R8年2月限	R8年4月限	R8年6月限	R8年8月限	R8年10月限	合 計
R7年11月4日		63	53	82	74	113	20	405
11月5日		7	82	92	76	98	52	407
11月6日		3	76	92	99	3	176	449
11月7日		4	83	71	61	51	87	357
11月10日		74	82	99	73	105	148	581
11月11日		3	2	1	85	112	98	301
11月12日		63	81	89	78	102	220	633
11月13日		41			1	89	198	329
11月14日		3	4	2	82	117	93	301
11月17日		8	103	83	84	92	98	468
11月18日		3	63	80	94	102	90	432
11月19日		14	44	83	93	97	70	401
11月20日		42	81	61	93	102	83	462
11月21日		3	41	61	51	36	107	299
11月25日		27	47	63	82	74	92	385
11月26日		4	61	90	86	77	108	426
11月27日		2	31	46	13	74	92	258
11月28日		1	26	29	41	61	46	204
11月計		365	960	1,124	1,266	1,505	1,878	7,098

2 関連情報

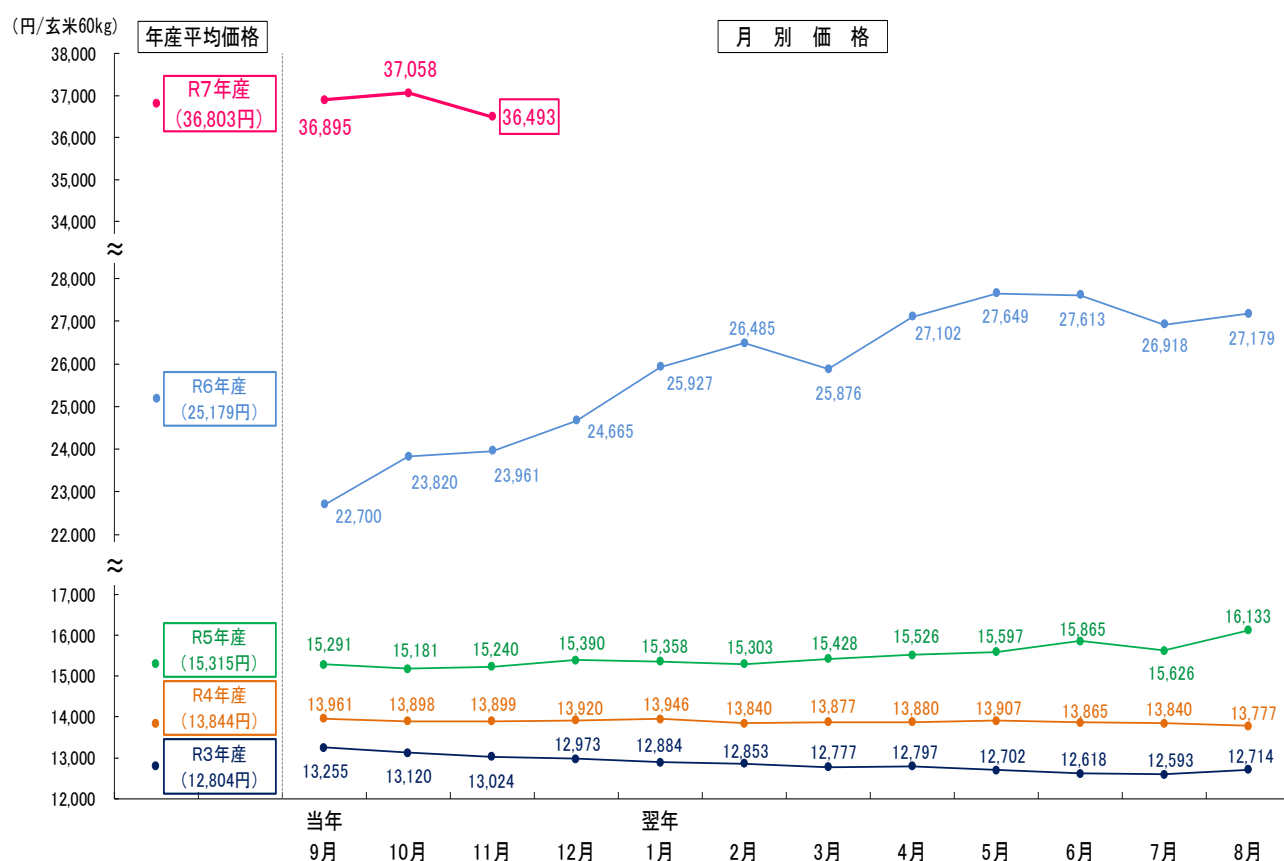
(1) 米の関連情報

ア 米の取引価格及び数量

(ア) 年産別の相対取引価格（速報）

- 令和7年産米の令和7年11月の相対取引価格は、全銘柄平均で36,493円/玄米60kgとなり、対前年同月+12,532円（+52%）、対前月▲565円（▲2%）となったところ。また、取引数量は、24.6万トン（対前年同月比+64%）となった。
- 年産平均価格は36,803円/玄米60kgとなり、対前年+11,624円（+46%）となった。

相対取引価格の推移（税込）（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

2：グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（7年産は出回りから令和7年11月までの速報値）の通年平均価格、右側は月ごとの価格の推移。

(イ) 相対取引価格・数量（令和7年産米、産地品種銘柄別、令和7年11月分）（速報）

相対取引価格・数量（北海道から愛知まで）

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	7年産米 令和7年11月		月別価格				年産平均価格			取引数量				取引数量 累計		
		価格 ①	数量 ②	7年産米 (7年10月)	対前月比	対前年 同月比	6年産米 (6年11月)	7年産米 出回り～ 7年11月	6年産米 出回り～ 7年10月	対前年比	7年産米 (7年10月)	対前月比	対前年 同月比	6年産米 (6年11月)	7年産米 出回り～ 7年11月	6年産米 出回り～ 6年11月	対前年 同期比
				③	①/③	①/④	④	⑦	⑧	⑦/⑧	⑤	②/⑤	②/⑥	⑥	⑨	⑩	⑨/⑩
北海道	ななつぼし	34,761	10,709	36,416	95%	134%	25,862	35,812	27,035	132%	13,013	82%	76%	14,076	34,671	45,934	75%
北海道	ゆめぴりか	36,147	5,530	37,708	96%	132%	27,485	37,062	28,034	132%	7,954	70%	72%	7,706	20,060	24,464	82%
北海道	きらら397	34,998	1,433	35,881	98%	141%	24,748	35,353	26,349	134%	1,021	140%	62%	2,314	2,524	4,339	58%
青森	まっしぐら	36,777	15,848	36,885	100%	142%	25,953	36,832	26,297	140%	16,724	95%	153%	10,382	35,298	20,264	174%
青森	はれわたリ	36,495	3,969	37,298	98%	—	—	36,953	—	—	5,885	67%	—	—	10,410	—	—
岩手	ひとめぼれ	36,604	1,554	37,255	98%	175%	20,858	37,185	24,101	154%	29,490	5%	29%	5,340	39,535	11,287	350%
岩手	銀河のしずく	37,381	853	37,455	100%	171%	21,876	37,456	24,387	154%	8,568	10%	40%	2,148	13,714	5,704	240%
岩手	あきたこまち	38,597	362	38,219	101%	163%	23,665	38,268	25,413	151%	3,921	9%	36%	993	4,405	1,475	299%
宮城	ひとめぼれ	36,887	39,411	38,129	97%	167%	22,026	37,394	24,315	154%	27,817	142%	426%	9,255	70,452	45,316	155%
宮城	つや姫	28,586	2,603	38,816	74%	116%	24,643	35,765	24,276	147%	5,154	51%	1251%	208	8,627	7,165	120%
宮城	ササニシキ	38,774	1,494	39,352	99%	159%	24,372	39,109	24,726	158%	2,133	70%	415%	360	3,862	4,463	87%
秋田	あきたこまち	38,903	10,460	39,126	99%	172%	22,563	38,994	24,806	157%	19,403	54%	102%	10,301	34,311	51,297	67%
秋田	めんこいな	37,697	2,227	37,727	100%	169%	22,300	37,654	23,770	158%	346	644%	125%	1,785	2,747	2,302	119%
秋田	ひとめぼれ	37,413	2,044	37,387	100%	188%	19,947	37,401	22,285	168%	1,456	140%	188%	1,085	4,040	7,312	55%
山形	はえぬき	35,853	20,050	36,364	99%	144%	24,846	36,049	25,804	140%	10,219	196%	673%	2,980	31,033	7,814	397%
山形	つや姫	39,842	5,517	40,159	99%	144%	27,738	40,054	28,137	142%	12,368	45%	104%	5,319	18,311	9,769	187%
山形	雪若丸	37,368	3,699	37,317	100%	145%	25,772	37,371	26,676	140%	3,293	112%	296%	1,248	7,298	3,355	218%
福島	コシヒカリ(中通り)	37,639	14,857	36,421	103%	145%	25,912	37,286	27,013	138%	5,633	264%	321%	4,628	20,712	7,108	291%
福島	コシヒカリ(会津)	38,859	6,322	38,786	100%	144%	26,972	38,840	26,437	147%	2,113	299%	107%	5,926	8,436	7,760	109%
福島	コシヒカリ(浜通り)	37,568	488	36,275	104%	149%	25,260	36,965	26,069	142%	421	116%	24%	2,075	913	2,186	42%
福島	天のつぶ	35,825	13,773	35,740	100%	147%	24,329	35,782	24,772	144%	9,803	140%	428%	3,216	23,664	5,603	422%
福島	ひとめぼれ	37,081	8,336	36,471	102%	147%	25,278	36,792	26,343	140%	5,756	145%	292%	2,852	14,597	4,292	340%
茨城	コシヒカリ	37,477	4,702	38,094	98%	132%	28,467	37,845	28,223	134%	3,928	120%	153%	3,067	11,283	15,813	71%
茨城	あきたこまち	36,330	642	36,271	100%	—	—	36,108	26,462	136%	527	122%	—	—	4,070	4,642	88%
茨城	にじのきらめき	35,713	996	36,019	99%	135%	26,485	35,897	26,785	134%	1,683	59%	238%	419	2,823	902	313%
栃木	コシヒカリ	35,910	6,047	38,129	94%	140%	25,622	37,434	25,295	148%	13,039	46%	1183%	511	20,172	28,374	71%
栃木	とちぎの星	33,881	2,258	36,871	92%	—	—	35,682	24,927	143%	3,524	64%	—	—	5,969	4,442	134%
栃木	あさひの夢	35,719	1,021	37,021	96%	—	—	36,070	24,600	147%	376	272%	—	—	1,398	1,564	89%
群馬	あさひの夢	36,048	816	—	—	133%	27,027	36,048	27,033	133%	—	—	300%	272	816	273	299%
群馬	にじのきらめき	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
埼玉	彩のきずな	34,661	751	34,494	100%	157%	22,068	34,577	23,846	145%	755	99%	138%	546	1,509	288	524%
埼玉	彩のかがやき	—	—	—	—	—	23,596	—	26,145	—	—	—	—	199	—	1,099	—
埼玉	コシヒカリ	35,523	310	35,682	100%	147%	24,168	35,631	24,746	144%	534	58%	143%	217	849	417	204%
千葉	コシヒカリ	36,841	781	36,880	100%	158%	23,262	36,939	24,169	153%	2,514	31%	104%	749	8,472	16,192	52%
千葉	ふさこがね	33,295	485	34,271	97%	134%	24,775	33,967	23,591	144%	1,827	27%	38%	1,270	8,819	8,269	107%
千葉	ふさおとめ	33,308	307	33,821	98%	133%	25,083	33,444	23,384	143%	702	44%	22%	1,367	5,356	6,755	79%
山梨	コシヒカリ	—	—	36,175	—	—	19,710	36,458	19,758	185%	154	—	—	259	319	749	43%
長野	コシヒカリ	37,236	6,619	37,821	98%	144%	25,840	36,856	23,438	157%	8,088	82%	200%	3,317	26,212	21,794	120%
長野	あきたこまち	34,782	487	35,587	98%	144%	24,165	35,035	23,015	152%	330	148%	138%	353	3,050	2,686	114%
静岡	コシヒカリ	29,256	125	—	—	157%	18,676	32,981	23,512	140%	—	—	91%	138	294	986	30%
静岡	きぬむすめ	—	—	—	—	—	—	25,958	22,393	116%	—	—	—	—	101	—	—
静岡	にこまる	—	—	—	—	—	—	—	24,397	—	—	—	—	—	—	—	—
新潟	コシヒカリ(一般)	39,476	19,008	39,280	100%	182%	21,680	39,123	25,636	153%	20,335	93%	403%	4,720	58,781	41,049	143%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	43,098	1,058	42,049	102%	166%	26,006	42,286	26,517	159%	3,059	35%	51%	2,093	8,837	10,972	81%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	39,277	294	40,021	98%	185%	21,281	39,702	25,253	157%	2,526	12%	108%	273	7,894	6,190	128%
新潟	コシヒカリ(岩船)	40,893	542	39,056	105%	188%	21,794	39,270	25,140	156%	2,067	26%	341%	159	7,090	6,667	106%
新潟	こしいぶき	35,932	4,306	35,407	101%	164%	21,933	35,294	23,552	150%	6,317	68%	481%	895	17,515	9,327	188%
富山	コシヒカリ	37,134	256	36,625	101%	160%	23,215	36,536	26,635	137%	25,333	1%	11%	2,299	32,412	18,009	180%
富山	てんたかく	32,341	148	36,217	89%	161%	20,040	35,870	24,725	145%	3,087	5%	45%	330	5,487	2,546	216%
富山	富富富	—	—	36,036	—	—	—	35,362	—	—	2,573	—	—	—	3,657	—	—
石川	コシヒカリ	36,945	730	35,566	104%	156%	23,683	35,993	23,317	154%	4,312	17%	67%	1,096	6,984	4,832	145%
石川	ゆめみづほ	33,727	579	32,331	104%	145%	23,288	33,466	21,948	152%	765	76%	87%	665	3,182	2,297	139%
石川	ひゃくまん穀	38,027	450	38,023	100%	—	—	38,025	—	—	911	49%	—	—	2,321	—	—
福井	コシヒカリ	34,648	260	35,449	98%	161%	21,557	32,934	21,494	153%	186	140%	5%	5,363	7,631	12,609	61%
福井	ハナエチゼン	33,290	733	34,390	97%	154%	21,563	32,720	21,166	155%	198	370%	34%	2,133	7,127	9,783	73%
福井	あきさかり	33,328	1,047	—	—	164%	20,309	32,655	21,213	154%	—	—	178%	587	1,958	2,238	88%
岐阜	ハツシモ	39,112	1,234	38,559	101%	171%	22,898	39,011	25,448	153%	276	447%	372%	332	1,510	623	242%
岐阜	コシヒカリ	38,096	196	38,931	98%	170%	22,369	38,887	25,604	152%	1,781	11%	132%	149	2,157	919	235%
岐阜	ほしじるし	—	—	—	—	—	23,650	—	24,165	—	—	—	—	150	—	271	—
愛知	あいちのかおり	—	—	—	—	—	20,000	—	24,203	—	—	—	—	208	—	410	—
愛知	コシヒカリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛知	大地の風	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

相対取引価格・数量（三重から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	7年産米 令和7年11月		月別価格				年産平均価格				取引数量				取引数量 累計			
		価格 ①	数量 ②	7年産米 (7年10月)	対前月比	対前年 同月比	6年産米 (6年11月)	7年産米 出回り～ 7年11月	6年産米 出回り～ 7年10月	対前年比	7年産米 (7年10月)	対前月比	対前年 同月比	6年産米 (6年11月)	7年産米 出回り～ 7年11月	6年産米 出回り～ 6年11月	対前年 同月比		
				③	①/③	①/④	④	⑦	⑧	⑦/⑧	⑤	②/⑤	②/⑥	⑥	⑨	⑩	⑨/⑩		
三重	コシヒカリ(一般)	-	-	37,952	-	-	23,889	39,464	23,303	169%	2,606	-	-	988	4,440	3,648	122%		
三重	コシヒカリ(伊賀)	-	-	38,092	-	-	24,065	39,722	23,672	168%	1,941	-	-	881	4,006	2,095	191%		
三重	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	23,373	38,502	22,429	172%	-	-	-	228	193	410	47%		
滋賀	コシヒカリ	35,162	1,860	35,010	100%	154%	22,872	35,036	23,771	147%	841	221%	132%	1,409	4,643	5,710	81%		
滋賀	みずかがみ	34,737	2,348	34,518	101%	152%	22,853	34,805	23,782	146%	521	451%	253%	927	3,500	4,534	77%		
滋賀	キヌヒカリ	33,529	1,532	34,223	98%	154%	21,835	33,720	24,177	139%	558	275%	327%	469	2,257	1,642	137%		
京都	コシヒカリ	35,260	236	35,750	99%	151%	23,354	36,639	22,946	160%	320	74%	60%	396	2,772	2,501	111%		
京都	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	32,712	20,348	161%	-	-	-	-	162	435	37%		
京都	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	23,164	-	22,074	-	-	-	-	234	-	252	-		
兵庫	コシヒカリ	38,010	682	38,253	99%	162%	23,446	38,068	23,954	159%	337	202%	49%	1,406	2,256	3,336	68%		
兵庫	ヒノヒカリ	-	-	34,352	-	-	20,233	34,975	23,327	150%	157	-	-	120	250	316	79%		
兵庫	キヌヒカリ	-	-	36,418	-	-	21,276	35,768	22,613	158%	113	-	-	219	277	746	37%		
奈良	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	21,684	-	-	-	-	-	-	-	-		
鳥取	きぬむすめ	36,016	139	36,094	100%	167%	21,536	36,094	24,575	147%	596	23%	40%	349	748	1,071	70%		
鳥取	コシヒカリ	-	-	36,481	-	-	22,149	36,598	23,519	156%	486	-	-	218	830	1,153	72%		
鳥取	ひとめぼれ	36,442	133	35,738	102%	-	-	36,003	23,777	151%	230	58%	-	-	535	811	66%		
島根	きぬむすめ	34,556	1,712	34,281	101%	165%	20,880	34,318	19,943	172%	7,712	22%	290%	591	11,687	9,666	121%		
島根	コシヒカリ	35,293	790	36,129	98%	161%	21,955	36,046	20,761	174%	3,969	20%	78%	1,007	7,244	8,056	90%		
島根	つや姫	36,273	361	35,983	101%	-	-	35,760	20,464	175%	2,120	17%	-	-	3,843	4,285	90%		
岡山	アケボノ	-	-	35,019	-	-	-	35,051	25,558	137%	510	-	-	-	532	153	348%		
岡山	きぬむすめ	36,100	126	35,771	101%	158%	22,891	35,808	25,351	141%	988	13%	17%	758	1,114	1,808	62%		
岡山	コシヒカリ	-	-	36,980	-	-	23,817	36,318	25,341	143%	566	-	-	764	1,512	2,202	69%		
広島	コシヒカリ	36,107	283	36,328	99%	170%	21,282	36,403	22,696	160%	512	55%	81%	349	1,970	1,906	103%		
広島	あきさかり	-	-	35,571	-	-	20,257	35,779	21,511	166%	201	-	-	332	540	760	71%		
広島	あきろまん	-	-	36,045	-	-	20,904	35,910	22,305	161%	268	-	-	102	376	375	100%		
山口	コシヒカリ	35,577	229	35,535	100%	168%	21,237	35,573	22,575	158%	288	80%	104%	221	1,084	1,842	59%		
山口	ひとめぼれ	35,032	478	35,070	100%	168%	20,910	35,064	22,173	158%	320	149%	124%	384	1,154	1,073	108%		
山口	きぬむすめ	34,834	456	35,030	99%	170%	20,493	34,967	22,245	157%	847	54%	268%	170	1,384	507	273%		
徳島	コシヒカリ	34,996	285	35,771	98%	-	-	36,149	23,568	153%	409	70%	-	-	1,245	3,116	40%		
徳島	あきさかり	32,605	240	-	-	147%	22,242	32,708	22,633	145%	-	-	99%	243	480	736	65%		
香川	ヒノヒカリ	34,225	131	-	-	153%	22,345	34,225	22,552	152%	-	-	42%	312	207	428	48%		
香川	コシヒカリ	34,765	186	34,765	100%	152%	22,885	34,765	22,515	154%	303	61%	38%	494	527	1,661	32%		
香川	あきさかり	34,225	105	34,225	100%	155%	22,129	34,225	22,127	155%	145	72%	28%	372	254	595	43%		
愛媛	コシヒカリ	-	-	38,267	-	-	-	38,233	21,469	178%	161	-	-	-	537	1,909	28%		
愛媛	ひめの涙	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	23,901	-	-	-	-	-	-	315	-		
高知	コシヒカリ	35,299	109	-	-	-	-	35,299	22,339	158%	-	-	-	-	4,192	6,684	63%		
高知	ヒノヒカリ	-	-	34,327	-	-	-	34,327	21,367	161%	141	-	-	-	230	264	87%		
福岡	夢つくし	31,785	470	31,469	101%	130%	24,407	32,277	24,163	134%	508	93%	23%	2,014	1,598	4,762	34%		
福岡	ヒノヒカリ	34,795	1,262	33,660	103%	155%	22,515	34,447	24,616	140%	560	225%	230%	548	1,822	2,732	67%		
福岡	元気つくし	33,660	905	34,310	98%	147%	22,944	34,051	25,241	135%	1,159	78%	79%	1,145	2,115	2,871	74%		
佐賀	さがびより	36,139	470	35,694	101%	164%	21,988	36,027	22,228	162%	159	296%	76%	618	628	809	78%		
佐賀	夢しずく	36,602	179	35,285	104%	171%	21,387	35,519	21,691	164%	296	60%	28%	650	573	1,535	37%		
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
長崎	にこまる	-	-	35,197	-	-	23,641	35,192	24,307	145%	360	-	-	225	363	217	168%		
長崎	なつほのか	34,978	121	34,981	100%	-	-	34,980	24,089	145%	180	67%	-	-	301	157	192%		
長崎	ヒノヒカリ	-	-	34,765	-	-	-	34,765	23,743	146%	101	-	-	-	101	144	70%		
熊本	ヒノヒカリ	-	-	36,722	-	-	24,469	36,702	25,821	142%	171	-	-	204	266	331	80%		
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	23,519	-	-	-	-	-	-	-	-		
熊本	コシヒカリ	34,544	192	37,361	92%	145%	23,898	34,733	24,406	142%	123	156%	122%	158	408	1,026	40%		
大分	ヒノヒカリ	35,401	126	35,363	100%	147%	24,126	35,376	24,265	146%	244	52%	37%	345	369	623	59%		
大分	なつほのか	35,163	252	35,378	99%	146%	24,019	35,249	24,358	145%	168	150%	92%	274	420	423	99%		
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	24,285	34,888	24,246	144%	-	-	-	589	152	693	22%		
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	36,508	22,600	162%	-	-	-	-	8,152	4,405	185%		
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	27,076	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	29,258	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	-	32,303	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	31,683	21,140	150%	-	-	-	-	752	771	98%		
全銘柄平均価格、合計数量		36,493	246,221	37,058	98%	152%	23,961	36,803	25,179	146%	336,796	73%	164%	150,099	771,030	622,138	124%		

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
- 3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡県（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
- 6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（7年産は速報値）。
- 7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
- 8 「ー」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産米の年産平均価格について、令和6年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和5年産米は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄であり、価格の公表を行わないものである。
- 9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。
- 10 令和6年産米の令和7年3月以降の取引は政府備蓄米を含む。（なお、産地区分のない、福島県産コシヒカリは「コシヒカリ（中通り）」に、新潟県産コシヒカリは「コシヒカリ（一般）」に含めて算定している。）

イ 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和7年11月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【<https://www.komenet.jp/>】

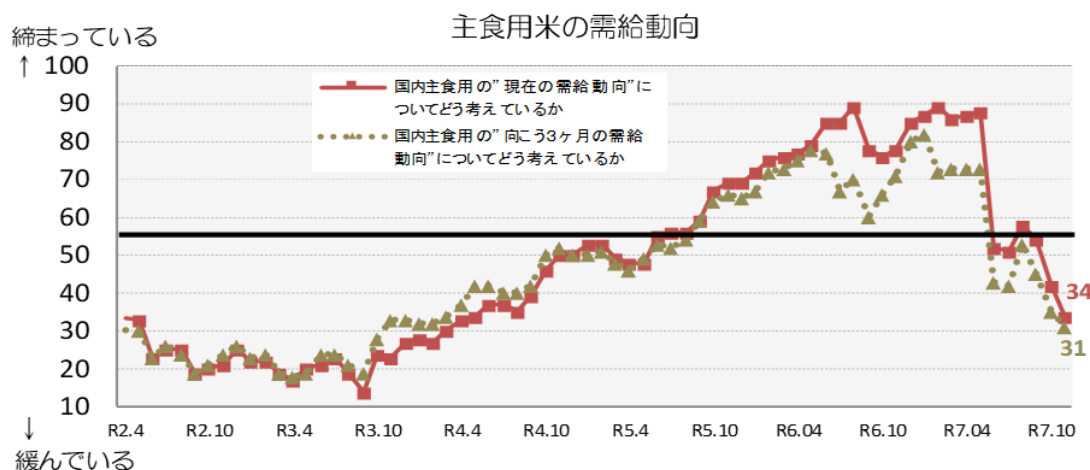
- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和7年11月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて▲8ポイントの「大幅に減少」、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲4ポイントの「やや減少」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて±0ポイントの「横ばい」、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲7ポイントの「大幅に減少」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断DI 前回からの増減 ▲8（今月の数値 34）

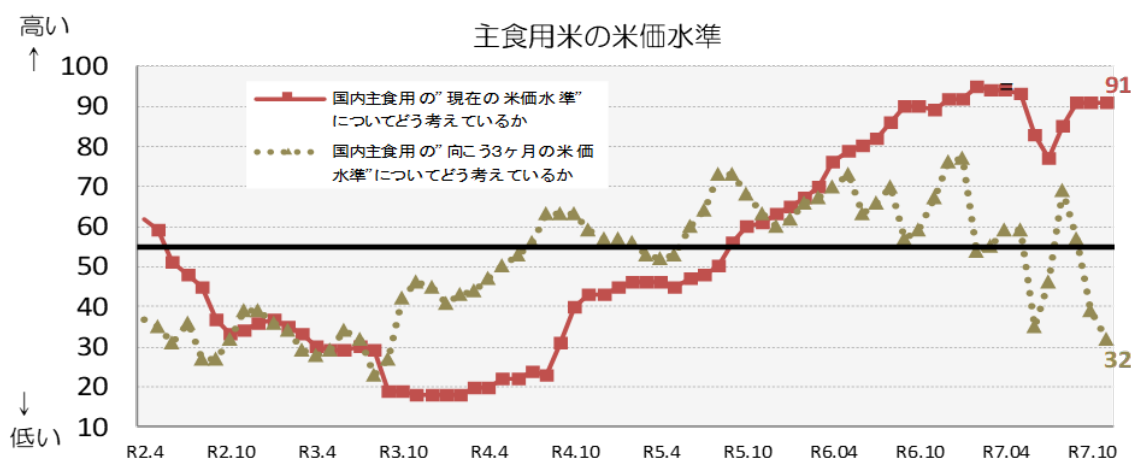
(イ) 見通し判断DI（向こう3ヶ月） 前回からの増減 ▲4（今月の数値 31）



② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI 前回からの増減 ±0（今月の数値 91）

(イ) 見通し判断DI（向こう3ヶ月） 前回からの増減 ▲7（今月の数値 32）



2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

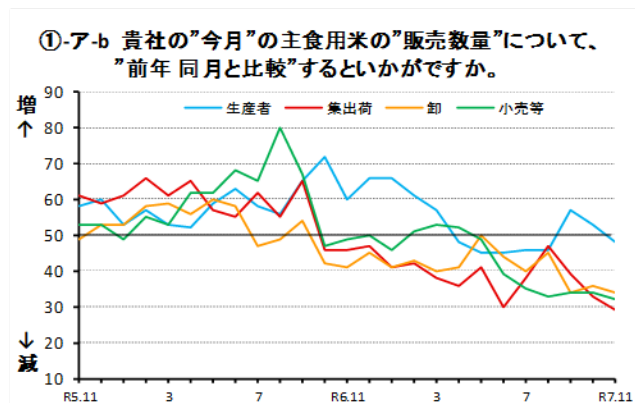
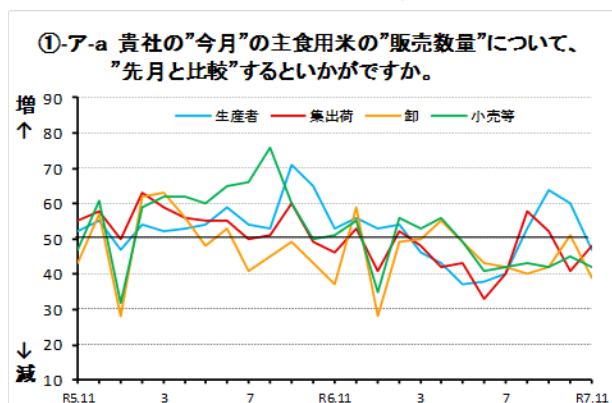
(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲13	(今月の数値	47)
集出荷：前回からの増減	+7	(今月の数値	48)
卸：前回からの増減	▲12	(今月の数値	39)
小売等：前回からの増減	▲3	(今月の数値	42)

b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲5	(今月の数値	48)
集出荷：前回からの増減	▲4	(今月の数値	29)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	34)
小売等：前回からの増減	▲2	(今月の数値	32)



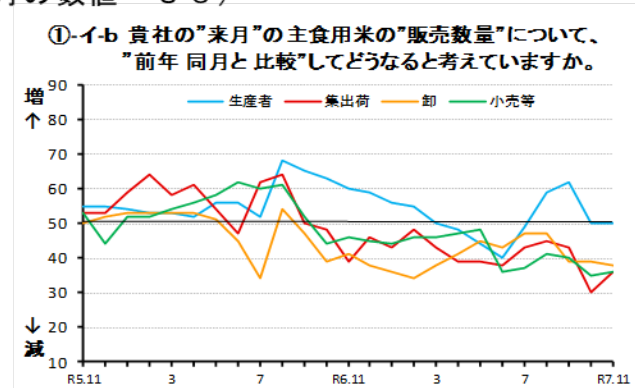
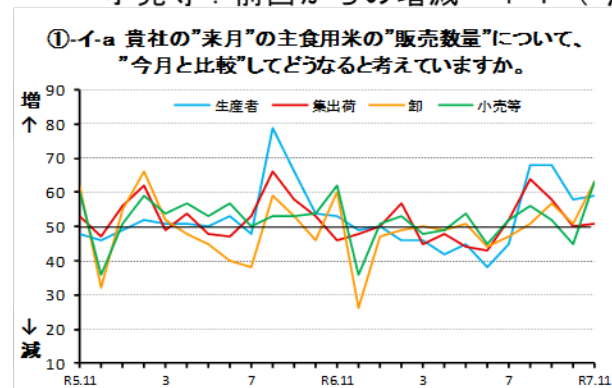
(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+1	(今月の数値	59)
集出荷：前回からの増減	+1	(今月の数値	51)
卸：前回からの増減	+12	(今月の数値	63)
小売等：前回からの増減	+18	(今月の数値	63)

b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	+6	(今月の数値	36)
卸：前回からの増減	▲1	(今月の数値	38)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	36)



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が
前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が
前月より強くなった傾向を示します。

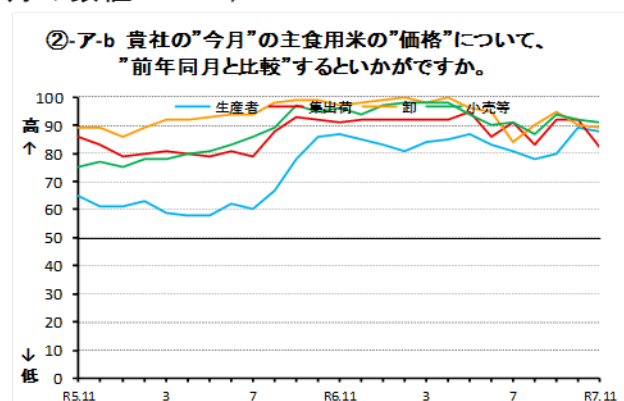
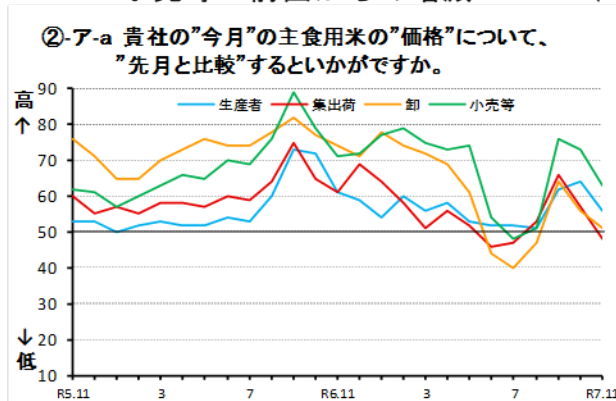
(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲ 8 (今月の数値 56)
集出荷：前回からの増減 ▲ 9 (今月の数値 48)
卸：前回からの増減 ▲ 5 (今月の数値 51)
小売等：前回からの増減 ▲ 10 (今月の数値 63)

b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲ 1 (今月の数値 88)
集出荷：前回からの増減 ▲ 10 (今月の数値 82)
卸：前回からの増減 ▲ 1 (今月の数値 89)
小売等：前回からの増減 ▲ 1 (今月の数値 91)



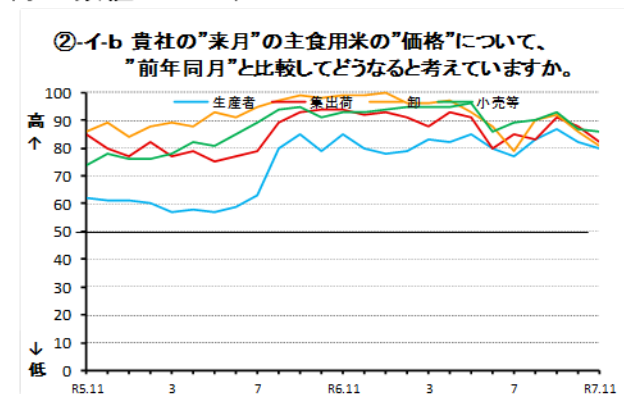
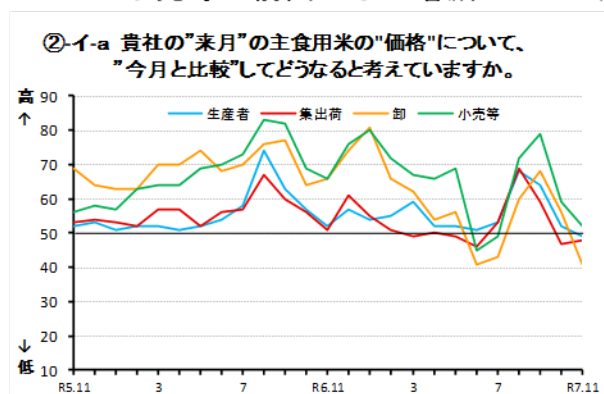
(イ) 来月の価格に関する見通し D I

a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 ▲ 3 (今月の数値 49)
集出荷：前回からの増減 + 1 (今月の数値 48)
卸：前回からの増減 ▲ 15 (今月の数値 41)
小売等：前回からの増減 ▲ 7 (今月の数値 52)

b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲ 2 (今月の数値 80)
集出荷：前回からの増減 ▲ 6 (今月の数値 82)
卸：前回からの増減 ▲ 5 (今月の数値 81)
小売等：前回からの増減 ▲ 1 (今月の数値 86)



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が
前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が
前月より強くなった傾向を示します。

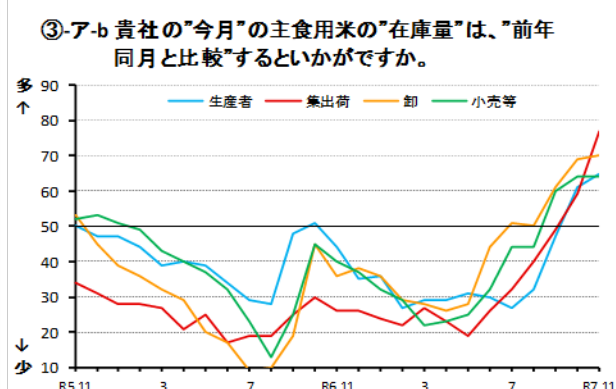
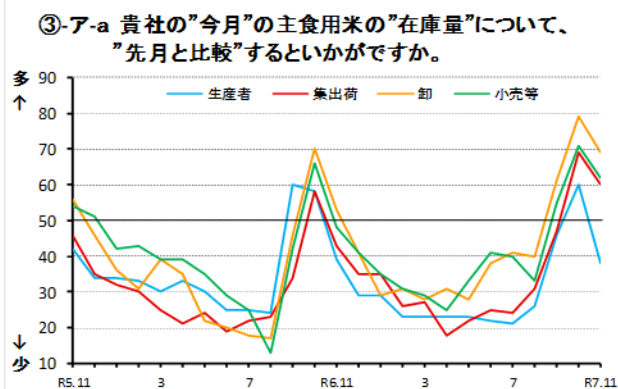
(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲22 (今月の数値 38)
集出荷：前回からの増減 ▲9 (今月の数値 60)
卸：前回からの増減 ▲10 (今月の数値 69)
小売等：前回からの増減 ▲9 (今月の数値 62)

b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 +4 (今月の数値 65)
集出荷：前回からの増減 +18 (今月の数値 77)
卸：前回からの増減 +1 (今月の数値 70)
小売等：前回からの増減 ±0 (今月の数値 64)



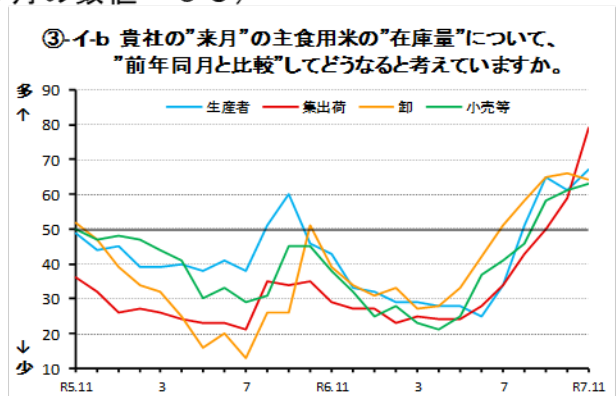
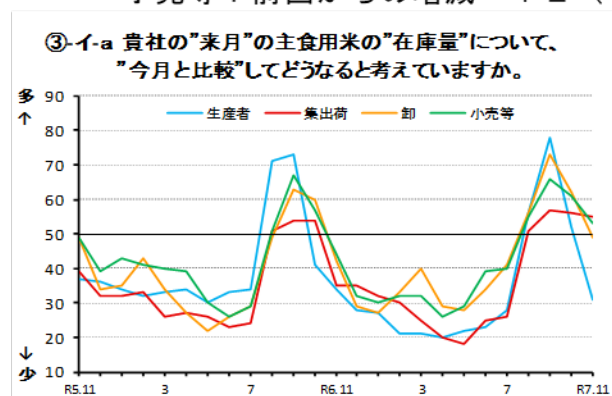
(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 ▲21 (今月の数値 31)
集出荷：前回からの増減 ▲1 (今月の数値 55)
卸：前回からの増減 ▲13 (今月の数値 49)
小売等：前回からの増減 ▲8 (今月の数値 53)

b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 +6 (今月の数値 67)
集出荷：前回からの増減 +20 (今月の数値 79)
卸：前回からの増減 ▲2 (今月の数値 64)
小売等：前回からの増減 +2 (今月の数値 63)



取引関係者が１の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の 調達状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他
R5.11	22%	19%	1%	44%	10%	4%	0%
R5.12	12%	23%	3%	46%	12%	4%	0%
R6.1	9%	28%	2%	46%	10%	3%	2%
R6.2	9%	27%	1%	51%	8%	4%	0%
R6.3	7%	29%	0%	53%	8%	2%	1%
R6.4	3%	29%	2%	52%	9%	3%	1%
R6.5	6%	30%	1%	55%	4%	2%	1%
R6.6	5%	34%	1%	49%	7%	3%	1%
R6.7	6%	35%	3%	46%	7%	3%	1%
R6.8	2%	43%	2%	45%	5%	1%	1%
R6.9	6%	24%	1%	52%	11%	3%	2%
R6.10	7%	22%	2%	54%	10%	3%	2%

	作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の 調達状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他
R6.11	10%	17%	2%	53%	12%	6%	1%
R6.12	3%	26%	2%	57%	7%	3%	1%
R7.1	1%	25%	7%	54%	7%	4%	3%
R7.2	0%	24%	28%	40%	4%	3%	1%
R7.3	3%	32%	17%	42%	2%	2%	1%
R7.4	1%	31%	19%	42%	4%	3%	1%
R7.5	1%	29%	21%	41%	5%	4%	0%
R7.6	1%	18%	49%	26%	5%	1%	1%
R7.7	5%	24%	21%	42%	4%	2%	2%
R7.8	18%	15%	5%	50%	5%	3%	5%
R7.9	11%	23%	4%	51%	5%	4%	2%
R7.10	5%	32%	6%	40%	13%	3%	0%
R7.11	3%	41%	3%	36%	13%	4%	0%

《アンケート方法等》

○調査期間：毎月１日から２５日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の１８０客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、

令和５年４月にアンケート対象事業者の一部入替を行いました。

○有効回答数：１３７客体

生産者・・・・・・・・・・・・・２６

集出荷業者／団体・・・・・・・・・・・・・２３

卸売業者（主に主食用米）・・・・・・・・・・・・・２７

小売業者／中食・外食業者・・・・・・・・・・・・・４６

その他・・・・・・・・・・・・・１５

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《ＤＩの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する５段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（％）に乗じてＤＩを算出します。

ただし、ＤＩの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じＤＩが観測されることに注意が必要です。

（ＤＩの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう３ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。７

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	＋１	＋０. 75	＋０. 5	＋０. 25	０
構成比(B)	17. 8	20. 0	20. 0	22. 2	20. 0
各DI(C=A×B)	17. 8	15	10	5. 6	0
DI(合計)	48. 4				

ウ 事前契約（播種前契約）の取組状況

（ア） 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移

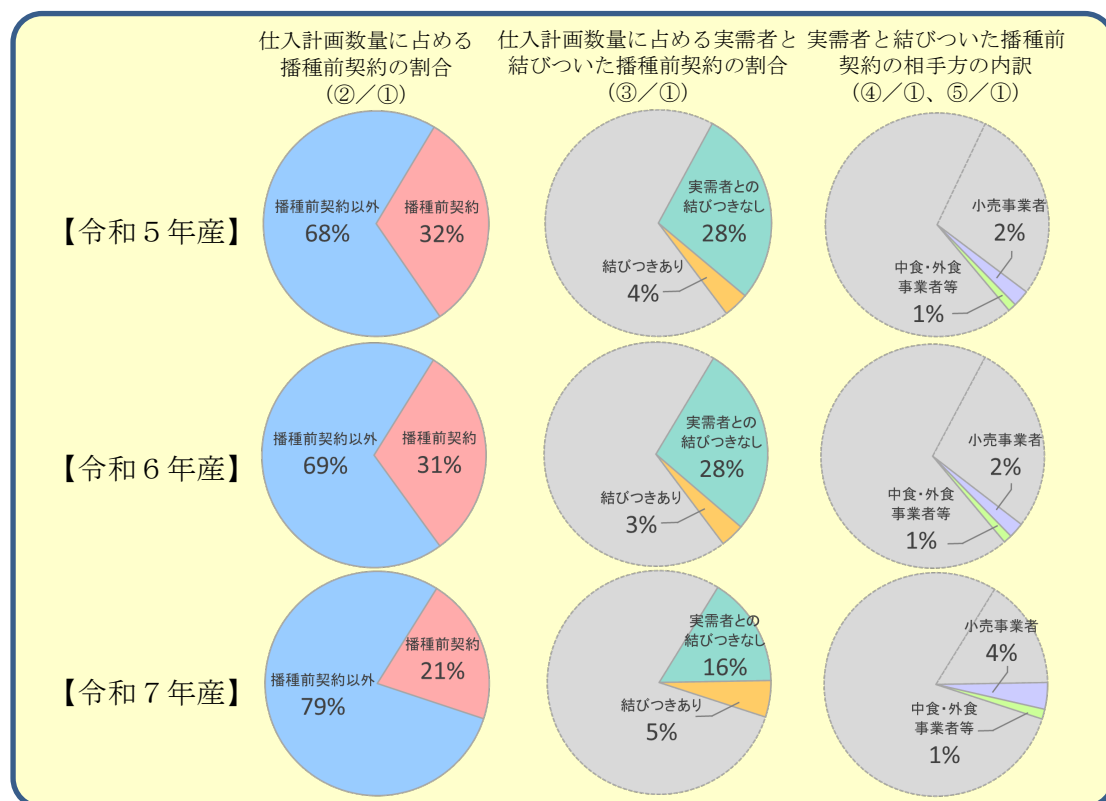
- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 7年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は21%。
7年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は5%。

【播種前契約の状況】

(単位: 千玄米トン)

年産	仕入計画 数量	播種前契約 数量	うち実需者との結びつき		
			計	中食・外食等	小売
	①	②	③	④	⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)
6年産	3,549	1,104 (31%)	123 (3%)	44 (1%)	79 (2%)
7年産	3,548	752 (21%)	187 (5%)	51 (1%)	137 (4%)

【近年の播種前契約の状況】



注1: 調査対象は、年間取扱数量 500 トン以上の集出荷業者。

2: 仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。

3: 播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。

4: 中食・外食等は、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。

5: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(イ) 令和6・7年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

（単位：千玄米トン、％）

	6 年 産				7 年 産			
	仕入計画 数量	うち播種前契約			仕入計画 数量	うち播種前契約		うち複数年契約
		契約数量 ②	契約比率 ②／①	契約数量 ③		契約数量（前年差） ⑤	契約比率（前年差） ⑤／④	契約数量（前年差） ⑥
①	②	②／①	③	④	⑤	⑤／④	⑥	
北 海 道	385	176	46%	176	403	144 (▲32)	36% (▲10%)	144 (▲32)
青 森	181	41	23%	34	181	44 (+3)	24% (+2%)	36 (+2)
岩 手	138	67	48%	62	167	39 (▲28)	23% (▲25%)	39 (▲24)
宮 城	186	125	67%	101	191	93 (▲31)	49% (▲18%)	93 (▲8)
秋 田	285	130	46%	114	277	135 (+5)	49% (+3%)	120 (+6)
山 形	244	54	22%	41	244	19 (▲35)	8% (▲14%)	19 (▲22)
福 島	194	40	21%	37	190	13 (▲27)	7% (▲14%)	13 (▲24)
茨 城	124	26	21%	1	153	2 (▲24)	1% (▲20%)	1 (▲0)
栃 木	169	59	35%	59	190	60 (+1)	32% (▲3%)	59 (+0)
群 馬	26	5	20%	－	24	1 (▲5)	2% (▲18%)	－
埼 玉	40	8	20%	1	41	4 (▲4)	10% (▲10%)	1 (▲0)
千 葉	118	10	8%	8	123	1 (▲9)	0% (▲8%)	－
東 京	－	－	－	－	－	－	－	－
神 奈 川	4	－	－	－	3	－	－	－
山 梨	6	－	－	－	7	－	－	－
長 野	95	37	39%	37	80	36 (▲1)	45% (+7%)	36 (▲0)
静 岡	13	－	－	－	13	－	－	－
新 潟	347	117	34%	79	331	72 (▲44)	22% (▲12%)	72 (▲7)
富 山	95	0	0%	0	88	0 (+0)	0% (+0%)	0 (+0)
石 川	66	17	26%	－	68	19 (+2)	28% (+2%)	－
福 井	49	7	15%	7	47	7 (▲0)	15% (▲0%)	7 (▲0)
岐 阜	34	10	30%	3	31	4 (▲6)	14% (▲16%)	3 (+1)
愛 知	48	1	2%	0	42	4 (+3)	10% (+8%)	4 (+3)
三 重	44	28	65%	－	43	7 (▲22)	16% (▲49%)	－
滋 賀	59	20	34%	8	30	12 (▲8)	40% (+5%)	12 (+3)
京 都	18	3	19%	1	17	2 (▲1)	12% (▲7%)	1 (+0)
大 阪	2	－	－	－	2	－	－	－
兵 庫	37	16	43%	－	29	1 (▲15)	4% (▲39%)	－
奈 良	10	－	－	－	10	－	－	－
和 歌 山	3	－	－	－	－	－	－	－
鳥 取	25	0	1%	0	37	0 (▲0)	0% (▲1%)	－
島 根	35	－	－	－	33	－	－	－
岡 山	42	1	1%	1	45	1 (+0)	1% (▲0%)	1 (+0)
広 島	40	22	55%	－	40	－	－	－
山 口	40	14	35%	0	40	－	－	－
徳 島	16	－	－	－	20	－	－	－
香 川	20	－	－	－	17	－	－	－
愛 媛	16	7	44%	－	17	－	－	－
高 知	9	－	－	－	9	－	－	－
福 岡	64	31	49%	－	66	14 (▲17)	21% (▲28%)	－
佐 賀	41	18	44%	15	38	19 (+1)	50% (+6%)	17 (+1)
長 崎	10	7	70%	－	11	－	－	－
熊 本	58	－	－	－	54	－	－	－
大 分	22	7	33%	1	21	－	－	－
宮 崎	33	－	－	－	20	－	－	－
鹿 児 島	24	－	－	－	25	－	－	－
沖 縄	1	－	－	－	1	－	－	－
全 国	3,549	1,104	31%	788	3,548	752 (▲352)	21% (▲10%)	677 (▲111)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。

2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。

3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。

4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。

5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

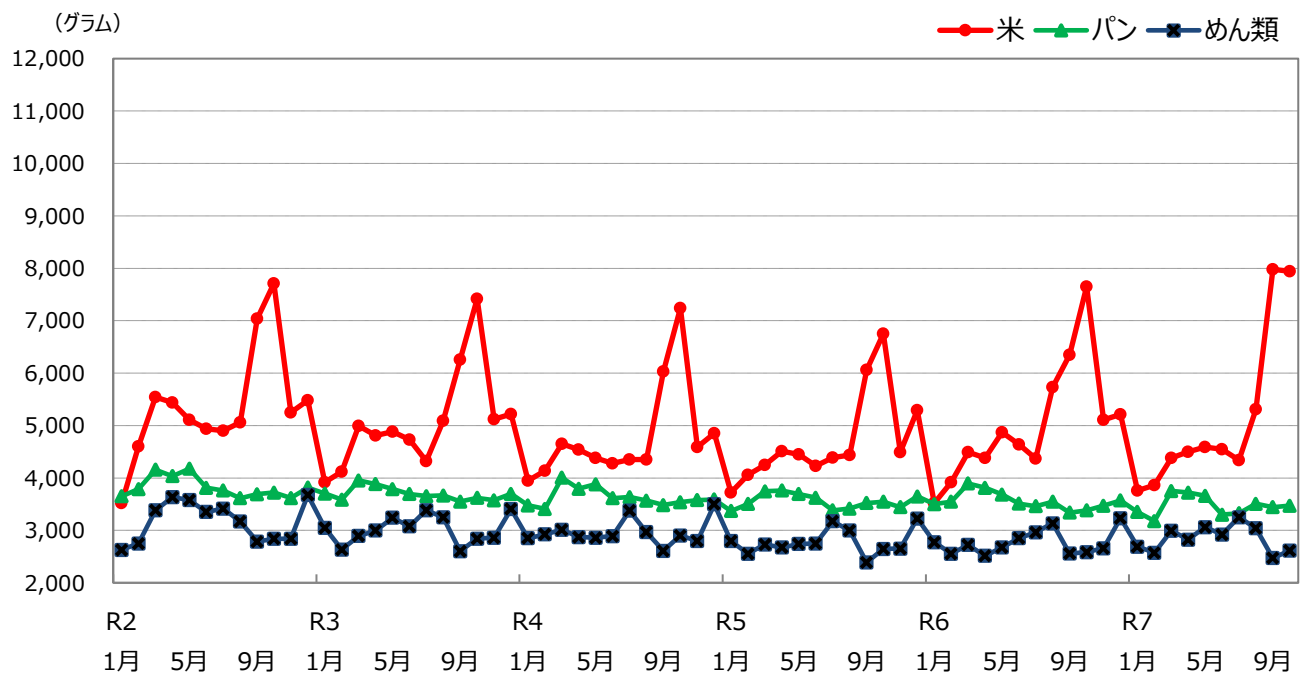
6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

エ 米の販売・消費動向

(ア) 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

- 総務省が公表している家計調査によると、令和7年10月の米の購入数量は、対前年同月+3.8%の7.9kg、パンは+2.6%の3.5kg、めん類は+1.2%の2.6kg。

1世帯当たり1か月間の購入数量の推移



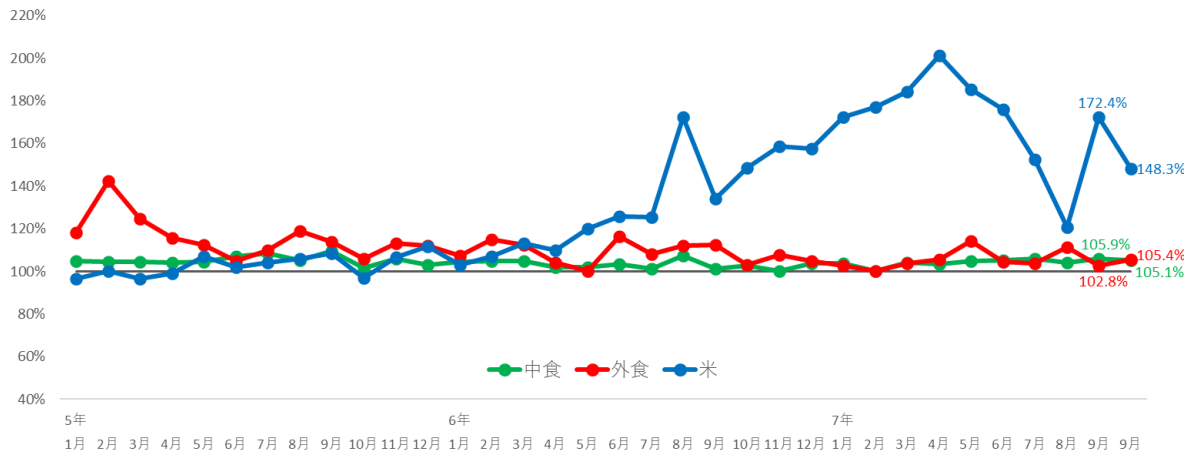
	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
令和2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
5年	56,650	98.7%	42,680	98.0%	33,345	93.8%
6年	60,200	106.3%	42,702	100.1%	33,192	99.5%
令和7年						
1月	3,760	106.8%	3,350	95.7%	2,688	96.9%
2月	3,860	98.5%	3,178	89.6%	2,574	100.7%
3月	4,380	97.6%	3,752	96.4%	2,994	110.0%
4月	4,500	102.7%	3,722	97.6%	2,824	112.3%
5月	4,590	94.3%	3,659	99.3%	3,061	114.3%
6月	4,550	98.1%	3,299	94.0%	2,922	102.5%
7月	4,340	99.3%	3,327	96.2%	3,251	109.6%
8月	5,310	92.7%	3,508	98.9%	3,039	96.9%
9月	7,980	125.7%	3,444	103.1%	2,471	96.6%
10月	7,940	103.8%	3,470	102.6%	2,615	101.2%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

- ・ 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和7年10月の中食の支出金額は、対前年同月比+5.1%、外食は+5.4%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



	穀類	中食 (主食用 調理食品)				弁当 (弁当)	すし (弁当)	おにぎり・そ の他	調理パン	他の主食用 調理食品
		米	パン	雑穀	他の 穀類					
5年 1月	102.8%	96.7%	105.5%	104.0%	102.8%	104.8%	105.3%	96.6%	113.2%	106.4%
2月	100.0%	100.1%	102.8%	96.2%	96.7%	104.3%	100.2%	103.6%	116.7%	106.7%
3月	100.3%	96.6%	102.8%	99.4%	100.9%	104.4%	104.3%	103.7%	111.0%	106.5%
4月	102.6%	99.1%	103.1%	103.6%	109.0%	104.3%	99.8%	105.6%	113.9%	110.8%
5月	103.8%	107.1%	102.2%	103.0%	107.0%	104.6%	105.4%	98.3%	118.5%	110.4%
6月	103.3%	102.0%	104.8%	101.3%	107.5%	107.0%	105.9%	106.1%	121.0%	102.2%
7月	104.1%	104.1%	103.0%	106.8%	98.1%	108.4%	108.4%	106.1%	114.2%	105.6%
8月	104.4%	105.9%	103.0%	107.2%	95.2%	105.1%	100.5%	101.2%	121.5%	103.0%
9月	103.8%	108.3%	103.9%	101.2%	91.4%	109.7%	103.7%	116.9%	118.4%	111.4%
10月	100.9%	96.7%	105.0%	102.7%	92.3%	101.8%	98.7%	97.8%	108.0%	102.2%
11月	106.0%	106.6%	106.4%	105.8%	102.6%	105.8%	102.3%	103.7%	108.4%	106.7%
12月	105.9%	111.9%	108.3%	101.3%	99.9%	103.1%	102.2%	99.9%	108.4%	107.8%
6年 1月	103.2%	103.0%	105.2%	101.7%	98.1%	104.3%	101.0%	107.0%	103.8%	101.6%
2月	106.8%	107.2%	107.3%	105.7%	107.1%	104.8%	100.3%	102.4%	109.1%	108.5%
3月	108.8%	113.3%	107.2%	108.5%	105.6%	104.7%	96.5%	100.2%	112.5%	101.0%
4月	103.6%	109.8%	103.0%	100.2%	96.9%	101.9%	99.9%	96.4%	104.7%	103.3%
5月	105.7%	120.1%	100.8%	101.8%	100.3%	101.9%	99.2%	100.2%	102.9%	103.9%
6月	109.4%	125.8%	102.0%	107.1%	106.8%	103.3%	102.3%	104.7%	99.8%	106.9%
7月	106.2%	125.3%	101.7%	97.8%	105.2%	101.3%	103.9%	98.5%	101.6%	104.6%
8月	122.4%	172.5%	104.3%	106.1%	124.2%	107.5%	110.8%	106.7%	99.0%	108.1%
9月	110.8%	134.0%	98.7%	100.6%	107.5%	101.1%	103.3%	98.5%	104.4%	104.0%
10月	115.1%	148.7%	98.1%	99.2%	107.1%	102.8%	102.6%	106.0%	103.4%	104.9%
11月	115.1%	158.6%	98.1%	102.5%	105.4%	100.0%	98.2%	99.4%	102.8%	101.1%
12月	114.6%	157.4%	100.2%	101.3%	104.0%	103.7%	101.0%	103.9%	110.5%	100.5%
7年 1月	113.8%	172.3%	94.5%	100.2%	104.5%	103.7%	102.6%	103.6%	111.0%	102.1%
2月	117.6%	177.0%	94.2%	104.7%	110.1%	100.2%	102.5%	94.1%	101.8%	99.8%
3月	120.6%	184.4%	96.1%	104.0%	109.7%	104.2%	106.9%	101.1%	104.1%	101.2%
4月	128.9%	201.4%	98.4%	108.6%	121.7%	103.3%	99.5%	105.4%	100.0%	97.8%
5月	127.1%	185.2%	102.5%	107.7%	115.7%	104.9%	102.5%	107.3%	100.9%	97.9%
6月	122.4%	175.9%	97.7%	107.2%	108.8%	105.1%	101.2%	100.2%	109.2%	103.9%
7月	115.8%	152.6%	98.5%	105.0%	110.7%	105.8%	103.6%	104.7%	106.9%	101.2%
8月	105.2%	120.6%	98.5%	95.8%	96.4%	104.0%	101.9%	108.7%	106.5%	103.1%
9月	129.5%	172.4%	101.3%	103.7%	109.5%	105.9%	102.9%	103.9%	109.0%	100.9%
10月	122.4%	148.3%	102.0%	105.4%	111.8%	105.1%	106.7%	101.1%	103.1%	103.0%

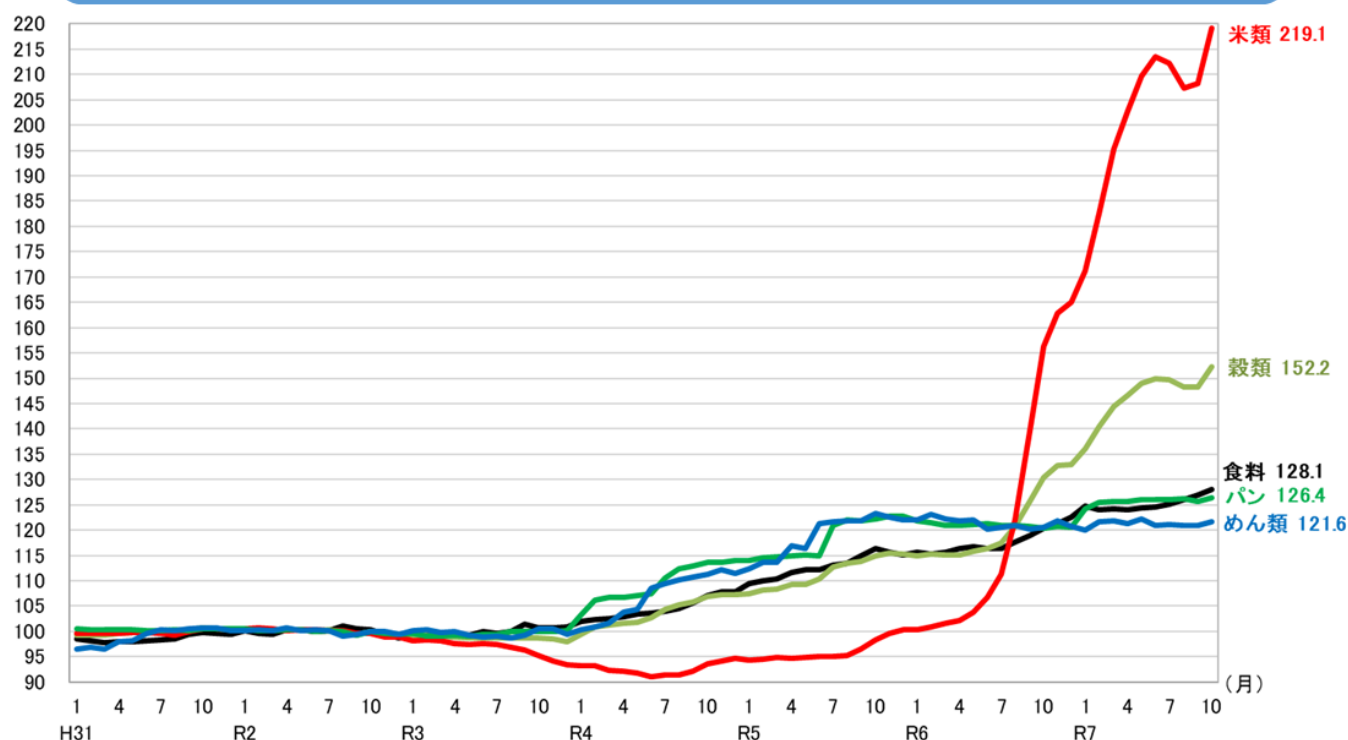
	外食 (食事代)	日本そば・うどん	中華そば	他の麺類 外食	すし (外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食用 外食
5年 1月	118.3%	114.1%	137.4%	119.3%	109.2%	117.2%	103.9%	137.3%	119.9%	115.7%	118.1%
2月	142.4%	137.4%	142.5%	142.7%	129.2%	143.9%	135.8%	147.1%	204.6%	97.5%	147.9%
3月	124.6%	127.2%	127.7%	119.5%	115.4%	126.8%	125.6%	127.0%	108.0%	98.6%	132.1%
4月	115.8%	115.4%	130.8%	125.4%	103.8%	110.6%	134.5%	121.8%	127.7%	108.5%	115.7%
5月	112.4%	110.3%	125.1%	106.3%	111.0%	114.4%	110.3%	108.0%	100.5%	100.7%	115.8%
6月	104.7%	111.7%	120.2%	108.9%	100.9%	107.4%	106.3%	106.8%	114.6%	101.3%	99.9%
7月	110.0%	119.7%	122.2%	116.9%	110.0%	112.6%	118.7%	119.0%	119.6%	104.1%	102.4%
8月	118.8%	122.1%	117.0%	134.9%	112.4%	121.8%	119.6%	122.4%	130.8%	100.7%	118.0%
9月	114.0%	105.8%	116.9%	123.5%	112.9%	117.7%	124.0%	121.2%	111.1%	110.2%	111.4%
10月	106.0%	103.5%	107.5%	104.1%	99.6%	108.0%	99.0%	112.9%	98.2%	107.9%	107.5%
11月	113.0%	113.7%	125.8%	113.2%	100.0%	117.1%	117.1%	109.9%	114.5%	107.4%	113.5%
12月	112.0%	111.9%	105.1%	116.9%	110.0%	104.4%	110.8%	117.8%	102.4%	101.3%	119.1%
6年 1月	107.3%	118.0%	109.9%	126.0%	93.6%	104.9%	122.5%	98.7%	115.1%	96.5%	112.5%
2月	115.1%	113.2%	116.8%	143.1%	106.6%	119.0%	112.9%	116.1%	131.8%	117.7%	111.4%
3月	112.3%	111.1%	115.9%	127.8%	100.1%	118.9%	104.3%	125.5%	132.2%	124.7%	105.4%
4月	104.3%	114.3%	107.1%	104.2%	102.7%	112.0%	99.1%	103.4%	81.9%	103.6%	104.2%
5月	100.0%	104.7%	103.3%	121.3%	90.5%	109.3%	100.5%	101.2%	85.0%	110.9%	97.5%
6月	116.4%	115.7%	113.3%	118.4%	113.6%	114.4%	116.0%	118.4%	120.0%	135.6%	115.7%
7月	108.0%	100.5%	108.5%	102.1%	100.2%	110.5%	98.7%	102.6%	95.9%	103.5%	115.1%
8月	112.1%	107.4%	115.9%	103.1%	104.8%	116.1%	106.2%	123.2%	104.6%	114.3%	112.3%
9月	112.5%	118.9%	109.7%	115.0%	118.4%	114.7%	107.5%	106.1%	111.0%	116.2%	111.1%
10月	103.1%	107.7%	108.2%	124.3%	107.8%	101.0%	96.3%	106.5%	90.5%	90.6%	103.4%
11月	107.8%	110.7%	103.3%	105.6%	127.8%	104.7%	91.8%	114.6%	100.8%	106.5%	106.0%
12月	104.9%	106.9%	109.1%	104.3%	100.7%	109.5%	96.0%	111.1%	121.8%	97.8%	101.2%
7年 1月	102.5%	102.4%	105.6%	98.8%	108.8%	103.6%	99.3%	111.1%	87.8%	108.3%	100.0%
2月	100.3%	104.4%	107.0%	93.3%	99.8%	100.5%	93.7%	115.4%	103.4%	95.8%	96.4%
3月	103.9%	100.8%	113.8%	101.7%	113.3%	105.4%	107.6%	100.9%	99.0%	106.9%	100.4%
4月	105.6%	98.2%	117.6%	122.2%	116.7%	96.4%	101.2%	116.6%	115.5%	99.2%	102.6%
5月	114.3%	111.0%	115.3%	114.2%	119.3%	106.1%	120.5%	131.7%	119.3%	119.1%	111.3%
6月	104.4%	108.0%	107.1%	97.0%	108.1%	100.9%	112.0%	111.3%	99.7%	91.4%	104.3%
7月	103.9%	107.9%	103.7%	115.8%	112.1%	100.5%	111.5%	108.5%	107.4%	107.0%	99.8%
8月	111.4%	114.4%	117.1%	116.3%	117.3%	111.2%	119.2%	112.4%	108.1%	111.6%	107.9%
9月	102.8%	108.9%	113.7%	112.7%	103.2%	102.8%	103.4%	109.0%	93.7%	104.1%	99.4%
10月	105.4%	111.7%	112.4%	102.8%	107.2%	109.1%	114.4%	108.6%	106.9%	116.4%	98.5%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

(イ) 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和7年10月の米類の指数は対前年同月比 +40.2%の219.1ポイント。



(令和2年=100、指数)

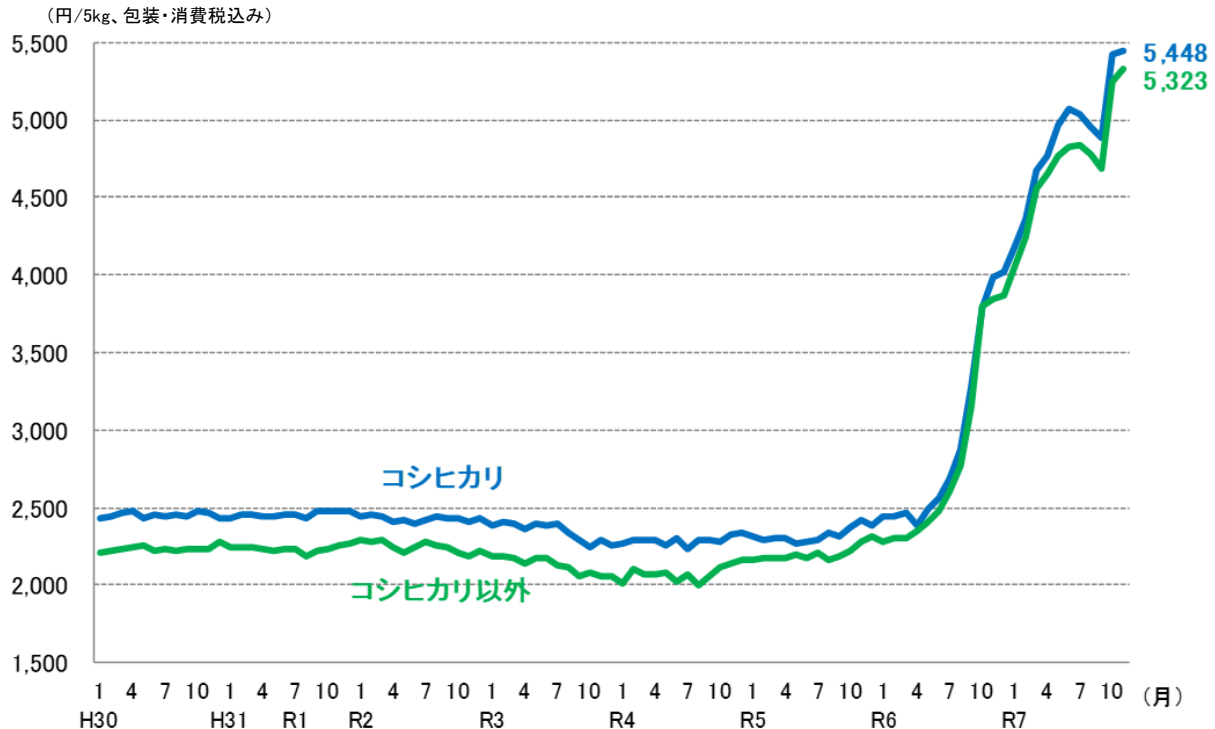
	食料	対前年 (同月)比	穀類	対前年 (同月)比	米類 (うるち米)	対前年 (同月)比	うるち米 (コシヒカリ)	対前年 (同月)比	パン	対前年 (同月)比	めん類	対前年 (同月)比
令和元年 (平均)	98.7	0.4%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.9%	99.1	2.2%
2年 (平均)	100.0	1.4%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	1.0%
3年 (平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
4年 (平均)	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	10.1%	107.1	7.4%
5年 (平均)	112.9	8.1%	111.5	7.5%	96.1	3.8%	96.3	3.2%	118.4	8.1%	118.9	11.1%
6年 (平均)	117.8	4.3%	121.0	8.5%	122.8	27.7%	121.1	25.8%	121.0	2.2%	121.4	2.0%
令和7年 1月	124.7	7.8%	136.1	18.4%	171.3	70.9%	169.4	69.2%	124.3	2.0%	120.0	▲1.7%
2月	124.1	7.6%	140.5	21.9%	182.6	80.9%	180.4	80.1%	125.5	3.4%	121.6	▲1.3%
3月	124.2	7.4%	144.5	25.4%	195.3	92.1%	192.8	91.3%	125.6	3.7%	121.9	▲0.2%
4月	124.0	6.5%	146.6	27.4%	202.8	98.4%	199.7	98.2%	125.6	3.8%	121.3	▲0.5%
5月	124.4	6.5%	149.0	28.7%	209.7	101.7%	207.0	103.0%	126.1	4.2%	122.2	0.1%
6月	124.6	7.2%	150.0	29.0%	213.5	100.2%	211.2	101.9%	126.1	4.0%	121.0	0.6%
7月	125.1	7.6%	149.7	27.4%	212.2	90.7%	210.4	92.0%	126.0	4.2%	121.2	0.4%
8月	126.1	7.2%	148.2	22.7%	207.3	69.7%	205.2	71.3%	126.2	4.4%	121.0	0.1%
9月	127.0	6.7%	148.2	18.0%	208.2	49.2%	206.1	50.0%	125.6	4.1%	121.0	0.7%
10月	128.1	6.4%	152.2	16.8%	219.1	40.2%	217.0	41.1%	126.4	5.1%	121.6	0.9%

資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

- 注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
 2：穀類は、米類（うるち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
 3：令和元年～6年のデータは年平均であり、7年は月次データである。

(ウ) 小売物価統計の推移

- ・ 総務省が公表している小売物価統計によると、令和7年11月のうるち米の小売価格（5kg 当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+36.7%の5,448 円。
- ・ コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+38.5%の5,323 円。



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	R1	R2	R3	R4	R5	R6
コシヒカリ	2,456	2,426	2,344	2,288	2,323	2,951
前年比	0.2%	▲1.2%	▲3.4%	▲2.4%	1.5%	27.0%
コシヒカリ以外	2,234	2,246	2,127	2,076	2,203	2,846
前年比	0.1%	0.5%	▲5.3%	▲2.4%	6.1%	29.2%

月次(令和5年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,319	2,292	2,306	2,303	2,271	2,283	2,289	2,333	2,310	2,367	2,422	2,386
前年同月比	2.1%	0.2%	0.7%	0.5%	0.8%	▲1.1%	2.8%	1.7%	0.8%	3.6%	4.3%	2.1%
コシヒカリ以外	2,165	2,169	2,177	2,177	2,201	2,171	2,205	2,162	2,188	2,225	2,279	2,311
前年同月比	7.7%	3.1%	5.3%	5.3%	5.5%	7.5%	6.4%	7.9%	6.2%	5.3%	6.3%	6.9%

月次(令和6年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,440	2,441	2,470	2,384	2,490	2,561	2,683	2,871	3,285	3,787	3,985	4,018
前年同月比	5.2%	6.5%	7.1%	3.5%	9.6%	12.2%	17.2%	23.1%	42.2%	60.0%	64.5%	68.4%
コシヒカリ以外	2,283	2,300	2,306	2,347	2,403	2,483	2,602	2,772	3,152	3,792	3,843	3,868
前年同月比	5.5%	6.0%	5.9%	7.8%	9.2%	14.4%	18.0%	28.2%	44.1%	70.4%	68.6%	67.4%

月次(令和7年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	4,185	4,363	4,679	4,770	4,970	5,072	5,036	4,949	4,879	5,421	5,448	
前年同月比	71.5%	78.7%	89.4%	100.1%	99.6%	98.0%	87.7%	72.4%	48.5%	43.1%	36.7%	
コシヒカリ以外	4,051	4,239	4,557	4,654	4,769	4,825	4,842	4,778	4,689	5,248	5,323	
前年同月比	77.4%	84.3%	97.6%	98.3%	98.5%	94.3%	86.1%	72.4%	48.8%	38.4%	38.5%	

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（7日以内の特売分を除く）。

(エ) 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

- 米穀販売事業者における令和7年10月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが107%、中食・外食事業者等向けが93%で、全体としては100%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年10月の販売数量と比較すると92%となる。
- 前年同月を基準にした令和7年10月の販売価格の値動きは、小売事業者向け133.0、中食・外食事業者等向け166.2。

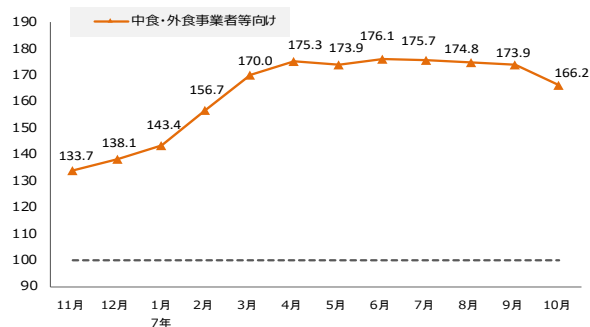
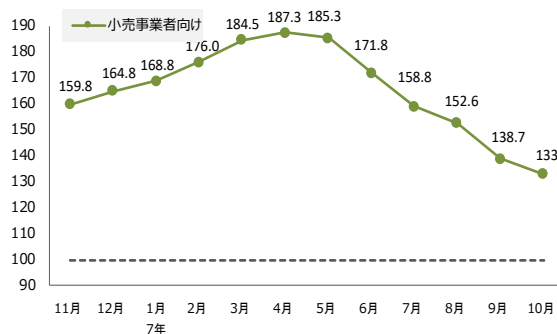
1 販売数量の動向（前年同月比）

	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月 ～12月計
小売事業者向け	106%	108%	107%	108%	106%	114%	104%	100%	86%	85%	93%	92%	101%
(※令和元年との比較)	(110%)	(111%)	(108%)	(109%)	(114%)	(116%)	(104%)	(107%)	(87%)	(86%)	(97%)	(99%)	(104%)
中食・外食事業者等向け	103%	106%	100%	99%	103%	98%	99%	100%	97%	100%	100%	101%	100%
(※令和元年との比較)	(96%)	(100%)	(95%)	(94%)	(102%)	(97%)	(97%)	(97%)	(98%)	(100%)	(100%)	(99%)	(98%)
販売数量計	105%	107%	104%	104%	105%	107%	102%	100%	91%	92%	96%	96%	101%
(※令和元年との比較)	(103%)	(106%)	(102%)	(102%)	(108%)	(107%)	(100%)	(102%)	(92%)	(93%)	(98%)	(99%)	(101%)

	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月 ～12月計
小売事業者向け	94%	89%	86%	92%	93%	88%	94%	84%	99%	107%			
(※令和元年との比較)	(104%)	(99%)	(94%)	(100%)	(106%)	(103%)	(97%)	(89%)	(86%)	(91%)			
中食・外食事業者等向け	101%	95%	98%	97%	90%	98%	93%	91%	94%	93%			
(※令和元年との比較)	(96%)	(96%)	(93%)	(91%)	(92%)	(95%)	(90%)	(88%)	(92%)	(93%)			
販売数量計	97%	92%	91%	94%	92%	92%	94%	87%	96%	100%			
(※令和元年との比較)	(100%)	(98%)	(93%)	(96%)	(99%)	(99%)	(94%)	(89%)	(88%)	(92%)			

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

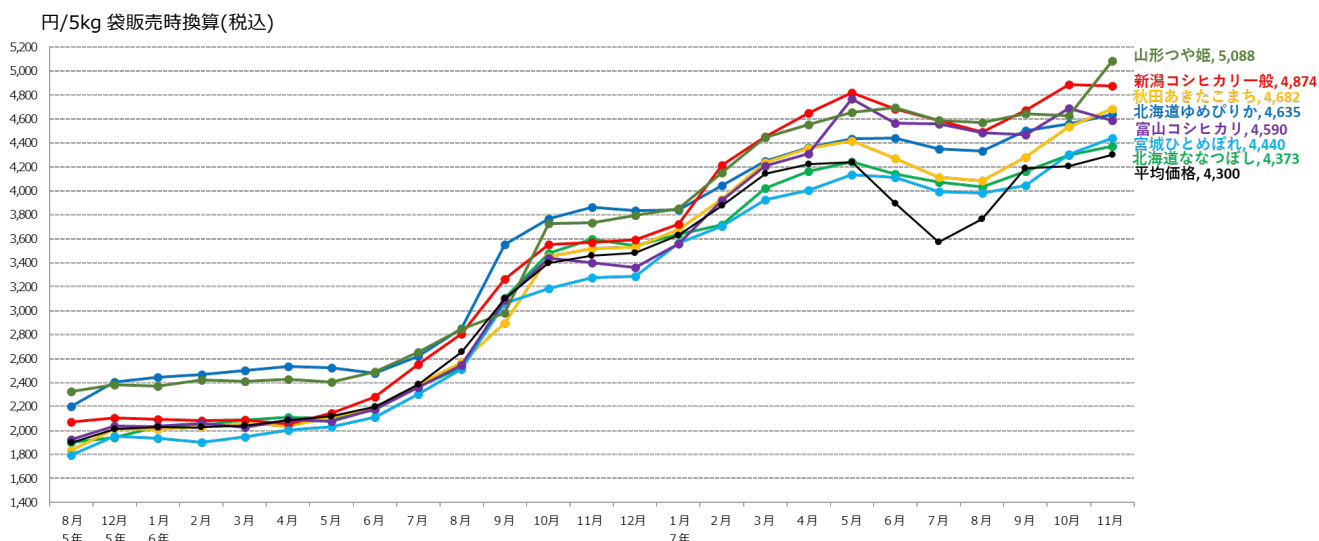
注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米を含む。

注4：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

(オ) 小売価格・販売数量等の推移 (POSデータ)

- 令和7年11月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差+91円(+2.2%)、対前年同月差+840円(+24.3%)の4,300円。



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5：価格に含む消費税は8%である。

- 販売数量については、令和7年6月、7月は前年を上回る水準で推移し、8月以降はピーク時に比べ低い水準が継続。
- 令和7年12月1日の週の販売数量は対前年同期+18.4%、販売数量に占めるブランド米等の比率は30%。

直近の販売状況(対前年同期)

令和7年12月1日～12月7日 +18.4%

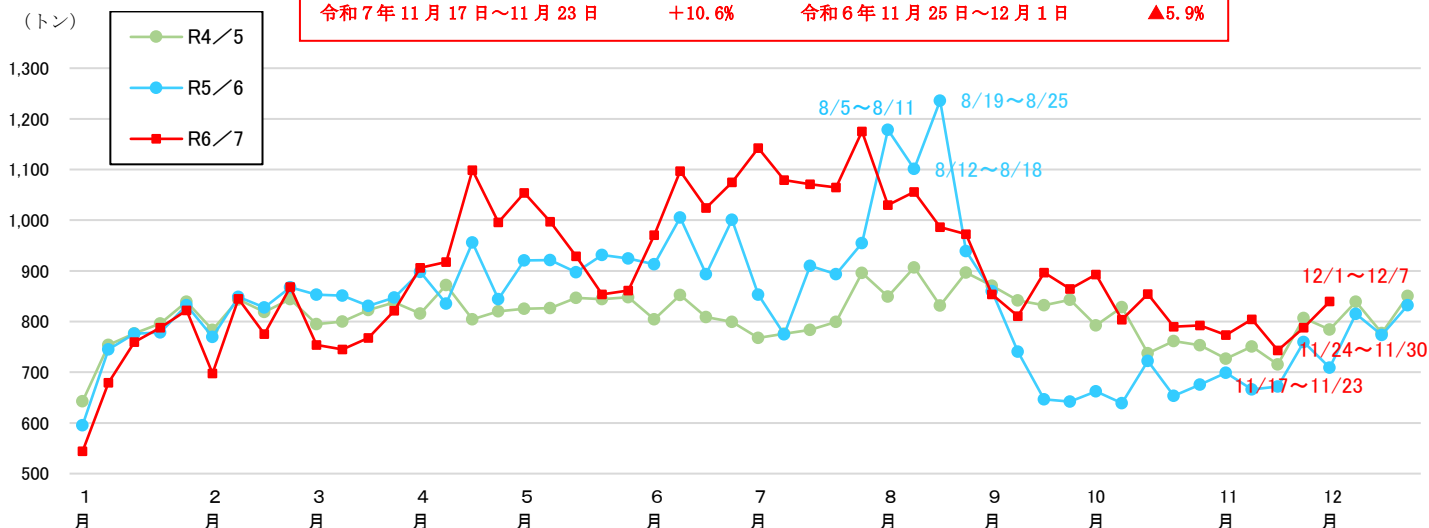
(参考)

令和7年11月24日～11月30日 +3.8%

令和7年11月17日～11月23日 +10.6%

令和6年12月2日～12月8日 ▲9.6%

令和6年11月25日～12月1日 ▲5.9%



うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位：円/5kg 袋販売時換算（消費税込み）、トン

	販 売 価 格															販売数量	
	6 年 11 月	12 月	7 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	前月差	前年 同月差	7 年 11 月	6 年12月 ～ 7 年11 月
北海道 きたくりん	3,409	3,364	3,593	3,857	3,962	3,845	4,389	4,320	4,208	4,069	4,248	4,204	4,468	+ 264	+ 1,059	6	121
北海道 ななつぼし	3,599	3,541	3,640	3,717	4,021	4,164	4,244	4,141	4,072	4,031	4,162	4,301	4,373	+ 72	+ 774	302	3,648
北海道 ふっくりんこ	3,677	3,673	3,693	3,822	4,080	4,040	4,075	4,057	3,959	4,013	4,063	4,259	4,473	+ 214	+ 796	17	236
北海道 ゆめびりか	3,865	3,838	3,842	4,047	4,247	4,362	4,433	4,442	4,353	4,332	4,505	4,559	4,635	+ 76	+ 770	207	2,661
青森 青天の霹靂	3,673	3,686	3,769	4,038	4,353	4,642	4,658	4,378	4,180	4,376	4,493	4,439	4,990	+ 551	+ 1,317	14	254
青森 はれわたり	3,512	3,547	3,561	3,578	3,737	4,023	4,021	3,929	3,955	4,079	4,158	4,352	4,487	+ 135	+ 975	42	418
青森 まっしぐら	3,432	3,423	3,487	3,704	4,020	4,298	4,157	4,073	4,104	3,994	4,100	4,218	4,376	+ 158	+ 944	34	442
岩手 銀河のしずく	3,261	3,294	3,381	3,625	3,850	4,051	4,037	3,888	3,739	3,808	3,978	4,469	4,706	+ 237	+ 1,445	40	746
岩手 ひとめぼれ	3,297	3,273	3,316	3,576	3,858	4,137	4,184	4,081	3,971	3,879	4,036	4,372	4,575	+ 203	+ 1,278	47	859
宮城 だて正夢	3,368	3,464	3,538	3,627	3,939	4,143	4,208	4,145	4,098	4,178	4,259	4,496	4,599	+ 103	+ 1,231	5	107
宮城 つや姫	3,438	3,598	3,705	3,864	4,193	4,266	4,418	4,340	4,280	4,249	4,205	4,415	4,803	+ 388	+ 1,365	10	237
宮城 ひとめぼれ	3,277	3,289	3,562	3,708	3,926	4,006	4,135	4,115	3,995	3,985	4,044	4,307	4,440	+ 133	+ 1,163	82	1,145
秋田 あきたこまち	3,518	3,528	3,676	3,930	4,236	4,353	4,418	4,272	4,110	4,084	4,282	4,537	4,682	+ 145	+ 1,164	144	2,377
山形 つや姫	3,736	3,794	3,850	4,151	4,448	4,554	4,655	4,697	4,588	4,573	4,644	4,625	5,088	+ 463	+ 1,352	52	1,016
山形 はえぬき	3,344	3,332	3,473	3,828	4,170	4,420	4,525	4,464	4,372	4,313	4,266	4,419	4,476	+ 57	+ 1,132	48	767
山形 雪若丸	3,366	3,425	3,714	3,802	3,930	4,074	4,281	4,326	4,251	4,276	4,299	4,408	4,525	+ 117	+ 1,159	22	298
福島 ひとめぼれ	3,208	3,448	3,595	3,664	4,163	4,221	3,733	3,690	3,697	3,733	4,139	4,261	4,579	+ 318	+ 1,371	11	264
茨城 あきたこまち	3,469	3,408	3,547	3,873	4,239	4,463	4,624	4,589	4,395	4,183	4,461	4,444	4,391	▲ 53	+ 922	18	149
茨城 コシヒカリ	3,533	3,494	3,496	3,624	4,130	4,338	4,409	4,386	4,321	4,329	4,492	4,397	4,481	+ 84	+ 948	40	516
栃木 コシヒカリ	3,370	3,581	3,691	3,812	4,139	4,445	4,442	4,341	4,292	4,244	4,280	4,710	4,816	+ 106	+ 1,446	17	386
栃木 とちぎの星	3,114	3,273	3,418	3,553	4,014	4,310	4,448	4,487	4,326	4,467	4,423	4,594	4,096	▲ 498	+ 982	56	207
栃木 なすひかり	3,342	3,256	3,731	3,814	4,391	4,482	4,113	4,019	3,973	3,944	4,151	4,560	4,593	+ 33	+ 1,251	9	118
千葉 コシヒカリ	3,527	3,590	3,637	4,103	4,477	4,662	4,874	4,661	4,537	4,558	4,532	4,576	4,649	+ 73	+ 1,122	17	311
千葉 粒すけ	3,520	3,504	3,682	3,940	4,260	4,260	4,348	4,190	3,823	3,873	4,352	4,446	4,513	+ 67	+ 993	4	128
千葉 ふさおとめ	3,356	3,426	3,587	3,745	4,222	4,374	4,585	4,741	4,298	4,256	4,328	4,347	4,153	▲ 194	+ 797	61	367
千葉 ふさこがね	3,106	3,346	3,527	3,735	3,976	4,491	4,430	4,424	4,468	4,292	4,254	4,346	4,280	▲ 66	+ 1,174	64	314
山梨 コシヒカリ	3,636	3,751	3,913	4,070	4,233	4,351	4,595	4,454	4,422	4,351	4,497	5,001	5,004	+ 3	+ 1,368	7	111
長野 あきたこまち	3,381	3,416	3,845	4,128	4,205	4,439	4,396	4,516	4,294	4,938	4,313	4,325	4,552	+ 227	+ 1,171	7	123
長野 コシヒカリ	3,134	3,231	3,501	4,023	3,996	4,112	4,196	4,287	4,316	4,319	4,431	4,345	4,467	+ 122	+ 1,333	46	712
新潟 こしいぶき	3,370	3,580	3,717	3,975	4,324	4,545	4,359	4,481	4,352	4,388	4,508	4,453	4,399	▲ 54	+ 1,029	59	525
新潟 コシヒカリ 一般	3,569	3,595	3,721	4,216	4,450	4,648	4,817	4,683	4,588	4,490	4,669	4,886	4,874	▲ 12	+ 1,305	139	2,103
新潟 コシヒカリ 魚沼	3,779	3,941	4,084	4,392	4,613	4,844	4,898	4,620	4,472	4,728	4,880	5,094	5,139	+ 45	+ 1,360	31	531
新潟 コシヒカリ 佐渡	3,627	3,784	4,193	4,461	4,498	4,633	4,922	4,700	3,988	4,705	4,729	4,771	4,982	+ 211	+ 1,355	8	120
新潟 新之助	4,254	4,331	4,287	4,555	4,723	5,012	5,248	5,152	5,121	4,754	4,860	4,918	4,910	▲ 8	+ 656	53	520
新潟 みずほの輝き	3,390	3,396	3,657	4,052	4,167	4,505	4,477	4,374	4,724	4,673	4,754	4,797	4,722	▲ 75	+ 1,332	15	367
富山 コシヒカリ	3,400	3,363	3,561	3,920	4,210	4,311	4,769	4,565	4,558	4,484	4,469	4,691	4,590	▲ 101	+ 1,190	72	1,068
富山 てんたかく	3,463	3,353	3,585	3,993	4,370	4,333	4,566	4,581	4,495	4,354	4,612	4,723	4,648	▲ 75	+ 1,185	21	165
富山 富富富	3,123	3,207	3,327	3,737	4,014	4,054	4,437	4,338	4,316	4,390	4,274	4,436	4,466	+ 30	+ 1,343	7	138
石川 コシヒカリ	3,012	3,032	3,338	3,676	3,891	4,087	4,138	4,143	4,103	4,079	4,482	4,831	4,758	▲ 73	+ 1,746	38	623
石川 ひやくまん穀	3,033	3,051	3,043	3,766	3,782	3,874	4,185	4,229	4,129	4,125	4,554	4,840	4,857	+ 17	+ 1,824	20	265
石川 ゆめみづほ	2,676	2,877	2,975	3,644	3,933	3,861	3,856	4,071	4,536	4,403	4,478	4,275	4,393	+ 118	+ 1,717	23	159
福井 いちほまれ	3,799	3,561	3,845	3,936	3,976	4,116	4,480	4,421	4,264	4,228	4,550	4,812	4,958	+ 146	+ 1,159	12	218
福井 コシヒカリ	3,400	3,441	3,483	3,840	3,900	4,054	4,263	4,258	4,373	4,194	4,415	4,287	4,667	+ 380	+ 1,267	10	194
福井 ハナエチゼン	3,291	3,357	3,628	3,641	4,310	4,268	4,437	4,964	4,595	4,571	4,367	3,816	3,929	+ 113	+ 638	22	141
三重 コシヒカリ 一般	3,475	3,607	3,738	3,924	4,366	4,503	4,444	4,332	4,288	4,387	4,577	4,635	4,581	▲ 54	+ 1,106	26	251
三重 コシヒカリ 伊賀	3,523	3,621	3,919	4,156	4,423	4,460	4,580	4,367	4,215	4,272	4,780	4,765	4,776	+ 11	+ 1,253	11	174
福岡 元気つくし	3,599	3,683	3,752	4,423	4,561	4,658	4,633	4,568	4,468	4,560	4,620	4,851	4,958	+ 107	+ 1,359	16	293
福岡 夢つくし	3,467	3,538	3,664	4,342	4,523	4,588	4,579	4,503	4,567	4,582	4,782	4,837	4,603	▲ 234	+ 1,136	36	254
佐賀 さがびより	3,506	3,611	3,669	4,105	4,462	4,563	4,560	4,521	4,388	4,474	4,550	4,549	4,641	+ 92	+ 1,135	15	265
佐賀 夢しずく	3,351	3,342	3,553	4,142	4,424	4,422	4,560	4,320	4,266	4,318	4,407	4,401	4,364	▲ 37	+ 1,013	11	167
大分 ヒノヒカリ	3,590	3,639	3,684	4,125	4,266	4,438	4,470	4,410	4,304	4,347	4,430	4,689	4,754	+ 65	+ 1,164	6	130
宮崎 コシヒカリ	2,264	1,962	2,012	2,624	2,061	1,995	1,899	-	4,442	4,573	4,498	4,512	4,532	+ 20	+ 2,268	4	246
宮崎 ヒノヒカリ	3,349	3,494	3,506	3,654	4,043	4,439	4,814	4,868	4,746	4,565	4,522	4,208	4,181	▲ 27	+ 832	16	220
全POS取引平均価格	3,460	3,485	3,628	3,878	4,145	4,225	4,238	3,895	3,575	3,764	4,189	4,209	4,300	+ 91	+ 840		
全POS取引数量（t）	2,973	3,553	3,019	3,239	3,569	4,271	4,190	4,527	4,814	4,701	3,749	3,643	3,448	▲ 195	+ 475	3,448	46,722

（参考：ドラッグストア）

全POS取引平均価格	3,273	3,224	3,426	3,633	3,978	4,355	4,393	4,221	4,058	4,031	4,028	4,167	4,154	▲ 13	+ 881
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------

資料：（株）KSP-SP が提供する P O S データに基づいて農林水産省が作成

注 1：（株）KSP-SP が提供する P O S データは、全国約 1,000 店舗のスーパー、生協等（ドラッグストアは約 400 店舗）から購入したデータに基づくものである。

注 2： POS データは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

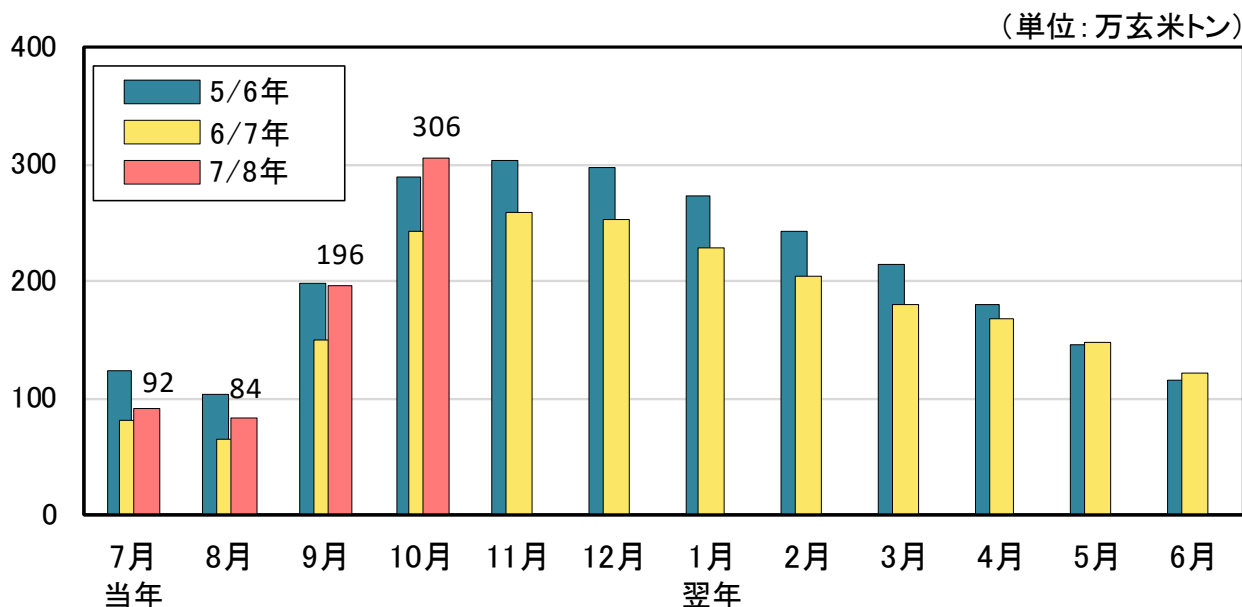
注 3： POS データの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注 4： 全 POS 取引平均価格は、POS データで把握できる 全ての精米の販売について 5 kg 袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注 5： 価格に含む消費税は 8% である。

オ 米の民間在庫情報

- 令和7年10月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差+62万玄米トンの306万玄米トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差+39万玄米トンの226万玄米トン、販売段階で+23万玄米トンの80万玄米トンとなっている。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、7/8年であれば、令和7年7月～8年6月である。

5 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（令和7年10月末時点で0.4万トン）を含む。

【令和 7 年 10 月末民間在庫量のポイント】

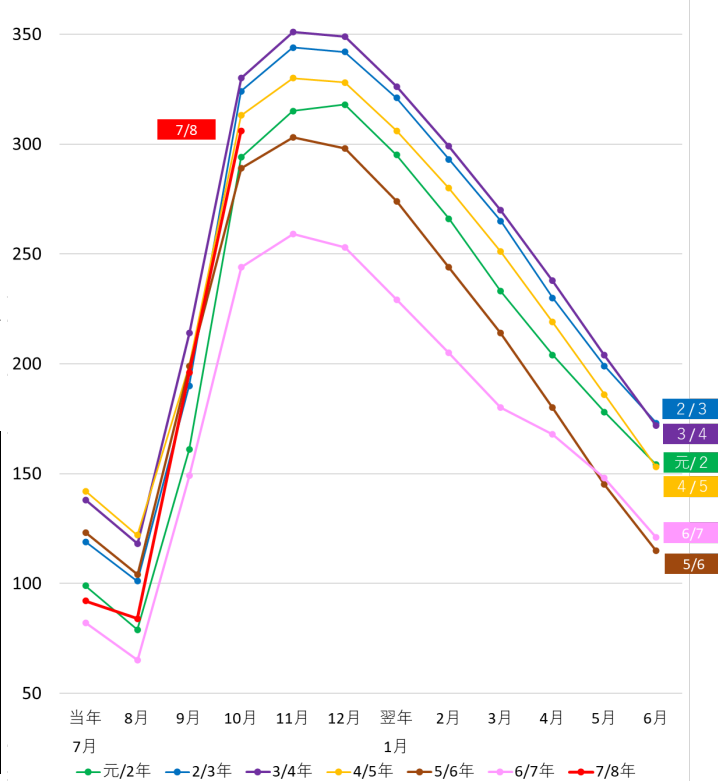
- 毎月公表している民間在庫量は、①500 玄米トン以上の集荷業者、②4,000 玄米トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の 78%をカバー(下記参考参照)。
- 令和 7 年産米の集荷数量が前年を上回ったこと等により、令和 7 年 10 月末の民間在庫量は、306 万玄米トンで前年同月差 62 万玄米トンと増加（うち売り渡した政府備蓄米の数量は 0.4 万玄米トン）。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

○出荷・販売段階別の民間在庫量（うるち米）

	出荷段階	販売段階	合計
6年10月末	187	58	244
前年差	▲ 49	+4	▲ 45
7年10月末	226	80	306
前年差	+39	+23	+62

○ 民間在庫量の月別の推移（うるち米）

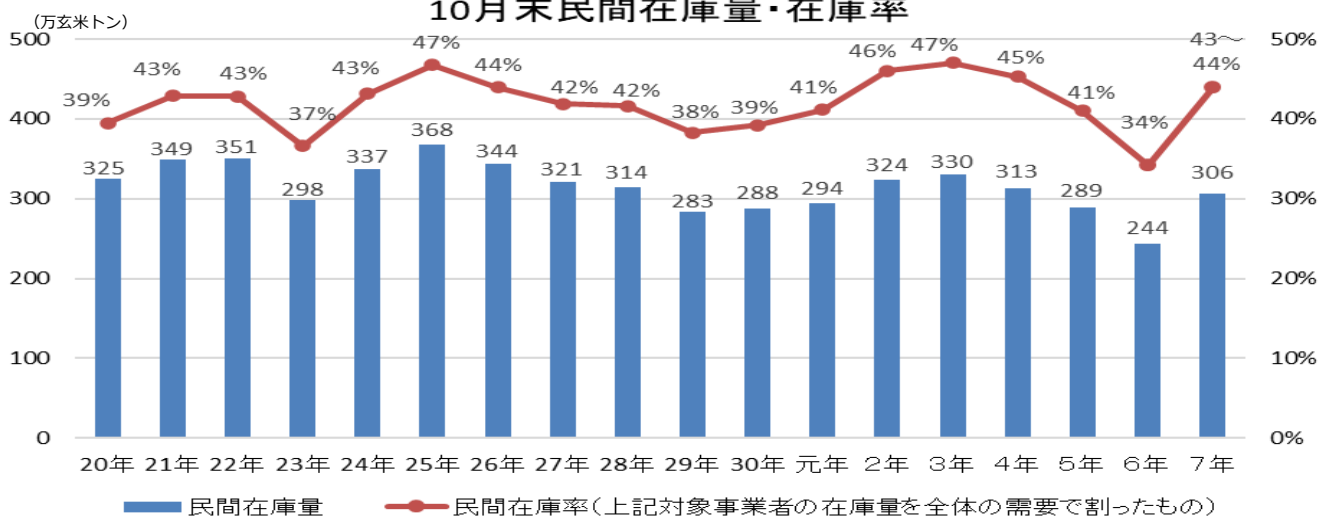


(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

	出荷段階	販売段階	生産段階
	年間取扱 500玄米トン以上	年間取扱 4,000玄米トン以上	年間取扱 500～ 4,000玄米トン
うるち米	<p>【毎月調査ベース】</p> <p>6月末在庫 121万トン → 10月末在庫 306万トン (対前年+62万トン)</p> <p>【出荷段階】 6月末 84万トン → 10月末 226万トン (対前年+39万トン)</p> <p>【販売段階】 6月末 37万トン → 10月末 80万トン (対前年+23万トン)</p>		
もち米			

155万トン
(※ 6 月末のみ調査)

10 月末民間在庫量・在庫率



※22 年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
 ※出荷段階は玄米仕入数量が 500 ト以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が 4,000 ト以上の卸売業者等を対象。
 ※令和 7 年の在庫率は、7/8 年の需要見通し（697～711 万玄米トン）により算出。
 ※令和 7 年は、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（0.4 万玄米トン：うち出荷段階 0.0 万玄米トン、販売段階 0.4 万玄米トン）を含む。

【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元 年 産 米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1 年 古 米 (30 年 産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2 年 産 米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1 年 古 米 (元 年 産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3 年 産 米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1 年 古 米 (2 年 産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4 年 産 米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1 年 古 米 (3 年 産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲31	▲32	▲36	▲37	▲39	▲40	▲38
5 年 産 米	1	14	131	232	254	260	245	221	195	165	133	105
1 年 古 米 (4 年 産)	106	78	56	46	36	27	21	15	13	10	7	5
6/7年	82	65	149	244	259	253	229	205	180	168	148	121
対前年差	▲40	▲39	▲51	▲45	▲44	▲45	▲45	▲39	▲34	▲12	+3	+6
6 年 産 米	1	13	112	213	234	234	215	193	170	155	128	106
1 年 古 米 (5 年 産)	74	47	31	23	18	11	7	5	4	9	15	11
7/8年	92	84	196	306								
対前年差	+10	+19	+48	+62								
7 年 産 米	0	16	145	261								
1 年 古 米 (6 年 産)	82	62	44	36								

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、
 出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、7/8年であれば、令和7年7月～8年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。
 6 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（令和7年10月末時点で0.4万トン）を含む（下表を参照）。

(参考) 売り渡した政府備蓄米の民間在庫

(単位: 万玄米トン)

	7年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
出荷＋販売段階	0.2	16.4	19.7	11.9	5.3	1.8	1.0	0.4
6 年 産 米	0.1	11.2	6.9	3.3	1.3	0.4	0.2	0.1
5 年 産 米	0.1	5.3	12.8	8.3	3.8	1.2	0.6	0.2
出荷段階	0.0	14.5	16.4	7.8	2.5	0.1	0.0	0.0
6 年 産 米	0.0	9.8	4.8	1.5	0.2	0.0	0.0	0.0
5 年 産 米	0.0	4.6	11.6	6.3	2.4	0.0	0.0	0.0
販売段階	0.2	2.0	3.3	4.1	2.7	1.7	1.0	0.4
6 年 産 米	0.1	1.3	2.2	1.8	1.1	0.4	0.2	0.1
5 年 産 米	0.1	0.6	1.2	2.1	1.4	1.2	0.6	0.2

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元 年 産 米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2 年 産 米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3 年 産 米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4 年 産 米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
対前年差	▲21	▲20	▲5	▲27	▲28	▲31	▲31	▲34	▲33	▲36	▲38	▲37
5 年 産 米	0	10	113	200	220	225	212	190	163	134	108	81
1年古米(4年産)	86	61	42	30	24	17	13	10	6	4	3	2
6/7年	58	44	113	187	200	196	179	159	135	125	109	84
対前年差	▲38	▲34	▲49	▲49	▲49	▲49	▲49	▲43	▲36	▲14	▲3	±0
6 年 産 米	0	9	90	172	189	190	175	156	133	119	95	76
1年古米(5年産)	55	34	21	12	8	5	3	2	2	6	13	7
7/8年	60	51	143	226								
対前年差	+2	+7	+31	+39								
7 年 産 米	0	10	116	208								
1年古米(6年産)	56	40	26	16								

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元 年 産 米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2 年 産 米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3 年 産 米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4 年 産 米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	31
対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0	±0	▲3	▲3	▲3	▲3	▲2
5 年 産 米	0	4	18	32	34	35	32	31	32	31	26	24
1年古米(4年産)	20	17	14	16	12	10	8	6	6	6	4	3
6/7年	25	21	36	58	59	56	50	46	45	43	40	37
対前年差	▲3	▲5	▲2	+4	+5	+4	+4	+4	+2	+2	+6	+6
6 年 産 米	0	4	23	41	44	44	40	38	37	36	33	30
1年古米(5年産)	19	13	9	11	9	6	4	3	2	3	3	3
7/8年	32	33	53	80								
対前年差	+8	+12	+17	+23								
7 年 産 米	0	5	29	53								
1年古米(6年産)	26	22	18	20								

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

カ 主食用米等の需給見通し（米の基本指針（令和7年10月31日））

（１）令和6/7年の需給実績（確定値）

○ 令和6/7年（令和6年7月から令和7年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、玄米ベースで713万玄米トン、精米ベースで635万精米トンとなります。

			玄米ベース (万トン(玄米))	精米ベース (万トン(精米))
令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	A	153	135
	令和6年産主食用米等生産量	B	679	606
	政府備蓄米供給数量	C	36	32
	令和6/7年主食用米等供給量計	D= A+B+C	868	773
	令和6/7年主食用米等需要量	E	713	635
	令和7年6月末民間在庫量	F= D-E	155	138

注1：令和6年産主食用米等生産量は、令和6年産水稻の収穫量（主食用）（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）である。

注2：6月末民間在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に水稻を作付けした生産者の在庫量推計値を加えたものである。なお、令和7年6月末民間在庫量には、売り渡した政府備蓄米の在庫量（12万玄米トン）を含む。

注3：令和6/7年政府備蓄米供給量は、令和7年6月までに供給された政府備蓄米の数量（買戻し条件付売渡しによる政府備蓄米31万玄米トン、随意契約による政府備蓄米5万玄米トン）である。

注4：精米ベースの令和6年6月末民間在庫量、令和6年産主食用米等生産量、政府備蓄米供給量及び令和7年6月末民間在庫量は、玄米ベースの値に「精米歩留りの状況調査」による当該年産の精米歩留りを乗じた値である。

注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

需要実績の算出方法

	玄米ベース	精米ベース
①	679万トン	606万トン（令和6年産主食用米等生産量）
+	② 36万トン	32万トン（令和6/7年政府備蓄米供給量）
+	③ 153万トン	135万トン（令和6年6月末民間在庫量）
-	④ 155万トン	138万トン（令和7年6月末民間在庫量）
	713万トン	635万トン

(2) 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出（見直し）【精米ベースで算出】

- 1人当たり消費量は、直近5年ではマイナス・トレンドとなっておらず、直近の需要の動向を反映するため、直近5年の平均値と最大値の幅を持って設定。
- その上で、人口推計やインバウンド需要を考慮して、需要見通しを幅を持って設定。

■ 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法

I 1人当たり消費量（精米ベース）の算出

- ① 直近5年（令和2/3年～6/7年）の需要実績（精米ベース）から当該年のインバウンド需要を減じた上で、当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量（精米ベース）を算出

※需要実績にはインバウンド需要が含まれているため、これを減じた上で、人口で除し、日本在住者の1人当たり消費量を算定

$$(\text{需要実績} - \text{インバウンド需要}) \div \text{人口} = \text{1人当たり消費量}$$

- ② ①で算出した直近5年の1人当たり消費量の平均値と最大値の幅をもって設定

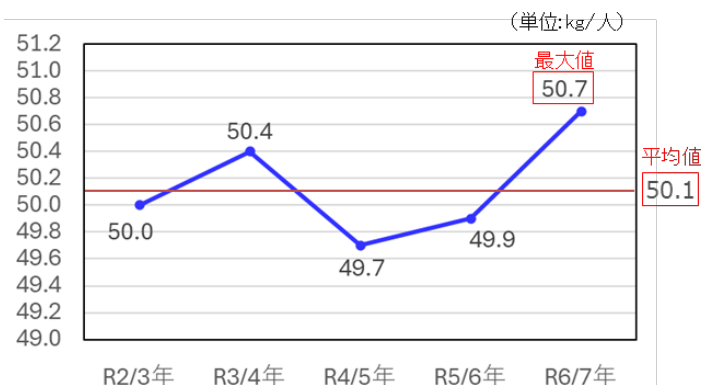
II 需要見通し（精米・玄米ベース）の算出

- ① Iの②で算出した「平均値」と「最大値」について、令和7年の人口（推計値）を乗じた上で、令和7/8年のインバウンド需要（試算）を加え、需要見通しを算定

$$(\text{1人当たり消費量} \times \text{人口推計}) + \text{インバウンド需要(試算)} = \text{需要見通し}$$

- ② ①で算出した精米ベースの需要量見通しについて、精米歩留りの直近5年の実績ベースの幅（直近5年平均値、直近5年最低値）をもって玄米換算

（参考1）1人当たり消費量（精米ベース）の推移



（参考2）訪日外国人による米の需要量の推移

(単位: 万ト)

R2/3	R3/4	R4/5	R5/6	R6/7	R7/8 (推計値)
0.0	0.1	1.9	5.1	5.7	6.1

（参考3）精米歩留りの推移

(単位: %)

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

(3) -1 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出

- 需要見通しの算出のポイントは、以下のとおりです。
 - ① 1人当たり消費量：マイナストrend⇒直近5年の実績ベースを幅で設定
 - ② インバウンド需要：新たに需要量に盛り込む
 - ③ 精米歩留まり：直近5年の実績ベースを「幅」で設定

■ 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法

① 1人当たり消費量（精米ベース）

【算出方法】

$$\left(\text{需要実績} - \text{インバウンド需要量 (試算)} \right) \div \text{人口} = \text{一人当たり消費量 (インバウンド需要除く)}$$

○直近5年平均値

50.2kg/人

○直近5年の最大値（令和6/7年）

50.8kg/人

× 0.998

50.7kg/人

直近のとう精数量の実績に基づき補正（次ページ参照）

② 令和7/8年需要量（玄米ベース）

一人当たり消費量 (インバウンド需要除く)	令和7年人口 (7年9月人口(概算値))	令和7/8年需要量 (インバウンド需要除く)	令和7/8年 インバウンド需要量(試算)	令和7/8年需要量 【精米ベース】	／0.896 令和7/8年需要量 【玄米ベース】
50.2kg/人	× 123,170千人	= 618.0万トン	+ 6.1万トン	= 624.1万トン	697.4万トン
50.7kg/人	× 123,170千人	= 624.8万トン	+ 6.1万トン	= 630.9万トン	711.3万トン
					／0.886

(参考1) 一人当たり消費量（精米）の推移

	需要実績 (万トン)		インバウンド 需要 (万精米トン)	人口 (千人) ③	1人当たり 消費量 (精米kg) (①-②)÷③
	玄米	精米 ①			
R2/3年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6年	704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7年	712.7	635.0	5.7	123,802	50.8
5年平均					50.2

(参考2) 精米歩留りの推移

(単位: %)

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

(参考3) 人口減少による需要の減少量

R6/7年からR7/8年の人口減少(▲63万人)による需要の減少量は ▲63万人×50.8kg/人=▲3.2万トン

(3) -2 とう精数量実績に基づく、令和7/8年の1人当たり消費量の最大値の補正

- 令和7/8年の7月・8月のとう精実績は、3ヵ年平均値の同月分と比べて約2,400玄米トン（0.42%）少なくなっている。
- この減少率に、需要量全体に占めるとう精数量の割合を加味すれば、需要見通し上では0.20%の減少率に相当。
- 減少率0.20%とすると、1人当たり消費量（インバウンド需要除く）の最大値は50.7kg/人。

○ とう精数量実績の推移（千トン（玄米））

	7月	8月	7月～8月計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年計
令和4/5年	272.5	279.9	552.5	280.1	278.4	269.9	290.0	252.8	260.6	290.1	291.1	290.8	289.6	3,345.9
令和5/6年	282.5	291.5	574.0	285.3	288.9	278.8	299.8	268.1	279.7	295.9	310.1	302.8	293.8	3,477.3
令和6/7年	301.7	308.3	609.9	278.9	278.7	268.9	287.2	261.7	258.5	271.0	303.1	288.6	291.5	3,397.9
3ヵ年平均	285.6	293.2	578.8	281.4	282.0	272.5	292.3	260.9	266.3	285.6	301.4	294.1	291.6	3,407.0
令和7/8年	304.5	271.9	576.4 (▲0.42%)	280.3	280.8	271.4	291.1	259.8	265.2	284.5	300.2	292.9	290.4	3,392.9

注 とう精数量は、報告のあった468の精米事業者のうち、前回調査（本年6月）と比較可能な398の精米事業者の実績を集計。

3,006 千精米トン

○ 1人当たり消費量の最大値の補正

上記の減少率（▲0.42%）に、
R7/8 需要量全体（626.1 万トン※）に占める
R7/8 とう精数量見込み（300.6 万トン）の割合
を乗じて▲0.20%

※ 50.8kg/人×123,170 千人＝626.1 万トン

$$0.42\% \times \frac{300.6 \text{ 万トン}}{626.1 \text{ 万トン}} = 0.20\% \quad \Rightarrow \quad 50.8\text{kg} \times (1 - 0.20\%) = \underline{\underline{50.7\text{kg}}}$$

(4) 令和 8/9 年の主食用米等の需要見通しの算出

○ 需要見通しの算出のポイントは、以下のとおりです。

令和 7/8 年需要見通しの算定の考え方を踏襲して設定

- ① 1 人当たり消費量：直近 5 年（令和 2/3 年～6/7 年）の需要実績（精米ベース）を基に、平均値～最大値の幅で設定
- ② 人口、インバウンド需要：令和 8/9 年の推計値に更新

■ 令和 8/9 年の主食用米等の需要見通しの算出方法

① 1 人当たり消費量（精米ベース）

【算出方法】

$$\left(\text{需要実績} - \text{インバウンド需要量 (試算)} \right) \div \text{人口} = \text{一人当たり消費量 (インバウンド需要除く)}$$

○直近 5 年平均値

50. 2kg/人

○直近 5 年の最大値（令和 6/7 年）

50. 8kg/人

② 令和 8/9 年需要量（玄米ベース）

一人当たり消費量 (インバウンド需要除く)	令和 8 年人口 (推計値)	令和 8/9 年需要量 (インバウンド需要除く)	令和 8/9 年 インバウンド需要量(試算)	令和 8/9 年需要量 【精米ベース】	玄米 換算	令和 8/9 年需要量 【玄米ベース】
50. 2kg/人	× 122,569 千人	= 615. 0 万トン	+ 6. 6 万トン	= 621. 6 万トン	／0.896	694. 1 万トン
50. 8kg/人	× 122,569 千人	= 623. 0 万トン	+ 6. 6 万トン	= 629. 6 万トン	／0.886	710. 7 万トン

(参考 1) 一人当たり消費量（精米）の推移

	需要実績 (万トン)		インバウンド 需要 (万精米トン) ②	人口 (千人) ③	1 人当たり 消費量 (精米 kg) (①-②)÷③
	玄米	精米 ①			
R2/3 年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4 年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5 年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6 年	704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7 年	712.7	635.0	5.7	123,802	50.8
5 年平均					50.2

(参考 2) 精米歩留りの推移

(単位: %)

2 年産	3 年産	4 年産	5 年産	6 年産	5 年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

(参考 3) 人口減少による需要の減少量

R7/8 年から R8/9 年の人口減少(▲60 万人)
による需要の減少量は ▲60 万人×50.8kg/人
=▲3.1 万トン

(5) 令和7/8及び令和8/9年の需給見通し

- 令和7/8年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した玄米ベースで697万玄米トンから711万玄米トン、精米ベースで624万精米トンから631万精米トンと設定。この結果、令和8年6月末民間在庫量は玄米ベースで215万玄米トンから229万玄米トン、精米ベースで191万精米トンから205万精米トンと見通されます。
- 令和8/9年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した玄米ベースで694万玄米トンから711万玄米トン、精米ベースで622万精米トンから630万精米トンと設定。令和8年産主食用米等の生産量の見通しは、需要見通しに対して余裕をもって設定することとし、需要量見通しの上位値である玄米ベースで711万玄米トン、精米ベースで630万精米トンから637万精米トンとします。この結果、令和9年6月末民間在庫量は玄米ベースで215万玄米トンから245万玄米トン、精米ベースで191万精米トンから220万精米トンと見通されます。

■ 令和7/8年及び令和8/9年の主食用米等の需給見通し

		玄米ベース (万トン(玄米))	精米ベース (万トン(精米))
令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量 A	155	138
	令和7年産主食用米等生産量 B=C+D	748	662~670
	うち生産者ふるい目幅以上 C	715	
	うち生産者ふるい目幅未満のうち、 主食用米への供給見込量 D	32	
	令和7/8年政府備蓄米供給量 E	23	21
	令和7/8年主食用米等供給量計 F=A+B+E	926	822~829
	令和7/8年主食用米等需要量 G	697~711	624~631
	令和8年6月末民間在庫量 H=F-G	215~229	191~205
令和8/9年	令和8年6月末民間在庫量 H	215~229	191~205
	令和8年産主食用米等生産量 I	711	630~637
	令和8/9年主食用米等供給量計 J=H+I	926~939	821~841
	令和8/9年主食用米等需要量 K	694~711	622~630
	令和9年6月末民間在庫量 L=J-K	215~245	191~220

注：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

※1：事前契約による令和8年産備蓄米の政府買入は21万玄米トンを予定。これは上記「令和8年産主食用米等生産量」には含まれていない。

※2：政府備蓄米の放出（全体で約59万玄米トン）に係る買戻し及び買入は、今後の需給状況等を見定めた上で行う。

※3：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式や枠外の民間輸入（令和6/7年：約4万実トン）による輸入米は含まれない。

※4：需給の見通しについては、今後の生産量や需要量の把握に努め、必要に応じて柔軟に対応。

キ 令和7年産水陸稲の収穫量

令和7年産主食用米の収穫量は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで718万1千トン（前年に比べ66万2千トンの増加）。ふるい目幅1.70mmベースで746万8千トン（前年に比べ67万6千トンの増加）。収穫量は平成29年以来最大の見込み。

【調査結果の概要】

- 1 令和7年産の水稲の生産者が使用しているふるい目幅（1.80mm～1.90mm）ベースの収穫量（主食用）※1は718万1,000 tで、前年産に比べ66万2,000 t増加と見込まれる。

※1 生産者が使用しているふるい目幅（1.80mm～1.90mm）ベースのふるい上米

これは、

- ① 作付面積（主食用）が、新規需要米や備蓄米等からの転換等があったため、136万7,000haで、前年産に比べ10万8,000haの増加となったことに加え、
- ② 全国の10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、一部地域で5月上旬から6月中旬にかけての気温や日照時間が前年を下回る地域があったものの、多くの地域で総じて天候に恵まれたため、526kgで、前年産に比べ7kg増加と見込まれるためである。

- 2 全国の作況単収指数は102と見込まれる。各都道府県の作況単収指数は、統計表のとおりである。

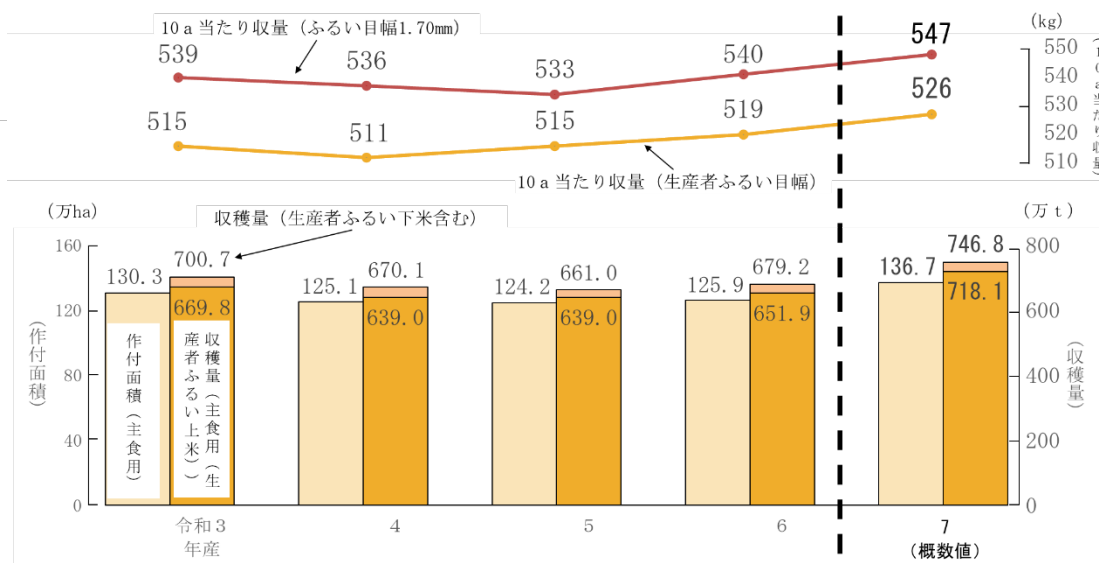
（参考） 令和7年産の水稲のふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用）※2は746万8,000 tで、前年産に比べ67万6,000 t増加と見込まれる。

※2 生産者が使用しているふるい目幅（1.80mm～1.90mm）ベースのふるい下米を含む。

以上の内容について、10月25日現在の公表値から変更なし。

- 令和7年産調査から生産者の実感に合うよう、生産者が使用しているふるい目幅（1.80mm～1.90mm）で収穫量を公表することとし、前年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量（主食用）は、令和7年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。

図1 水稲の作付面積（主食用）、10a当たり収量及び収穫量の推移（全国）



- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である。
- 沖縄県については、一部収穫を終えていないため、収穫の状況によっては今後変動することがある。確定した数値はホームページに掲載（令和8年2月予定）する。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移（全国）

年 産	作付面積 （主食用）	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 （主食用（生産者 ふるい上米））	10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 （主食用（生産者 ふるい下米含む））	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成7年産	509	94	...	103
8	525	103	...	106
9	515	98	...	100
10	499	97	...	97
11	515	103	...	100
12	537	104	...	105
13	532	99	...	103
14	527	99	...	101
15	469	89	...	89
16	514	110	...	98
17	532	104	...	102
18	507	95	...	97
19	522	103	...	101
20	1,596,000	543	104	8,658,000	106
21	1,592,000	522	96	8,309,000	100
22	1,580,000	522	100	8,239,000	99
23	1,526,000	533	102	8,133,000	102
24	1,524,000	540	101	8,210,000	103
25	1,522,000	539	100	8,182,000	101
26	1,474,000	536	99	7,882,000	101
27	1,406,000	515	nc	7,228,000	531	99	7,442,000	99
28	1,381,000	531	103	7,322,000	544	102	7,496,000	101
29	1,370,000	517	97	7,077,000	534	98	7,306,000	99
30	1,386,000	511	99	7,081,000	529	99	7,327,000	99
令和元	1,379,000	514	101	7,061,000	528	100	7,261,000	99
2	1,366,000	508	99	6,906,000	531	101	7,226,000	99
3	1,303,000	515	101	6,698,000	539	102	7,007,000	100
4	1,251,000	511	99	6,390,000	536	99	6,701,000	100
5	1,242,000	515	101	6,390,000	533	99	6,610,000	101
6	1,259,000	519	101	6,519,000	540	101	6,792,000	101
7 （概数値）	1,367,000	526	101	7,181,000	547	101	7,468,000	102

資料：農林水産省統計部『作物統計』

- 作況単収指数は、10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。また、平成7年産から令和元年産までの作況単収指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和2年産以降の作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

図2 令和7年産水稻の作況標本筆の10a当たり収量の分布状況（全国）
（生産者が使用しているふり目幅ベース）

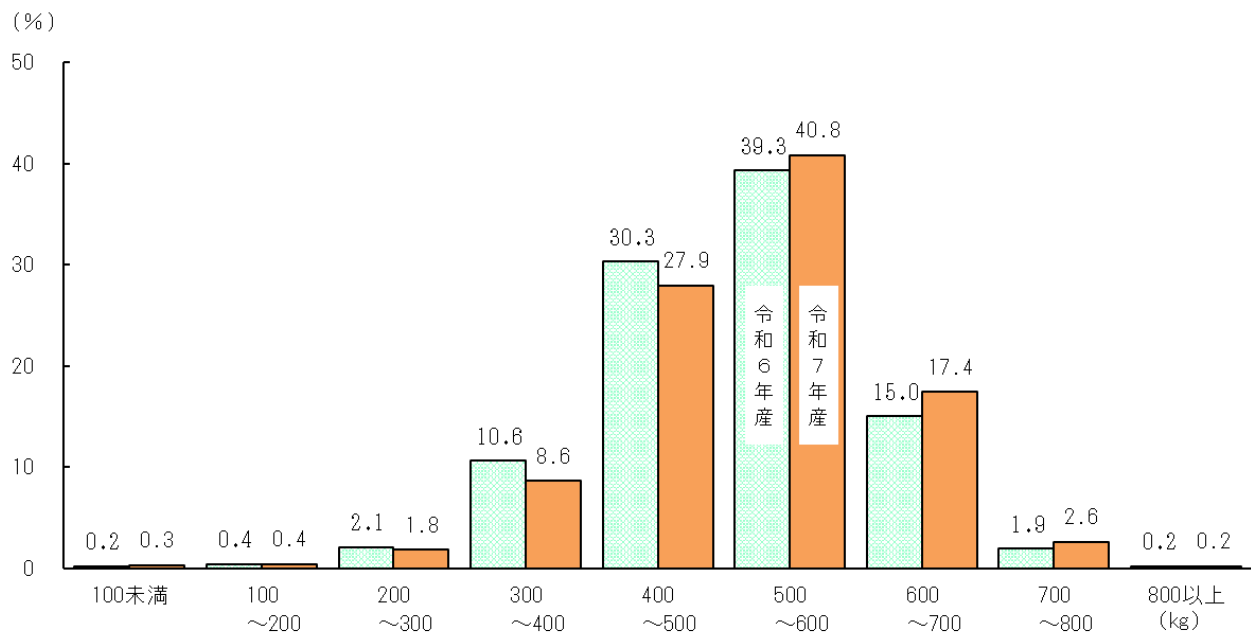


図3 令和7年産水稻の作況標本筆の10a当たり収量の前年差の分布状況（全国）
（生産者が使用しているふり目幅ベース）

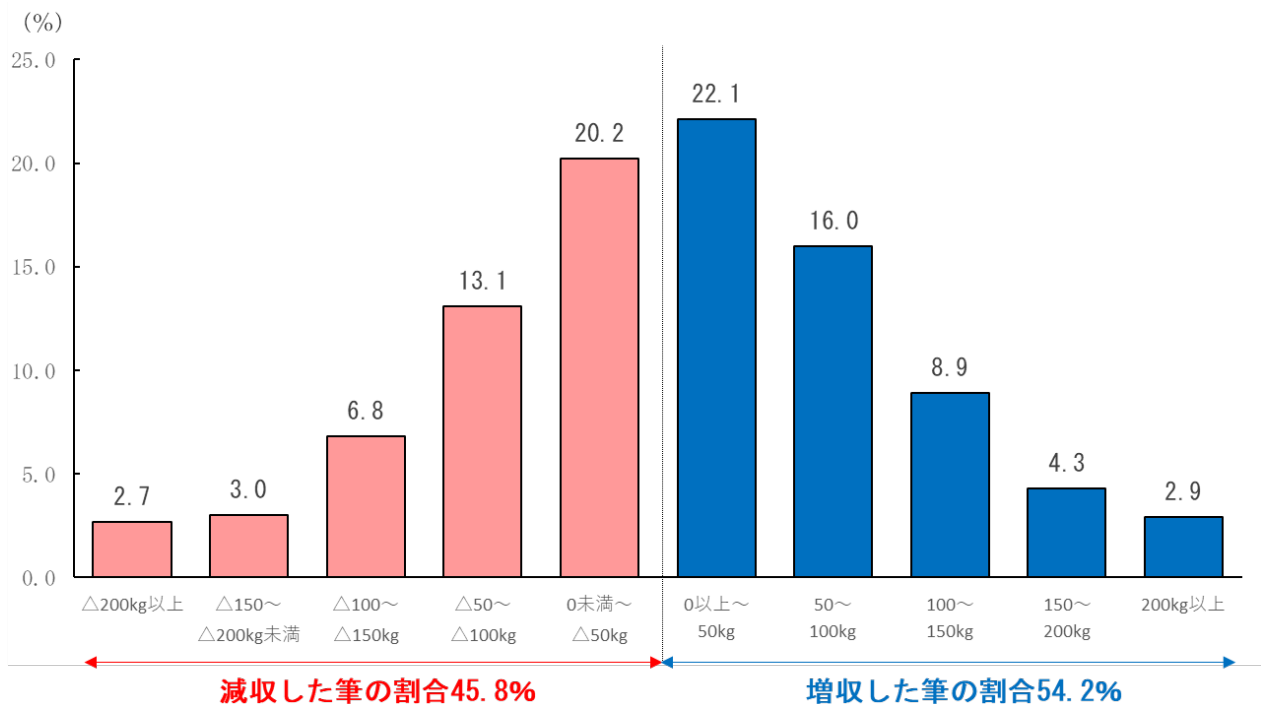


表 1 令和 7 年産水稻の玄米品位の状況（全国）

単位：％

区 分	白未熟粒	死米	胴割粒	着色粒
重量割合	3.7	0.3	1.2	0.2

- 注：1 水稻作況標本（基準）筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）を、筆ごとに穀粒判別器を用いて品位分析を行い、その結果を集計したものであり、調製のうえ販売される玄米の品位とは異なる。
- 2 白未熟粒は白色不透明な部分の大きさが粒平面の 1 / 2 以上のものである粒、死米は粉状質で光沢がないものが 2 / 3 以上を占める粒、胴割粒は粒平面に横一条の亀裂がすっきり通っている粒、着色粒は着色部分の大きさが直径 1 mm 以上かつ粒表面の 2 / 3 以下のものである粒をいう。
- 3 品位分析が完了した筆の結果であり、次回公表において数値が変動することがある。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10 a 当たり収量及び収穫量（主食用）

生産者等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10 a 当たり収量及び収穫量（主食用）の概数値を示すと次のとおりである。

本調査では、農産物規格規程に定める三等以上の玄米の重量を把握しており、未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

表 2 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

単位：％

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
令和 2 年産	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
5	100.0	0.6	1.0	1.3	2.1	10.2	84.8
6	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
7（概数値）	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	12.0	82.0
対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	△ 0.1

注：ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅毎の玄米重量の割合である（以下同じ。）。

表3 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（主食用）の推移（全国）

年 産		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
令和2年産	10a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量（主食用）	t	7,226,000	7,175,000	7,074,000	6,937,000	6,727,000	5,687,000
3	10a 当たり収量	kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量（主食用）	t	7,007,000	6,951,000	6,853,000	6,727,000	6,531,000	5,500,000
4	10a 当たり収量	kg	536	531	523	513	497	418
	収穫量（主食用）	t	6,701,000	6,641,000	6,540,000	6,413,000	6,219,000	5,220,000
5	10a 当たり収量	kg	533	530	524	518	506	452
	収穫量（主食用）	t	6,610,000	6,570,000	6,504,000	6,418,000	6,280,000	5,605,000
6	10a 当たり収量	kg	540	536	530	522	508	443
	収穫量（主食用）	t	6,792,000	6,744,000	6,663,000	6,561,000	6,384,000	5,576,000
7 （概数値）	10a 当たり収量	kg	547	543	537	529	515	449
	収穫量（主食用）	t	7,468,000	7,415,000	7,328,000	7,222,000	7,034,000	6,134,000
	対前年比 （収穫量（主食用））	%	110	110	110	110	110	110

【調査結果】

1 水稲

(1) 令和7年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は136万7,000haで、前年産に比べ10万8,000ha増加となった。これは、新規需要米や備蓄米等からの転換等があったためである。

(2) 全国の10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、526kg（前年産に比べ+7kg）と見込まれる。

これは、一部地域で5月上旬から6月中旬にかけての気温や日照時間が前年を下回る地域があったものの、多くの地域で総じて天候に恵まれたためである。

これを地域別にみると、以下のとおりである。

北海道においては、6月上旬までの日照不足により全もみ数がやや少なくなったこと等から、549kg（前年産に比べ△13kg）となった。

北海道と沖縄県を除く各地域では、6月中旬までの低温、日照不足により、東北、関東等では穂数が少ない地域がみられたものの、6月下旬以降おおむね天候に恵まれ、多くの地域で全もみ数が前年以上に確保されたことから、東北は557kg（同+1kg）、北陸は517kg（同+7kg）、関東・東山は524kg（同△5kg）、東海は490kg（同+16kg）となり、近畿以西では、10月上・中旬の天候に恵まれ、粒の肥大・充実が促進されたこと等から、近畿は507kg（同+19kg）、中国は519kg（同+21kg）、四国は495kg（同+24kg）、九州は492kg（同+26kg）となった。

沖縄県は、田植期以降、4月下旬まで低温で推移したこと等から、310kg（同△9kg）と見込まれる。

(3) 主食用作付面積に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は718万1,000t（前年産に比べ66万2,000t増加）と見込まれる。

(4) 全国の作況単収指数は102と見込まれる。

(5) 水稲作況標本（基準）筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒3.7%、死米0.3%、胴割粒1.2%、着色粒0.2%と見込まれる（表8参照）。

2 陸稲

令和7年産陸稲（子実用）の作付面積は334ha（前年産に比べ14ha増加）で、10a当たり収量は226kg（同30kg減少）と見込まれ、収穫量は754t（同66t減少）と見込まれる。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は746万8,000t（前年産に比べ67万6,000t増加）と見込まれる。

○ 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。

表 4 令和 7 年産水稻の作付面積（主食用）及び収穫量（全国農業地域別）

全 国 農業地域	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別				
	実 数 ①	前年産との比較		10a当たり収量		収穫量 （主食用（生産者ふるい上米））		
				実 数 ②	前年産との 比較	実 数 ③＝①×②	前年産との比較	
		対 差	対 比				対 差	対 比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%
全 国	1,367,000	108,000	109	526	101	7,181,000	662,000	110
北 海 道	90,400	6,700	108	549	98	496,300	25,900	106
東 北	361,100	41,300	113	557	100	2,012,000	236,000	113
北 陸	187,700	11,900	107	517	101	970,300	74,300	108
関 東・東 山	260,700	25,700	111	524	99	1,366,000	122,000	110
東 海	87,000	3,600	104	490	103	425,700	30,100	108
近 畿	93,500	2,900	103	507	104	473,900	31,900	107
中 国	92,700	2,300	103	519	104	482,100	32,100	107
四 国	43,700	1,400	103	495	105	215,800	16,400	108
九 州	149,500	11,300	108	492	106	736,900	93,700	115
沖 縄	597	40	107	310	97	1,850	70	104

全 国 農 業 地 域	ふるい目幅1.70mmで選別					作況 単収 指数
	10 a 当たり収量		収穫量 (主食用(生産者ふるい下米含む))			
	実 数 ④	前年産との 比較	実 数 ⑤=①×④	前年産との比較		
		対 比		対 差	対 比	
	kg	%	t	t	%	
全 国	547	101	7,468,000	676,000	110	102
北 海 道	574	97	518,900	23,400	105	98
東 北	583	100	2,103,000	238,000	113	101
北 陸	541	101	1,015,000	76,200	108	101
関 東・東 山	541	99	1,411,000	129,000	110	100
東 海	505	103	439,000	31,500	108	103
近 畿	527	104	492,700	33,100	107	105
中 国	538	105	499,400	36,400	108	105
四 国	505	105	220,000	16,400	108	106
九 州	513	105	767,400	91,400	114	106
沖 縄	313	96	1,870	50	103	99

- 注：1 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量（②）及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量（②）については、都道府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 10 a 当たり収量（④）及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 5 収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）については、都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 6 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10 a 当たり収量の比率である。

表5 令和7年産ふりい目幅別重量分布状況（全国農業地域別）

単位：％

全国 農業地域	区 分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
全 国	重量割合	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	12.0	82.0
	前 年 値	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	△ 0.1
北 海 道	重量割合	100.0	0.5	0.8	1.0	2.0	8.9	86.8
	前 年 値	100.0	0.6	1.0	1.2	2.2	10.7	84.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.8	2.5
東 北	重量割合	100.0	0.5	1.0	1.2	2.2	10.9	84.2
	前 年 値	100.0	0.5	1.1	1.3	2.2	10.5	84.4
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.4	△ 0.2
北 陸	重量割合	100.0	0.8	1.1	1.4	2.6	12.4	81.7
	前 年 値	100.0	0.9	1.3	1.5	2.8	13.2	80.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.8	1.4
関東・東山	重量割合	100.0	0.8	1.5	1.9	3.1	15.7	77.0
	前 年 値	100.0	0.8	1.2	1.6	2.6	13.5	80.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.3	0.3	0.5	2.2	△ 3.3
東 海	重量割合	100.0	0.8	1.3	1.8	2.8	11.4	81.9
	前 年 値	100.0	0.6	1.1	1.5	2.1	8.9	85.8
	対前年差(ポイント)	0.0	0.2	0.2	0.3	0.7	2.5	△ 3.9
近 畿	重量割合	100.0	0.9	1.3	1.5	2.4	10.4	83.5
	前 年 値	100.0	0.8	1.1	1.4	2.3	10.1	84.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	△ 0.8
中 国	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.4	2.1	9.5	85.0
	前 年 値	100.0	0.5	0.9	1.1	1.8	8.5	87.2
	対前年差(ポイント)	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.0	△ 2.2
四 国	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.7	2.4	10.8	83.1
	前 年 値	100.0	0.8	1.1	1.5	2.4	11.6	82.6
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	△ 0.8	0.5
九 州	重量割合	100.0	1.0	1.6	1.9	3.3	13.3	78.9
	前 年 値	100.0	1.1	2.0	2.5	4.4	17.7	72.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.6	△ 1.1	△ 4.4	6.6
沖 縄	重量割合	100.0	0.4	1.0	1.2	1.9	9.2	86.3
	前 年 値	100.0	0.4	0.9	1.2	2.6	12.8	82.1
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	0.0	△ 0.7	△ 3.6	4.2

注：刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものである。

表6 令和7年産ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（主食用）
（全国農業地域別）

全 国 農業地域	区 分	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	10a 当たり収量	kg	547	543	537	529	515	449
	収穫量（主食用）	t	7,468,000	7,415,000	7,328,000	7,222,000	7,034,000	6,134,000
北 海 道	10a 当たり収量	kg	574	571	566	560	549	498
	収穫量（主食用）	t	518,900	516,300	512,200	507,000	496,300	449,600
東 北	10a 当たり収量	kg	583	580	574	567	555	491
	収穫量（主食用）	t	2,103,000	2,094,000	2,073,000	2,048,000	2,003,000	1,774,000
北 陸	10a 当たり収量	kg	541	537	531	523	509	443
	収穫量（主食用）	t	1,015,000	1,006,000	994,900	981,300	956,000	831,100
関東・東山	10a 当たり収量	kg	541	537	530	520	503	418
	収穫量（主食用）	t	1,411,000	1,399,000	1,381,000	1,355,000	1,311,000	1,088,000
東 海	10a 当たり収量	kg	505	501	494	488	474	416
	収穫量（主食用）	t	439,000	435,500	429,800	424,200	411,800	361,200
近 畿	10a 当たり収量	kg	527	522	516	508	497	442
	収穫量（主食用）	t	492,700	488,300	482,400	474,600	464,800	413,300
中 国	10a 当たり収量	kg	538	534	527	521	510	459
	収穫量（主食用）	t	499,400	495,300	489,400	483,600	473,400	425,500
四 国	10a 当たり収量	kg	505	501	495	487	475	421
	収穫量（主食用）	t	220,000	218,300	215,800	212,200	207,100	183,300
九 州	10a 当たり収量	kg	513	508	500	490	474	406
	収穫量（主食用）	t	767,400	760,000	748,000	733,800	708,400	606,100
沖 縄	10a 当たり収量	kg	313	312	310	305	299	271
	収穫量（主食用）	t	1,870	1,860	1,850	1,830	1,790	1,620

表7 令和7年産水稻の作況標本筆の10a当たり収量の分布状況

(全国農業地域別)

単位：％

全 国 農 業 地 域	区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
全 国	筆数割合	100.0	0.3	0.4	1.8	8.6	27.9	40.8	17.4	2.6	0.2
	前年値	100.0	0.2	0.4	2.1	10.6	30.3	39.3	15.0	1.9	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	△ 0.3	△ 2.0	△ 2.4	1.5	2.4	0.7	0.0
北 海 道	筆数割合	100.0	－	－	0.6	3.3	25.6	45.6	22.9	1.8	0.2
	前年値	100.0	－	－	0.2	2.2	21.8	51.1	22.0	2.7	－
	対前年差(ポイント)	0.0	－	－	0.4	1.1	3.8	△ 5.5	0.9	△ 0.9	0.2
東 北	筆数割合	100.0	0.1	0.4	0.7	4.3	20.4	40.7	26.7	6.3	0.4
	前年値	100.0	0.1	0.3	1.1	3.8	15.7	48.0	27.1	3.8	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	△ 0.4	0.5	4.7	△ 7.3	△ 0.4	2.5	0.3
北 陸	筆数割合	100.0	0.1	0.2	2.3	8.6	30.2	43.5	14.2	0.8	0.1
	前年値	100.0	－	0.3	1.5	9.2	33.2	44.4	11.3	0.1	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	△ 0.1	0.8	△ 0.6	△ 3.0	△ 0.9	2.9	0.7	0.1
関 東 ・ 東 山	筆数割合	100.0	0.2	0.6	1.1	9.1	26.6	38.3	19.9	4.0	0.2
	前年値	100.0	－	0.4	1.3	7.7	27.9	39.5	19.4	3.3	0.5
	対前年差(ポイント)	0.0	0.2	0.2	△ 0.2	1.4	△ 1.3	△ 1.2	0.5	0.7	△ 0.3
東 海	筆数割合	100.0	－	0.5	4.0	12.7	31.3	41.4	9.3	0.8	－
	前年値	100.0	－	0.6	3.1	16.3	39.6	32.1	7.7	0.6	－
	対前年差(ポイント)	0.0	－	△ 0.1	0.9	△ 3.6	△ 8.3	9.3	1.6	0.2	－
近 畿	筆数割合	100.0	0.4	0.3	1.9	10.0	31.1	38.5	16.7	1.1	－
	前年値	100.0	0.3	0.3	1.8	13.0	37.4	36.5	9.3	1.1	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.1	△ 3.0	△ 6.3	2.0	7.4	0.0	△ 0.3
中 国	筆数割合	100.0	0.3	0.5	1.9	10.2	24.7	40.9	18.6	2.6	0.3
	前年値	100.0	0.7	1.1	4.6	11.8	27.8	36.2	14.8	2.5	0.5
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.6	△ 2.7	△ 1.6	△ 3.1	4.7	3.8	0.1	△ 0.2
四 国	筆数割合	100.0	－	0.7	3.3	13.9	31.6	36.1	12.9	1.5	－
	前年値	100.0	－	0.4	3.7	18.6	38.9	29.2	9.0	0.2	－
	対前年差(ポイント)	0.0	－	0.3	△ 0.4	△ 4.7	△ 7.3	6.9	3.9	1.3	－
九 州	筆数割合	100.0	1.3	0.6	2.1	9.6	34.7	42.8	8.7	0.2	－
	前年値	100.0	0.5	0.5	2.9	18.0	41.6	31.1	5.0	0.4	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.8	0.1	△ 0.8	△ 8.4	△ 6.9	11.7	3.7	△ 0.2	－

注：1 10a 当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 沖縄については、水稻作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

表8 令和7年産水稻の玄米品位の状況（全国農業地域別）

単位：％

全 国 農 業 地 域	区 分	白未熟粒	死米	胴割粒	着色粒
全 国	重量割合	3.7	0.3	1.2	0.2
北 海 道	重量割合	2.9	0.3	0.3	0.2
東 北	重量割合	1.7	0.1	1.2	0.2
北 陸	重量割合	3.0	0.2	1.2	0.1
関 東 ・ 東 山	重量割合	4.7	0.4	1.2	0.2
東 海	重量割合	7.0	0.7	1.9	0.4
近 畿	重量割合	5.3	0.4	1.2	0.2
中 国	重量割合	4.1	0.3	0.7	0.2
四 国	重量割合	5.5	0.6	0.6	0.3
九 州	重量割合	4.8	0.3	1.4	0.2
沖 縄	重量割合	6.3	0.2	1.7	0.2

注：1 水稻作況標本（基準）筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）を、筆ごとに穀粒判別器を用いて品位分析を行い、その結果を集計したものであり、調製のうえ販売される玄米の品位とは異なる。

2 白未熟粒は白色不透明な部分の大きさが粒平面の1／2以上のものである粒、死米は粉状質で光沢がないものが2／3以上を占める粒、胴割粒は粒平面に横一条の亀裂がすっきり通っている粒、着色粒は着色部分の大きさが直径1mm以上かつ粒表面の2／3以下のものである粒をいう。

3 品位分析が完了した筆の結果であり、次回公表において数値が変動することがある。

(2) 金の関連情報（大阪取引所）

ア 取引価格

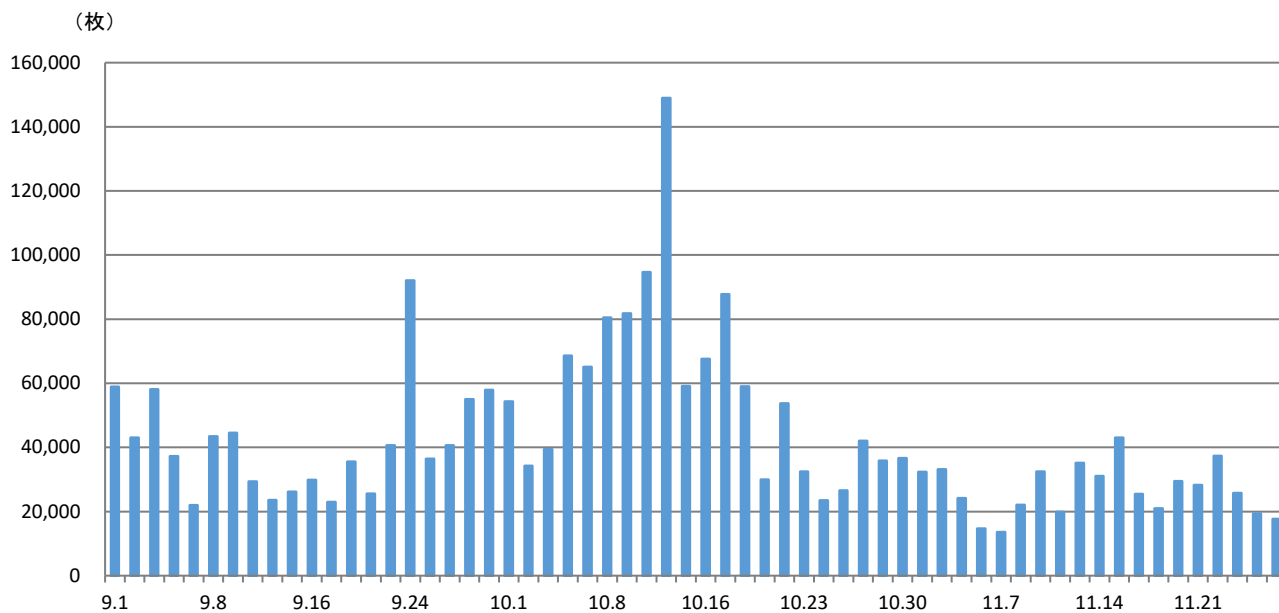
図 1 毎日の値動き（金（標準））R7. 9. 1～R7. 11. 28



- 注： 1 令和 7 年 9 月 1 日から令和 7 年 11 月 28 日までの期先限月の清算数値（帳入値）。
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。
 3 価格は 1 g。

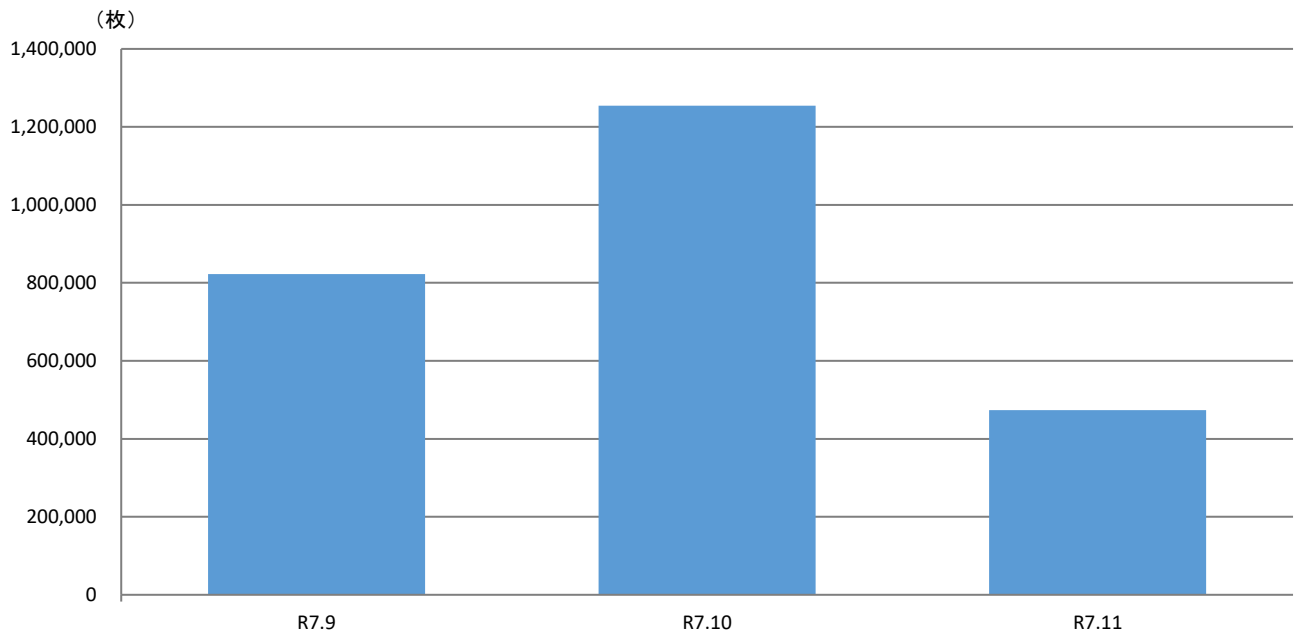
イ 出来高

図 2-1 毎日の出来高の動き（金（標準））R7. 9. 1～R7. 11. 28



- 注： 1 令和 7 年 9 月 1 日から令和 7 年 11 月 28 日までの金（標準）の毎日の出来高。
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。
 3 出来高 1 枚当たりの取引単位は 1 k g。
 4 J-NET 取引、ストラテジー取引は含まない。

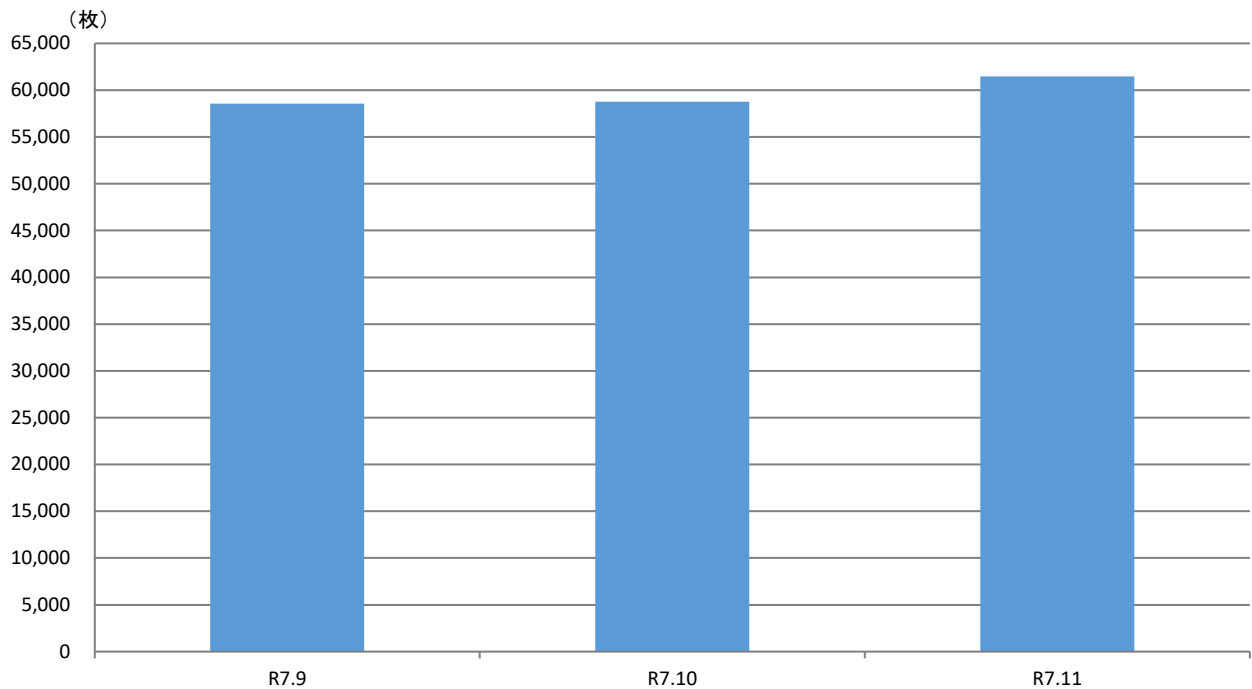
図2-2 毎月の出来高の動き（金（標準））R7.9.1～R7.11.28



注：1 令和7年9月から令和7年11月までの金標準の月間出来高合計。
 2 大阪取引所HP商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。
 3 出来高1枚当たりの取引単位は1kg。
 4 J-NET取引、ストラテジー取引は含まない。

ウ 取組高

図3 取組高（金（標準））R7.9～R7.11



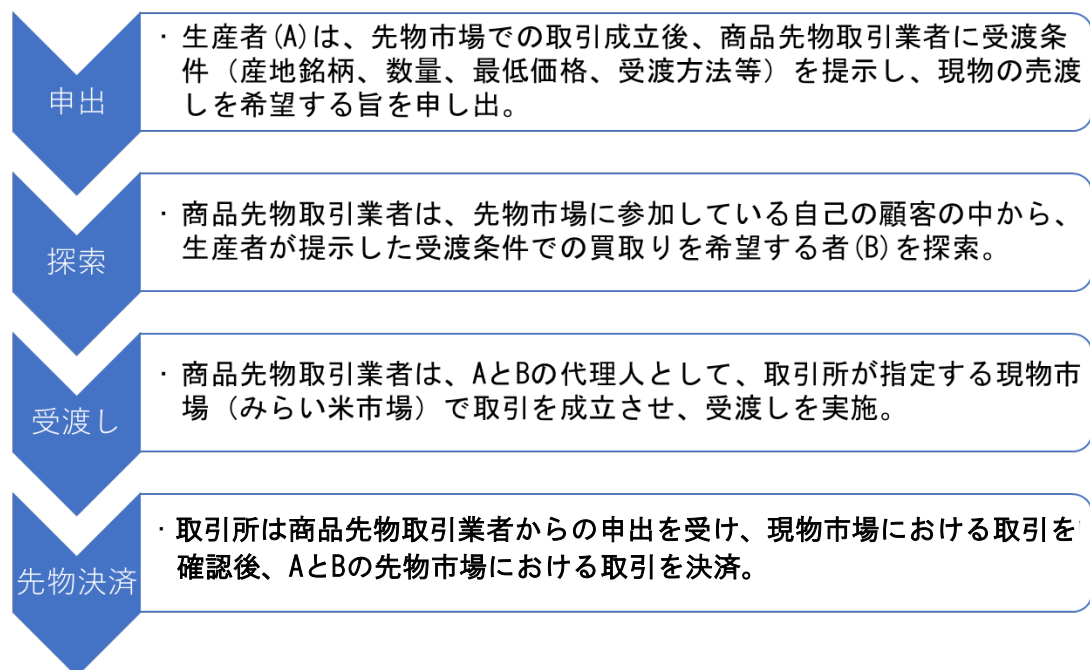
注：1 令和7年9月から令和7年11月までの各月末時点での取組高合計。
 2 大阪取引所HP商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。
 3 取組高1枚当たりの取引単位は1kg。

3 参考資料

(1) 現物市場と先物市場（堂島取引所）との連携について

現物の受渡しを希望する当業者は、先物市場（堂島取引所）での取引成立後、商品先物取引業者を通じて堂島取引所が指定する現物市場（みらい米市場）で売買を行うことにより、現物の受渡しを行うとともに、先物市場での取引を結了させることができる（なお、対応できる商品先物取引業者については堂島取引所に御照会ください。）。

ア 生産者が現物市場での受渡しを行う場合の流れ



イ みらい米市場の概要

趣旨	・ 産地や品種・銘柄だけでない米の品質や付加価値を評価して取引できるマーケットを創出することを目的として開設（R5 年 10 月）
仕組み	・ 登録を受けた生産者、集荷業者、卸売業者等が参加者となってオンラインで ① オークション方式 ② 買い手からのオーダー方式 で米の売買を実施
登録要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売者の登録要件 <ul style="list-style-type: none"> ① 米の生産者、ならびに生産者グループ、協同組合、企業等で、米の生産を行っていることが当社の要求する客観的な資料等で確認できる者 ② 業務を安定的に行う体制が整っていること ③ 主要食糧の需給および価格の安定に関する法律（以下「食糧法」という。）第 47 条の規定に基づき米穀の出荷または販売の事業を行おうとする者として農林水産大臣に届出を行い受理された者 ④ その他、米の販売事業者として適正であると当社が判断した者 ・ 購買者の登録要件 <ul style="list-style-type: none"> ① 食糧法第 47 条の規定に基づき米穀の出荷または販売の事業を行おうとする者として農林水産大臣に届出を行い受理された者 ② 業務を安定的に行う体制が整っていること ③ 年間 10 トン以上の米穀の取扱いがあり、与信等によって信頼性が確認された者 ④ その他、米の購買事業者として適正であると当社が判断した者
利用料(売り手のみ、買い手無料)	売買数量が 10 トン未満の場合、売買代金(税込)の 1 % (税別) 売買数量が 10 トン以上の場合、売買代金(税込)の 0.5 % (税別)
取引単位	販売者が設定可能（30 kg/袋～）
問合わせ先	電話番号：080-9438-2860 メールアドレス：support@rice-market.com URL：https://rice-market.jp/what-is-rmt

(2) 米先物取引に係るこれまでの主な経過

平成17年12月 9 日	・ 東京穀物商品取引所が米の試験上場を認可申請
平成17年12月16日	・ 関西商品取引所が米の試験上場を認可申請
平成18年 4 月12日	・ 米の試験上場を不認可
平成23年 3 月 8 日	・ 東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場を認可申請
平成23年 7 月 1 日	・ 米の試験上場を認可
平成23年 8 月 8 日	・ 取引開始
平成24年 5 月29日	・ 東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表 平成25年 2 月を目途に、大豆等を東京工業品取引所に、米穀を関西商品取引所に移管
平成24年12月14日	・ 関西商品取引所から大阪堂島商品取引所への名称変更を認可（平成25年 2 月12日に変更）
平成25年 2 月12日	・ 国内の 3 つの商品取引所を 2 つの商品取引所に再編 東京穀物商品取引所は 2 月 8 日に農産物市場の立会を停止し、平成24年 5 月公表の再編方針に基づき、大豆等を東京商品取引所（旧東京工業品取引所）に、米穀を大阪堂島商品取引所（旧関西商品取引所）に移管
平成25年 7 月 8 日	・ 大阪堂島商品取引所が試験上場の 2 年間の延長を申請
平成25年 8 月 7 日	・ 米の試験上場の 2 年間の延長を認可
平成26年 4 月21日	・ 大阪堂島商品取引所が東京コメ（平成26年10月限以降）について、受渡供用品を農産物検査法に基づく検査規格水稻うるち玄米合格品の全てに拡大するとともに、取引単位を受渡単位と同じ 1 枚12トンに拡大
平成27年 4 月13日	・ 大阪堂島商品取引所が大阪コメ（平成27年10月限以降）について、標準品を石川及び福井コシヒカリから滋賀及び三重コシヒカリに変更
平成27年 4 月21日	・ 大阪堂島商品取引所が東京コメ（平成27年10月限以降）について、標準品を茨城、栃木及び千葉コシヒカリから栃木あさひの夢、群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ及び千葉ふさがねに変更
平成27年 7 月21日	・ 大阪堂島商品取引所が試験上場の 2 年間の再延長を申請
平成27年 8 月 6 日	・ 米の試験上場の 2 年間の再延長を認可
平成28年10月21日	・ 大阪堂島商品取引所が標準品に新潟コシヒカリを追加
平成29年 7 月11日	・ 大阪堂島商品取引所が本上場を申請
平成29年 8 月 4 日	・ 大阪堂島商品取引所が本上場の申請を取り下げ、試験上場の 2 年間の再々延長を申請
平成29年 8 月 7 日	・ 米の試験上場の 2 年間の再々延長を認可
平成30年10月15日	・ 大阪堂島商品取引所が取引方法を板寄せ方式からザラバ方式に変更
平成30年10月22日	・ 大阪堂島商品取引所が標準品を大阪コメから秋田こまちに変更
平成31年 3 月 8 日	・ 大阪コメの取引を終了
令和元年 7 月16日	・ 大阪堂島商品取引所が本上場を申請
令和元年 7 月29日	・ 大阪堂島商品取引所が本上場の申請を取り下げ、試験上場の 2 年間の再々延長を申請
令和元年 8 月 7 日	・ 米の試験上場の 2 年間の再々々延長を認可
令和 2 年 4 月21日	・ 大阪堂島商品取引所が秋田こま치의取引単位を1.02トンに小口化し、標準品に宮城ひとめぼれを追加
令和 3 年 2 月19日	・ 取引単位が12.24トンの秋田こま치의取引を終了

令和3年3月19日	・ 会員制組織から株式会社への大阪堂島商品取引所の組織変更を認可（令和3年4月1日に変更）
令和3年3月22日	・ 大阪堂島商品取引所が標準品に新潟コシヒカリEXWを追加
令和3年7月16日	・ 大阪堂島商品取引所が本上場を申請
令和3年8月6日	・ 米の本上場を不認可
令和3年8月7日	・ 米の試験上場期間の終了
令和3年8月10日	・ 大阪堂島商品取引所から堂島取引所へ名称変更
令和6年2月21日	・ 堂島取引所が米穀指数の本上場を申請
令和6年6月21日	・ 米穀指数の本上場を認可
令和6年8月13日	・ 米穀指数の取引開始

【商品先物取引のリスクについて】

商品先物取引は、相場の変動幅が小さくても大きな額の利益又は損失が生ずるハイリスク・ハイリターンの取引であり、また、商品先物市場の価格変動が予測に反して推移した場合には損失が発生する可能性や預託した取引証拠金等の全額を上回る損失が発生するおそれがあります。

商品先物取引を行う場合には、これらの点を含め、取引の仕組みやリスクについて十分に理解した上で、許可を受けた商品先物取引業者又は登録を受けた商品先物取引仲介業者を通じて行っていただきますようご注意願います。

この他、商品先物取引に関する注意点等については、農林水産省のホームページなどをご覧ください。

【農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 商品取引グループ HP】

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html>

【堂島取引所 HP】

<http://www.odex.co.jp/index.html>

【日本取引所グループ HP（大阪取引所・東京商品取引所）】

<https://www.jpx.co.jp/index.html>

【日本商品先物取引協会 HP】

<https://www.nisshokyo.or.jp/index.html>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部
商品取引グループ

代表：03-3502-8111（内線 4177）

ダイヤルイン：03-6744-1860



[商品取引グループ HP]